



JR 中央線吉祥寺駅



吉祥寺サンロード商店街



武蔵野市役所



井の頭公園入り口



東京都武蔵野市

表紙写真は吉祥寺駅周辺



成蹊大学本館



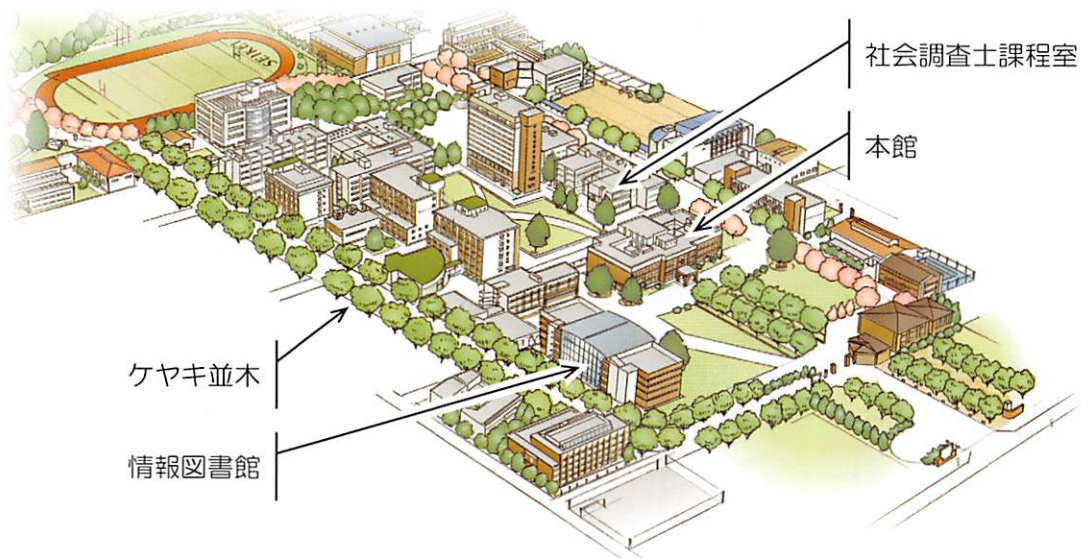
情報図書館



社会調査士課程室のある1号館



社会調査士課程室



成蹊学園キャンパス



調査票を作成する



調査票を送送する



たくさん返信されますように



督促状



データを入力する



分析する



2 限クラス



3 限クラス

成蹊大学社会調査実習 2008 年度報告書

——第3回 地域と生活についての武蔵野市民調査——

成蹊大学社会調査士課程 監修

小林盾，相澤真一 編集

はじめに

本書は、「第3回地域と生活についての武蔵野市民調査」の報告書です。成蹊大学文学部現代社会学科の「社会調査実習」という授業の一環として、2008年7～8月に東京都武蔵野市で郵送調査を実施しました。2006年度にはじまり、今回が3回目となります。

調査では、人びとが生活や地域についてどのように考えているのかを、明らかにすることを目的としました。現代社会では、グローバル化が進んで地球規模で一体化しつつあるため、ともすれば人びとが地域社会との関わりを失っているかもしれないからです。

そこで、成蹊大学のある武蔵野市で、22～69歳の市民400人を住民基本台帳から無作為に選んで対象として、郵送調査を行いました。発送した400人のうち、296人から返送されたので、回収率は74.0%でした。

授業は、教員2名（小林盾・相澤真一）と学生56名で進めました（28名が2クラス）。社会調査士課程の実習科目でもあり、全員が課程履修者でした。学生は関心のあるテーマごとに14の班に分かれて、調査票作成からデータ分析まで行います。毎週宿題が出るため、授業時間外での活動のほうが長かったようです。

以下は、「この調査について」「調査結果」「資料」という3つの部で構成されています。調査結果では、武蔵野市の人びとの姿を、さまざまな角度から浮かびあがらせることを目指しました。今回武蔵野市を事例として得られた知見は、地域活性化への課題など、他の地域でも当てはまることがあるかもしれません。今後も成蹊大学社会調査士課程では、同様の調査を続けていき、成果を地域社会に積極的に還元していきたいと考えています。

この調査を実施し、報告書を作成するにあたって、多くの方々からご協力いただきました。はじめに、回答してくださった方々に深く感謝いたします。おかげで、地域と生活についての貴重なデータを集めることができました。住民基本台帳の閲覧では、武蔵野市役所環境生活部戸籍住民課の方々にお世話になりました。

成蹊大学文学部の先生方（とりわけ現代社会学科の先生方）、長澤理子氏、菅谷真弓氏はじめ成蹊大学学務部履修課の方々には、社会調査士課程の運営環境を整えていただきました。成蹊大学総務部広報課の方々から、写真を提供していただきました。報告書の作成には、秋山一樹君、竹淵優人君、森田一樹君、渡辺悠介君に手伝ってもらいました。記して感謝いたします。

なお、この報告書は武蔵野市役所、市内図書館、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページでもご覧いただけます。

2009年7月 成蹊大学社会調査士課程

成蹊大学文学部現代社会学科 准教授 小林盾

成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤助手 相澤真一

成蹊大学社会調査実習 2008 年度報告書
——第3回 地域と生活についての武蔵野市民調査——

成蹊大学社会調査士課程 監修

小林盾, 相澤真一 編集

目 次

第Ⅰ部 この調査について

A 調査の概要	小林盾, 相澤真一	1
B 統計用語	小林盾	9
C 履修者一覧		12

第Ⅱ部 調査結果

武蔵野市について

第1章 成蹊大学のイメージ	元山由佳子, 嶋田那美, 網川晶乃, 藤井美由紀	13
第2章 井の頭公園	白井健, 新井麻夕, 石附菜緒, 富亜紗美	17
第3章 吉祥寺の老舗喫茶店	民谷友美, 加藤紗織, 田嶋優, 永田亜来	21
第4章 吉祥寺での買い物	吉原千恵, 福島理沙, 三村衛之, 本橋美友希	25
第5章 吉祥寺での芸術鑑賞	尾崎杏里, 宇山千明, 小川夏樹, 早田由布子	29
第6章 吉祥寺の禁煙エリア	飯塚菜月, 岩重卓磨, 網嶋秋奈, 平田祐美子	33
第7章 武蔵野市のホームページ	金澤光洋, 岩佐春佳, 海老原莉奈, 渡辺千晶	37

生活について

第8章 小学生時代	野沢絵里子, 岡田郁恵, 高橋沙織, 和田誠	41
第9章 仕事	前田さおり, 佐々木耕平, 須藤千尋, 村上絵里子	45
第10章 家族	桑原彩, 加藤恵理子, 水上健二郎, 綿貫仁美	49
第11章 夫婦の記念日	桜田景子, 市川恵美, 神戸大輔, 矢吹麻衣子	53
第12章 自己投資	馬場里沙, 鈴木達也, 福島翔子, 丸子桃子	57
第13章 余暇	田川智恵, 塩田賢子, 立川友理, 百々海仁	61
第14章 健康とストレス	大神文香, 青木めぐみ, 鈴木千尋, 山崎梨奈	65

第Ⅲ部 資料

A 基礎集計表		69
B 自由回答		101
C 調査票と督促状		107

A 調査の概要

小林盾，相澤真一

第 1 節 調査の概要

(1) 調査名

第 3 回 地域と生活についての武蔵野市民調査。

(2) 調査実施者，調査実施責任者

実施者：成蹊大学社会調査士課程。

実施責任者：小林盾（成蹊大学文学部現代社会学科 専任講師），相澤真一（成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤助手）。

(3) 調査方法と調査期間（詳細は第 4 節参照）

郵送調査を 2008 年 7/24 木曜日（調査票を発送）～9/4（最後の調査票が到着）におこなった。返送期限は 8/4 月曜日。督促状を 7/31 木曜日と 8/7 木曜日に送付した。

(4) 母集団

2007 年 12 月 31 日時点で満 22～69 歳の武蔵野市民男女（1938 年 1 月 1 日～1985 年 12 月 31 日生まれ）。

(5) 計画標本

400 人。

(6) 抽出方法（詳細は第 3 節参照）

二段無作為抽出法。地点として 8 つの丁を，人口規模を考慮して系統抽出した。各地点から 50 人を，住民基本台帳から系統抽出した。

(7) 有効回収数，回収率（詳細は第 5 節参照）

296 人，74.0%。

(8) 謝礼

500 円の図書カード。調査票に同封して先渡しとした。

第 2 節 調査の目的

日程

	授業	授業外の作業
2008 年 4/10	前期授業開始 (7/17 まで)	
4/17～	テーマと従属変数を決める	
5/22～	仮説を立てる	
6/5～	質問を作る	
6/24		武蔵野市役所にてサンプリング
7/3～	調査票を作成する, 発送作業をする	
7/3～23		発送作業
7/24		調査票発送
7/31		第 1 回督促状を送付
8/4		返送期日
8/7		第 2 回督促状を送付
8/9～9/18		データ入力
9/4		最後の調査票が届く
9/11～10/1		データクリーニング
9/25	後期授業開始 (1/15 まで)	
10/2～	集計する (分布, 平均, 標準偏差)	
10/9～	比較する (平均の比較)	
10/16～	関連をもとめる (相関係数)	
11/6～	マクロ統計をしらべる	
11/13～	インタビューをおこなう	
11/27～	報告書を執筆する	
2009 年 1/15	報告書原稿の提出, 授業終了	
7 月		報告書が完成

この調査の目的は、人びとが地域の中でどのように生活しており、地域についてどのように考えているのかを明らかにすることにある。現代社会では、地球規模での一体化（グローバルゼーション）が進む中で、ややもすれば地域社会との人びとの関わりが少なくなってきたかもしれないからである。

そのために、成蹊大学のある東京都武蔵野市を、事例として取りあげた。武蔵野市は、東京都心部の近郊住宅地でありながら、吉祥寺という商業地域もある。この点で、首都圏地域の縮図ともいえるかもしれない。

なお、この調査は成蹊大学社会調査士課程における教育の一環であり、社会調査実習という授業の中で実施された。2006 年度に開始され、今回が 3 回目となる。本年度は 2 クラス合同で行い、授業は毎週木曜 2 限（10：40～12：10）と 3 限（1：10～2：40）に社会調査士課程室で行われ、1 年間つづいた。

地点の抽出

	抽出された地点	抽出方法
第 1 回調査 (2006 年度)	吉祥寺南町 2 丁目, 吉祥寺北町 5 丁目, 中町 1 丁目, 西久保 1 丁目, 緑町 2 丁目, 境 1 丁目, 境南町 5 丁目, 桜堤 2 丁目	丁を単位としてランダムサンプリング（人口規模を考慮しない）
第 2 回調査 (2007 年度)	吉祥寺東町 2 丁目, 吉祥寺南町 4 丁目, 吉祥寺本町 3 丁目, 吉祥寺北町 4 丁目, 八幡町 1 丁目, 関前 2 丁目, 境 3 丁目, 境南町 4 丁目	丁を単位として系統抽出（人口規模を考慮しない）
第 3 回調査 (2008 年度)	吉祥寺東町 3 丁目, 吉祥寺南町 5 丁目, 吉祥寺本町 4 丁目, 吉祥寺北町 3 丁目, 中町 3 丁目, 緑町 3 丁目, 境 2 丁目, 境南町 3 丁目	丁を単位として系統抽出（人口規模を考慮した）

第 3 節 標本の抽出方法

(1) 地点の抽出

丁を単位とした。武蔵野市の全 51 丁のうち、すでに調査対象となった 16 丁を除いて、35 丁から 8 丁を系統抽出した（人口規模を考慮した）。

(2) 個人の抽出

武蔵野市役所にて住民基本台帳を閲覧して、計画標本 400 人、予備標本 10 人の合計 410 人を系統抽出した。各地点から 50 人ずつだが、境南町 3 丁目のみ予備標本 10 人をふくめて 60 人とした。

抽出間隔は 30 人で固定した（緑町 3 丁目のみ人口が少なかったため 20 人）。スタート番号は、あらかじめ各地点ごとに、抽出間隔の範囲内でランダムに準備した。

サンプリングの手続きは、6/17 に相澤が武蔵野市役所にておこなった。閲覧申出書、誓約書、学部長による調査実施証明書、調査票、顔写真のついた身分証明書を提出した。

サンプリング作業は、2008 年 6 月 24 日午前 9 時から午後 4 時 30 分まで、教員 2 人（小林盾、相澤真一）と学生 6 人で行った。1 時間を単位として、教員 1 人と学生 1 人がペアとなった。

第 4 節 調査の実施方法

(1) 郵送調査

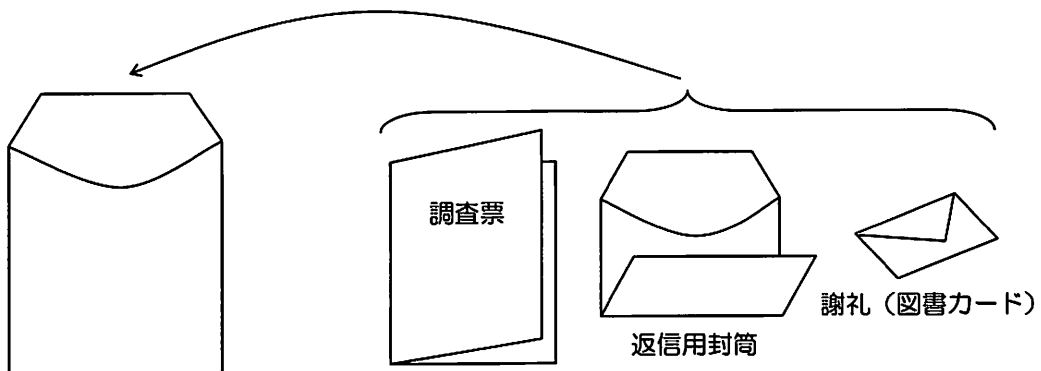
調査票、返信用封筒（切手貼付済み）、謝礼を封入して、封筒にて送信した。回収はかんげんに匿名で行った。また、督促状を葉書で全員に 2 回送付した。発送はすべて木曜日におこなうことで、週末に届くようにした。

なお、事前の告知や過去の報告書の同封は、先行研究から回収率をさげることが分かっているため、おこなわなかった。

(2) 予備標本の使用、欠票 1 票が宛て先不明で返送されたため、予備標本から 1 人に発送した。他に欠票として、転居済みで返送が 1 票、本人不在のため家族から返送されたものが

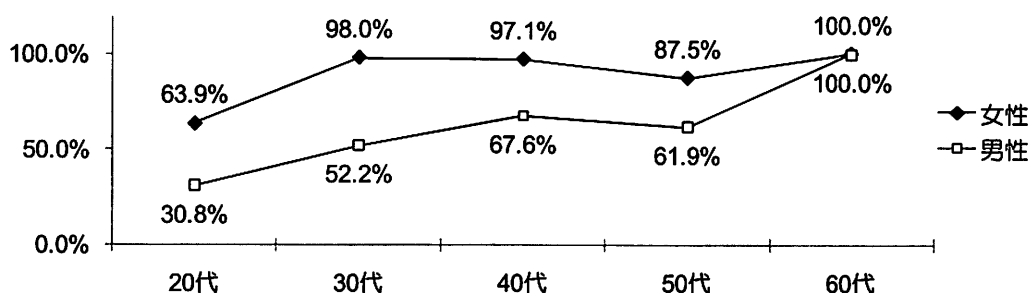
郵送調査の仕様と作業内容

	仕様	作業内容
調査票	A3 用紙 2 枚に両面印刷 (業者依頼)。厚口、若草 色の冊子。	表紙に赤スタンプで「図書カードが同封されていま す」。
送付封筒	「社会調査士課程室」名 入り角 2 号封筒。	表にスタンプで「調査依頼在中」。宛て先シールと 140 円切手を貼付。
返信封筒	「社会調査士課程室」名 入り角 2 号封筒。宛て先 を「社会調査士課程室」 と印刷済み。	表にスタンプで「返送期日～月～日」と押印してか ら、期日を赤ペンで記入。140 円切手と両面テープ を貼付。2 つ折り。
督促状葉書	官製葉書。	文面をリソグラフで印刷。宛て先シールを貼付。期 限を蛍光黄色ペンで強調。
謝礼	500 円の図書カード。紙 ケース入り。	
留守番電話	7/24～9/25 設置。	「こちらは成蹊大学社会調査士課程室です。開室時 間は、月曜日と木曜日の、午前 10 時から午後 5 時 です。ご用件があるかたは、ピーという発信音のあ とに残してください」と録音。
大学ホーム ページ	7/24 以降にアナウンス。	「新着情報・お知らせ」欄に「社会調査士課程室で アンケート調査を実施」として調査票第 1 ページ (PDF ファイル) へとリンク。



性別、年齢別の有効回収数（カッコ内は回収率）

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	12人 (30.8%)	35人 (52.2%)	23人 (67.6%)	26人 (61.9%)	28人 (100.0%)	124人 (59.9%)
女性	23人 (63.9%)	49人 (98.0%)	33人 (97.1%)	28人 (87.5%)	38人 (100.0%)	171人 (90.0%)
合計	35人 (46.7%)	84人 (71.8%)	56人 (82.4%)	54人 (73.0%)	66人 (100.0%)	295人 (73.8%)



1票、「長期不在で期日がすぎたため返送する」と封書で図書カードが返送されたものが1票あった。どれも返送期日を過ぎていたため、予備標本を使用しなかった。

(3) 調査拒否

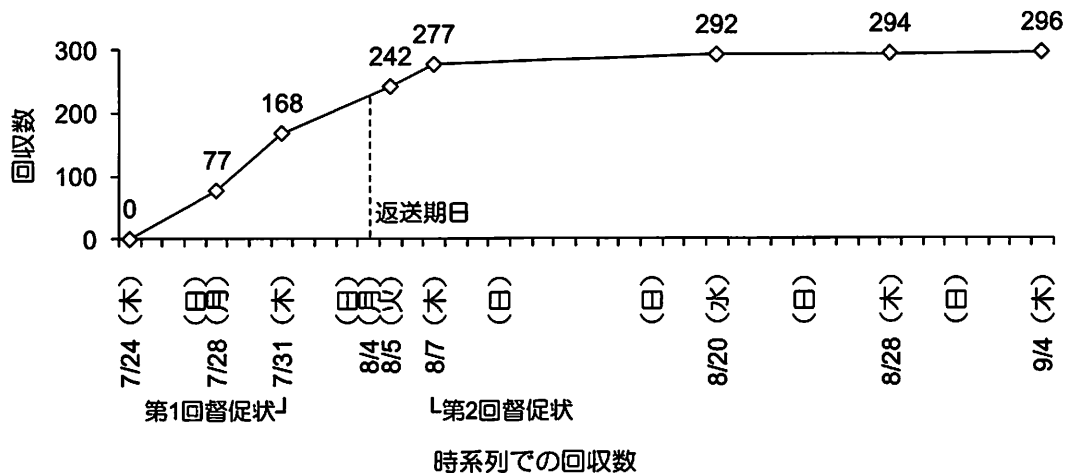
2票あった。「協力できない」と持参されたものが1票、受け取り拒否として返送されたものが1票あった。

(4) 問い合わせ

電話で2件あった。1つは対象者の方から、第2回督促状について「すでに回答したのに、なぜ督促状がくるのか」との質問だった。「匿名で回収しているため、すべての対象者の方に督促状を送付している」ことを伝えた。もう1つは、武蔵野市役所市民協働推進課から、「住民基本台帳の閲覧手続きについて対象者の方から質問があった」とのことだった。

(5) データ入力後のデータクリーニング

無回答には「999」を割りふった。○が指定より多い場合は、サイコロを使用して選んだ（以上エディティング）。その後、アフターコーディング（問4、17、18）とロジカルチェックを行った。



第5節 回収状況

(1) 回収率

74.0%であった(400人に発送して有効回答が296人)。2006年度の第1回収率調査では、51.5%(206人)、2007年の第2回収調査では66.5%(266人)であった。

なお、これまでの回収率の変化と要因について、数理社会学会大会で報告された(小林盾「回収率70%への挑戦：郵送調査の可能性」第47回数理社会学会大会報告要旨集収録、2009年3月8日、京都産業大学)。

(2) 性別、年齢別の回収率

表のとおりとなった。ただし、回答者のうち1人で性別と年齢が不明だった。

ほぼすべての年齢で、女性のほうが回収率が高かった。とくに、30代で差が大きかった。

(3) 時系列での回収数

グラフのとおりとなった。督促状を2回送付し、それぞれ効果はあったようである。

第6節 東京都武蔵野市について

東京都武蔵野市は東京23区の西側にあり、都庁所在地の新宿から約12kmの西方に位置する。東西に長く、東に杉並区、西に小金井市、南に三鷹市、北に西東京市が隣接している。住宅地が多いが、各駅周辺には商業施設、市北部には市役所を中心に野外スポーツ施設や公園、南部には井の頭(いのがしら)公園がある。

武蔵野市には、JR中央線の駅が西から順に、武蔵境、三鷹、吉祥寺の3つある。吉祥寺駅から新宿駅へはJR中央線で約15分であり、渋谷駅へは京王井の頭線で約16分である。武蔵境駅は西武多摩川線の終点でもあり、府中市や多摩川方向へとつながっている。

武蔵野市には自治会や町内会がないが、かわりに市民が企画運営する「コミュニティセン

武蔵野市の市勢

地理	東西 6.4 キロ、南北 3.1 キロ、面積 10.7 平方キロ、標高 50～65 メートル
人口	134,530 人、男性 64,971 人、女性 69,559 人（調査時点の 2008 年 8 月 1 日現在）
歴史	1889 年 神奈川県北多摩郡武蔵野村が誕生
	1893 年 東京府に編入
	1928 年 町制施行（東京府北多摩郡武蔵野町）
	1947 年 市政施行（東京都武蔵野市）

ター」がある。コミュニティバス「ムーバス」は、通常のバスが通っていない地域をカバーしており、同種のサービスの先駆けとなった。

市の人口は約 13 万人、世帯数は約 6 万である。1970 年頃から、ほぼ横ばいで推移している。人口密度は約 12,000 人（平方キロメートルあたり）であり、これは市町村別で全国 3 位である（1 位は埼玉県蕨市、2 位は東京都 23 区）。産業別では、第 1 次産業従事者が 1%以下、第 2 次産業従事者が 1 割、第 3 次産業従事者が 8 割以上となっている。

なお、武蔵野市や吉祥寺に関する書籍は、数多く出版されている。武蔵野市発行のものである、『統計でみる武蔵野市』が毎年発行されており、人口など基礎的な情報が掲載されている。

『2007 武蔵野市市勢要覧』は、市制施行 60 周年を記念して発行され、これまでの市の歴史や現在の姿が掲載されている。他に武蔵野市については、たとえば『公助・共助・自助のちから：武蔵野市からの発信』（成蹊大学文学部学会、2006 年、風間書房）や『ムーバスの思想 武蔵野市の実践』（土屋正忠、2004 年、東洋経済新報社）がある。

吉祥寺については、『吉祥寺スタイル：楽しい街の 50 の秘密』（三浦展、2007 年、文芸春秋）や『きちぼん』（きちぼん出版プロジェクト、2006 年、ラトルズ）がある。

第 7 節 成蹊大学社会調査士課程について

成蹊大学文学部現代社会学科では、2004 年度から社会調査士課程を設置して、社会調査士資格の取得に対応している。学生は 1 年次から 3 年次まで 6 つの授業を履修することで、資格を取得できる。社会調査士課程室を中心に授業がおこなわれ、助手が学習をサポートしている。この調査は、3 年次配当の社会調査実習において、授業の一環として実施された。

B 統計用語

小林盾

1 母集団と標本

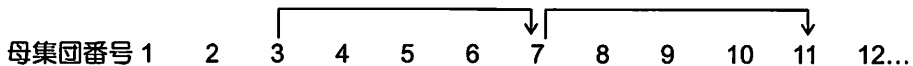
調査で知りたい人の全体を、母集団とよぶ。予算、時間、人員などに制限があるときは、母集団の一部を、標本として調査する。この調査では、母集団である 22～69 歳の武蔵野市民は約 9 万人おり、標本である調査対象者は 400 人であった。

2 無作為抽出（ランダムサンプリング）と有意抽出

標本の各個人を同じ確率で選ぶことを、無作為抽出する（ランダムサンプリングする）という。標本が無作為抽出されたなら、調査対象者（標本）は、たとえ人数が少なくても、全体（母集団）の偏らない縮図とみなすことができる。無作為抽出されていないとき、「有意抽出された」という。この調査は、標本を無作為抽出している。

3 系統抽出法

無作為抽出をするための簡便な方法に、系統抽出法がある。これは、母集団から標本を等間隔に選んでいく方法である（ただし完全な無作為抽出法にはならない）。まず、1 人 1 人に母集団番号を振ってから、スタート番号を無作為に決めて、最初の標本とする。そのあとで、スタート番号から等間隔に、残りの標本を選ぶ。たとえば、スタート番号が 3 で、間隔が 4 であれば、つぎのように母集団番号 3, 7, 11, ... が標本として選ばれる。



この調査では、住民基本台帳から調査対象者を選ぶときに、系統抽出法を用いた。地点ごとに、スタート番号を 24、間隔を 30 などとした。

4 平均

平均は、ある質問（変数という）を 1 つの数字で代表させて、いわば重心を表す。つぎの式で計算される。値が 1 と 0 なら、平均は割合（または比率）とよばれ、% で表せる。

$$\text{平均} = \frac{\text{個人1の値} + \text{個人2の値} + \dots}{\text{合計人数}}$$

5 標準偏差

標準偏差は、ある変数の「散らばり」の度合いを1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、0以上の値になる。

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{個人1の値} - \text{平均})^2 + (\text{個人2の値} - \text{平均})^2 + \dots}{\text{合計人数} - 1}}$$

6 相関係数

相関係数とは、年齢と家族人数など、2つの質問がどれくらい関連しているのかを、1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、-1から1の間となる。

$$\text{相関係数} = \frac{(\text{個人1の変数1の値} - \text{変数1の平均}) \times (\text{個人1の変数2の値} - \text{変数2の平均}) + \dots}{\text{変数1の標準偏差} \times \text{変数2の標準偏差} \times (\text{合計人数} - 1)}$$

もし相関係数が-0.4などマイナスであれば、片方が増えると他方は減ることになる（たとえば年をとるほど家族が減る）。もし相関係数が0.4などプラスであれば、片方が増えると他方も増える（年をとるほど家族が増える）。

本文では、相関係数がつぎのような表で表現されている（対角線はつねに1であり、右上半分は左下半分と同じとなるので省略してある）。太字の1は「1 図書館利用」を表す。

ここでたとえば、1 図書館利用と2 市への愛着の関連をみると、相関係数が0.10となっている。したがって、図書館をよく利用する人ほど、武蔵野市に愛着をもっていることが分かる。

相関係数（*は有意確率 5%未満、**は 1%未満）

	1	2	3
1 図書館利用			
2 市への愛着	0.10		
3 市への満足	0.04	0.45*	

7 有意確率

有意確率は、3%や1%など小さいほど、標本での関連や差が大きいことを表す。統計学で

は一般に、有意確率が 5%未満のときに、関連や差が十分に大きくて、母集団でも関連や差があることが保証される。

たとえば、上の表で 2 市への愛着と 3 市への満足の関連は、相関係数 0.45 で、有意確率 5% 未満であった。したがって、市に愛着がある人ほど市に満足しているし、この関連は十分に強いことが分かる。そのような場合、「有意に関連している」などと表現される。

C 履修者一覧

担当教員

小林盾（文学部現代社会学科専任講師）、相澤真一（文学部現代社会学科非常勤助手）

2 限クラス（文学部現代社会学科 3 年生 28 名）

新井 麻夕	立川 友理
石附 菜緒	民谷 友美（班長）
市川 恵美	綱川 晶乃
加藤 紗織	富 亜紗美
神戸 大輔	百々海 仁
櫻田 景子（班長）	永田 亜来
佐々木 耕平	馬場 里沙（班長）
塩田 賢子	福島 翔子
嶋田 那美	藤井 美由紀
白井 健（班長）	前田 さおり（班長）
鈴木 達也	丸子 桃子
須藤 千尋	村上 絵里子
田川 智恵（班長）	元山 由佳子（班長）
田嶋 優	矢吹 麻衣子

3 限クラス（文学部現代社会学科 3 年生 28 名）

青木 めぐみ	早田 由布子
飯塚 菜月（班長）	高橋 沙織
岩佐 春佳	綱嶋 秋奈
岩重 卓磨	野沢 絵里子（班長）
宇山 千明	平田 祐美子
海老原 莉奈	福島 理沙
大神 文香（班長）	水上 健二郎
岡田 郁恵	三村 衛之
小川 夏樹	本橋 美友希
尾崎 杏里（班長）	山崎 梨奈
加藤 恵理子	吉原 千恵（班長）
金澤 光洋（班長）	渡辺 千晶
桑原 彩（班長）	綿貫 仁美
鈴木 千尋	和田 誠

第1章 成蹊大学のイメージ

——緑に囲まれたキャンパス——

元山由佳子（班長），嶋田那美，綱川晶乃，藤井美由紀

第1節 問題関心

この章では、人びとが成蹊大学にたいしてどのようなイメージをもっているのかを、とくにキャンパスに緑が多い点に着目して調べる。1985年の学園樹木報告によると、小中高校を含めた成蹊学園全体で、キャンパスに198種3978本の樹木があった。多い順に、サクラ378本、シラカシ372本、ケヤキ223本であった。

とくに、成蹊大学のシンボルともいえるケヤキ並木は、高さ25メートル前後、幹回り2メートル以上のものが650メートル続いており、四季折々に美しい景観を醸しだしている。全部で124本あるという。学園が1924年に池袋から吉祥寺に移転したとき、樹齢10年から20年の若木を植樹したそうだ。

ケヤキ並木は、1971年に「武蔵野市天然記念物」に、1982年には都民の投票による「新東京百景」に、1996年には環境省選定の「残したい日本の音風景100選」に選ばれた。武蔵野市でも都市化が進みつつあるなか、ケヤキ並木は市民に親しまれてきたようである。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：成蹊大学について、キャンパスに緑が多いと考える人が多いだろう。

仮説2：成蹊大学に来たことがある人ほど、キャンパスに緑が多く、お金持ちの学生が多いと考えるだろう。

仮説3：キャンパスに緑が多いと考える人ほど、成蹊大学によい印象をもつため、学生のマナーが良いと考えているだろう。



メンバー

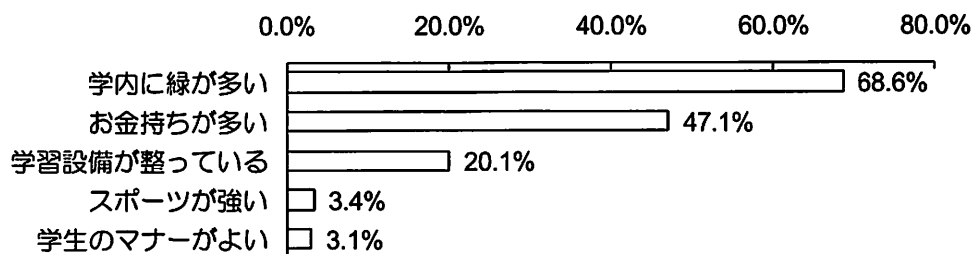
左から綱川，藤井，元山，嶋田



大学本館前のケヤキ

学内に124本ある

問 2 成蹊大学には、どのようなイメージをもっていますか（〇はいくつでも）



棒グラフ（割合）

第 2 節 集計結果

成蹊大学にどのようなイメージをもっているかを問 2 で、「成蹊大学には、どのようなイメージをもっていますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「学内に緑が多い」「学習設備が整っている」「スポーツが強い」「学生のマナーがよい」「お金持ちが多い」「どれも当てはまらない」の 6 個であった。

棒グラフから、緑がもっとも多く 68.6%いた。つづいてお金持ち 47.1%，学習設備が整っている 20.1%であった。いっぽう、スポーツが強い、学生のマナーがよいは少なく、3%前後にとどまった。

仮説 1 で私たちは、キャンパスの緑をイメージする人が多いと予想した。調査結果から、たしかにそのとおりだった。したがって、仮説 1 は肯定された。

なお、成蹊大学にきたことがあるかを、問 1 で質問した。半分以上の 52.5%の人が、成蹊大学を訪問したことがあった。

第 3 節 比較

平均の比較から、緑と学習設備は、男女別では女性の方が、年齢別では 40 代以上の方が、市内在住年数別では 10 年以上の人の方が多かった。ほかの選択肢については、大きな違いはなかった。

仮説 2 で私たちは、成蹊大学に来たことがあれば、緑やお金持ちのイメージが強いのだろうと考えた。調査結果から、来たことがある人のうち、84.5%の人が緑が多いとイメージをもっていたが、来たことがない人では 50.7%であった。しかし、成蹊大学に来たことがあることと、お金持ちが多いというイメージには、とくに関係なかった。学生の外見がそれほど派手ではないからだろう。以上から、仮説 2 は部分的に肯定された。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5
1 学内に緑が多い					
2 お金持ちが多い	-0.13*				
3 学習設備が整っている	0.12*	0.02			
4 スポーツが強い	0.01	0.05	0.00		
5 学生のマナーがよい	0.08	0.07	0.06	-0.03	

第4節 関連

相関係数から、キャンパスの緑をイメージしている人ほど、有意に学習設備が整っていると考えていた（相関係数 0.12）。これは、大学に足を踏み入れてすぐに、多くの木々と情報図書館が目に入るからだろう。

仮説 3 では、キャンパスに緑が多いと考える人ほど、学生のマナーが良いと考えているだろうと予測した。調査結果から、キャンパスに緑が多いとイメージした人と、学生のマナーが良いと考えている人には関連がなかった（相関係数 0.08）。これはやや意外な結果であった。マナーについては通学路などで見られることが多いため、キャンパスの緑とは直接関係がないのだろう。したがって、仮説 3 は否定された。

第5節 インタビュー

成蹊大学広報課の方に、インタビューを実施した。回答してくれたのは、30 代男性の職員の方で、勤続年数は 2 年半ほどだそうだ。

まず、キャンパスに緑が多いことについて尋ねた。

「成蹊大学のキャンパスには緑が多いと思っている人が 7 割ほどいましたが、どのように地域の人に受けとめられているのでしょうか」。

「現代はあちこちで都市化が進んでいますね。そうしたなかで、成蹊大学のケヤキ並木や学内の木々は、地域の人びとが緑に触れる場になっているみたいです。成蹊大学に大学らしい雰囲気を作りだすことにも、役立っていると思います」。

つぎに、なぜ学生にお金持ちが多いというイメージを持たれるのかを質問した。

「近隣の人びとの半分近くが、成蹊大学にお金持ちが多いと思っているみたいですが、どうしてでしょうか」。

「それは、武蔵野市がもともと富裕層の多い土地だし、成蹊小学校のブランドイメージがあるからじゃないでしょうか。成蹊学園がもともと三菱財閥の支援で創立されたり、すこし前に総理大臣を輩出したことも、関係しているかもしれません」。

大学としてはこれからも、ケヤキ並木と本館に象徴される「大学らしい」キャンパスを、アピールポイントの一つにしたいそうだ。私たち学生としても、成蹊大学の魅力を伝えるには、じっさいにキャンパスに足を運んでもらうのが一番だと実感している。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	成蹊大学について、キャンパスに緑が多いと考える人が多いだろう	肯定された
仮説 2	成蹊大学に来たことがある人ほど、キャンパスに緑が多く、お金持ちの学生が多いと考えるだろう	部分的に肯定された（金持ちとは無関連だった）
仮説 3	キャンパスに緑が多いと考える人ほど、学生のマナーが良いと考えているだろう	否定された（関連がなかった）

第 6 節 感想

この章では、成蹊大学のイメージについて検討した。考察の結果、緑が豊かというイメージがひろく定着していることがわかった。また、成蹊小学校のイメージなどから、お金持ちが多いと思われることも明らかになった。

成蹊大学に来たことのある人ほど、緑が多いと感じていることから、成蹊大学にとって木々の存在はとても大きなものである。近年は、都心にビル型キャンパスをもつようになった大学も増えている。そうしたなか、成蹊大学のような緑豊かなキャンパスは、学生にとっても地域の人にとっても、憩いの場となっているのだろう。これからも緑に囲まれた環境を守り、地域に開かれた大学でありつづけることだろう。

第2章 井の頭公園

——動物園と植物園の利用状況——

白井健（班長）、新井麻夕、石附菜緒、富亜紗美

第1節 問題関心

この章では、人びとが井の頭公園をどのような目的で利用しているかを、とくに動物園と植物園に着目して調べる。井の頭公園には、井の頭池を中心にして、動物園と植物園からなる井の頭自然文化園、運動場、ジブリ美術館などさまざまな施設がある。その結果、人びとが多様な目的をもって井の頭公園を利用していると予想できるからである。

現在、日本には 90 の動物園と 67 の水族館が存在する（日本動物園水族館協会、2008 年）。遊園地・テーマパーク入場者数では、ディズニーランドなど遊園地にたいして上野動物園など動物園がランクインしている（総合ユニコム「レジャーランド&レクパーク総覧」2007 年）。そうした中、井の頭自然文化園は、ここ 10 年間では毎年 50～60 万人の入場者を集めて、安定した人気を保っている。

井の頭公園は、日本最初の郊外公園として 1917 年 5 月 1 日に開園した。井の頭池を中心として、東京ドーム 8 個分の面積をもつ。その一角に井の頭自然文化園があり、都立動物園として 1942 年に開園した。現在は本園と分園にわかれている。動植物の観察だけではなく、彫刻芸術も鑑賞することができる総合文化施設として、また人びとが心和む公園として幅広い年齢層に親しまれている。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説 1：武蔵野市民には、井の頭公園の動物園や植物園を利用する人が多いだろう。

仮説 2：年配の人ほど、動物園や植物園を利用したことがあるだろう。

仮説 3：動物園や植物園の利用者ほど、子供と一緒に来ようから、ジブリ美術館にいったこ



メンバー

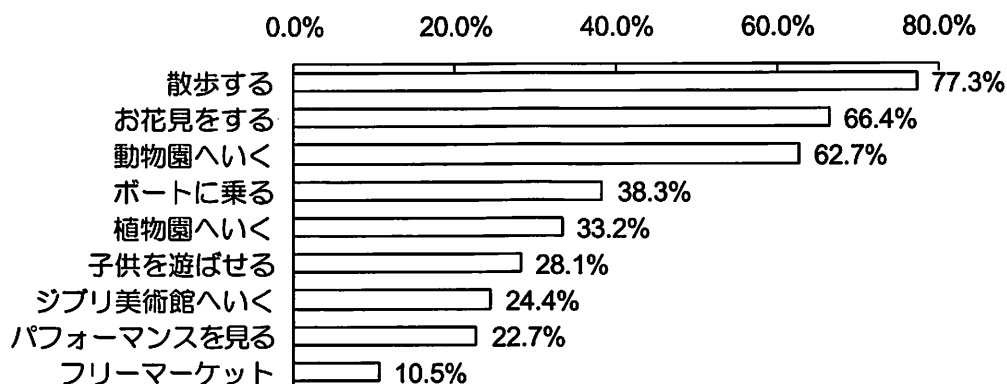
左から新井、石附、白井、富



井の頭自然文化園

山羊などと自由に触れあえる

問 8 あなたはこれまで、井の頭公園でなにをしたことがありますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

とがあるだろう。

第 2 節 集計結果

井の頭公園をどのような目的で利用しているかについて問 8 で、「あなたはこれまで、井の頭公園でなにをしたことがありますか (〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「動物園へいく」「植物園へいく」「シブリ美術館へいく」「ボートに乗る」「散歩する (ペットとも)」「子どもを遊ばせる」「お花見をする」「パフォーマンスを見る」「フリーマーケットに行く」「その他 (具体的に)」「どれも利用したことがない」の 11 個であった。

棒グラフから、散歩をする人が圧倒的に多く、77.3%いた。つづいてお花見が 66.4%であった。動物園と答えた人は 3 位で人気ぶりをみせ、62.7%の人が挙げた。植物園は 33.2%だった。以上から、仮説 1 はおおむね肯定された。

いっぽう、フリーマーケットやパフォーマンスに参加する人は、2 割ていどだった。井の頭公園では「アートマーケット」というイベントが開催されている。しかし、出展が登録制であり、リサイクル品を一切扱わないなどアートの要素が強いいためか、参加が限られていた。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、植物園は男性が女性を上回った。年齢別では、大きな違いがなかった。とくに散歩をする、お花見をする、動物園へいくという回答はどの年代においても人気があり、上位 3 つ以内に挙げられた。

仮説 2 を検証するために、年齢別の比較を行ったら、動物園について 30 代以下が 58.8%、

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 散歩									
2 お花見	0.08								
3 動物園	0.12*	0.18**							
4 ボートに乗る	0.16**	0.16**	0.39**						
5 植物園	0.06	0.24**	0.48**	0.33**					
6 子供を遊ばせる	0.05	0.08	0.45**	0.44**	0.37**				
7 ジブリ美術館	0.18**	0.19**	0.26**	0.25**	0.29**	0.28**			
8 パフォーマンス	0.24**	0.16**	0.15**	0.17**	0.20**	0.22**	0.18**		
9 フリーマーケット	0.13*	0.08	0.13*	-0.02	0.11	0.08	0.14*	0.37**	

40代以上 65.7%と年配の人が多かった。植物園についても、30代以下 21.8%、40代以上 41.1%と、やはり年配の人が多かった。したがって、仮説 2 は肯定された。

第 4 節 関連

相関係数から、ボートに乗る人ほど、有意にジブリ美術館を利用していた（相関係数 0.25）。また、フリーマーケットに行く人ほど、有意に動物園へいていた（相関係数 0.13）。井の頭公園が、一種の総合テーマパークとして捉えられているからだろう。

なお、動物園や植物園を利用したことがある人ほど、有意にジブリ美術館を利用したことがあった（相関係数 0.19、0.29）。動物園を利用する人のうち、ジブリ美術館を利用した人は 33.0%で、そうでない人より多かった。どうように、植物園を利用する人のうち、ジブリ美術館を利用した人は 41.8%だった。したがって、仮説 3 は肯定された。

第 5 節 インタビュー

井の頭自然文化園の管理係係長にインタビューを実施した。管理事務局は自然文化園の本園入口前にあり、動物園と植物園の管理を行っている。室内には、フェネックの赤ちゃんなどの動物が飼育されていることもあり、ゆったりとしたスペースで落ち着いた雰囲気だった。「開園当時と現在とで、すいぶんいろいろと変わったと思いますが、利用者には変化はどれくらいあったのでしょうか」。

「じつは、利用者そのものに変化はあまりないですね。30代くらいの子連れの方や、散歩がてらに訪れるお年寄りが、今も昔も多いです。年間パスポートというものがあって、利用率が高くリピーターも多いですね」。

管理事務局は、任意の利用者アンケートを年 2 回実施している。それによれば、武蔵野市民あるいは三鷹市民の利用が、やはり多い。とはいえ、お花見や紅葉、遠足などの行楽シーズンには、世田谷区や杉並区をはじめとした近郊の保育園児なども、多く訪れるそうだ。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市民には、井の頭公園の動物園や植物園を利用する人が多いだろう	おおむね肯定された
仮説 2	年配の人ほど、動物園や植物園を利用したことがあるだろう	肯定された
仮説 3	動物園や植物園の利用者ほど、シブリ美術館にいったことがあるだろう	肯定された

また、象のはな子が還暦を迎えテレビや地元新聞紙などに取り上げられると、さまざまな地域からお年寄りの方がはな子を見に訪れたという。こうして、井の頭公園は今もなお、老若男女問わず誰からも広く愛され続ける公園として存在し続けているようだ。

第 6 節 感想

この章では、井の頭公園の利用目的について検討した。考察の結果、多くの人が動物園や植物園を利用していることがわかり、人気を再確認できた。また、井の頭公園が年配の人や子供づれを中心にして、さまざまな目的で利用されていることも明らかになった。

井の頭公園は、単なる公園というよりは、動物園や植物園や美術館を備えた総合テーマパークともいえそうだと、今回の調査をとおして感じた。これからの公園を考えると、井の頭公園のように幅広い目的を満たすことができれば、より魅力的になるのかもしれない。

第3章 吉祥寺の老舗喫茶店

——くぐつ草とまめ蔵——

民谷友美（班長），加藤紗織，田嶋優，永田亜来

第1節 問題関心

この章では、武蔵野市の人びとが吉祥寺の飲食店をどのように利用しているかを、とくに吉祥寺の老舗喫茶店である「くぐつ草」と「まめ蔵」に着目して調べる。全国的に一般飲食店の構成比率を見てみると、喫茶店は19.9%と最も多く、ついで一般食堂が17.8%、中華料理店が14.5%となっており、この3つで飲食店全体の半分以上を超えている（総務省「サービス業基本調査」2004年）。そうしたなか、吉祥寺の街では食のジャンルを問わずたくさんの人気店があり、それらは頻りにマスコミでも取りあげられる。なぜだろうか。

吉祥寺でも、おしゃれなカフェや飲食店が次々に開店して話題を呼んでいる。そのいっぽうで吉祥寺には、昔から続く名店が多数存在する。くぐつ草とまめ蔵はその代表だろう。昭和54年創業のくぐつ草と53年創業のまめ蔵は、どちらも昔ながらの喫茶店である。現在はカレーも人気で、多くの人から親しまれている。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：くぐつ草やまめ蔵は、武蔵野市民から愛されているだろう。

仮説2：年配の人ほど、老舗なので、くぐつ草やまめ蔵をよく利用するだろう。

仮説3：くぐつ草やまめ蔵にいく人ほど、ブックスルーエやバウスシアターといった吉祥寺らしいところによくいくだろう。

第2節 集計結果



メンバー

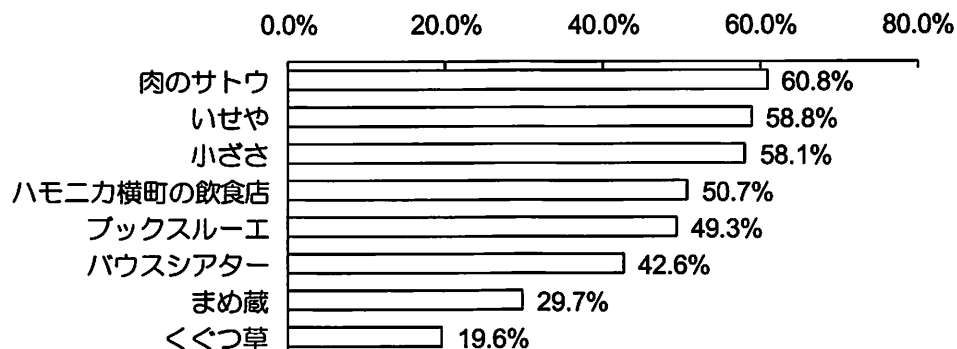
左から加藤，田嶋，民谷，永田



老舗喫茶店のまめ蔵

カレーとコーヒーが人気

問5 あなたはこれまで、吉祥寺で以下の店を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

吉祥寺の人気店の利用度合いについて問5で、「あなたはこれまで吉祥寺で以下の店を利用したことがありますか(〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「ハモニカ横町の飲食店」「いせや(焼き鳥)」「肉のサトウ(メンチカツ)」「小ざさ(もなか)」「まめ蔵(カレー)」「くぐつ草(喫茶店)」「ブックスルーエ(本屋)」「ハウスシアター(映画館)」「どれも利用したことがない」の9個であった。

棒グラフから、肉のサトウと答えた人がもっとも多く、60.8%であった。つづいていせや58.8%、小ざさ58.1%となっていた。やはりテレビや雑誌などで紹介されるような老舗が、上位3つを占めた。

いっぽう、まめ蔵は29.7%、くぐつ草は19.6%の人がいったことがあった。どちらも多少わかりにくい場所にあり、知る人ぞ知る名店ともいえるためか、上位のお店に比べて利用経験者が少なかった。しかし、移り変わりの激しい吉祥寺の飲食店のなかで、30年もの歴史があり、今でも人びとに利用されていることがわかった。以上から、仮説1はおおむね肯定されたといえるだろう。

第3節 比較

平均の比較から、男女別だと、全体的にどの人気店も女性の利用度合いが高かった。とくに小ざさや肉のサトウは女性が多かった。いせややハモニカ横町の飲食店といった、食事だけではなくお酒も飲める店では、男性の方が多かった。年齢別では、お店のジャンルに問わず、だいたいどの人気店も30代以下の利用者が多かった。ただし、小ざさについては逆で、30代以下43.7%だったのにたいして、40代以上68.2%と多くなっていた。市内在住年数別でも、小ざさでもっとも大きな違いがみられ、9年以下42.0%であるのにたいして、10年以上71.3%だった。

さて、まめ蔵とくぐつ草ではどうだろうか。どちらも年配者より若い人の利用が多く、ま

相関係数（*は有意確率 5%未満, **は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 肉のサトウ								
2 いせや	0.28**							
3 小ざさ	0.26**	0.21**						
4 ハモニカ横丁の飲食店	0.18**	0.44**	0.20**					
5 ブックスルーエ	0.17**	0.24**	0.17**	0.27**				
6 パウスシアター	0.08	0.24**	0.16**	0.25**	0.19**			
7 まめ蔵	0.11	0.17**	0.07	0.18**	0.30**	0.25**		
8 くぐつ草	0.03	0.15**	0.14*	0.10	0.26**	0.19**	0.41**	

め蔵は 30 代以下 39.5%で 40 代以上 23.3%だった。くぐつ草は 30 代以下 21.8%で 40 代以上 18.2%となっていた。これは意外な結果であった。どちらも伝統がありながら、新しさも取り込んでいる点で、若い人からも支持されているのだろう。したがって、仮説 2 は否定された（逆だった）。

第 4 節 関連

相関係数から、いせやを利用したことがある人は、有意に他のすべての人気店を利用したことがあった。人気店に吉祥寺らしさを求めているためだろう。また、肉のサトウを利用する人ほど、いせや、小ざさ、ブックスルーエを利用していた。

くぐつ草とまめ蔵については、有意な関連があり、どちらにもいく人が多かった（相関係数 0.41）。また、くぐつ草やまめ蔵にいく人は、有意にブックスルーエやパウスシアターを利用していた（相関係数 0.19～0.39）。くぐつ草を利用したことのある人のうちで、ブックスルーエを利用したことがある人は 75.9%で、パウスシアターを利用したことがある人は 62.1%だった。またまめ蔵を利用したことがある人のうちで、ブックスルーエを利用したことがある人は 72.7%で、パウスシアターを利用したことがある人は 61.4%だった。以上から、仮説 3 は肯定された。

第 5 節 インタビュー

まず、くぐつ草の副店長にインタビューを実施した。西国分寺在住の 30 代の男性であった。「私たちはくぐつ草のメインメニューはコーヒーだと思っていたのですが、そうでもないのでしょうか」。

「カレーも人気がありますね。ですので、カレーとコーヒーの二本柱でやっています。雑誌を見て、遠方からもわざわざカレーを目当てにやってきてくれる人もいます」。

客層は 40～50 代の方が多いが、最近では大学生など 20 代の若者も来るという。たまに漫画家の打ち合わせにも、利用されることがあるようだ。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	くぐつ草やまめ蔵は、武蔵野市民から愛されているだろう	おおむね肯定された
仮説 2	年配の人ほど、くぐつ草やまめ蔵をよく利用するだろう	否定された（若い人ほどよく利用した）
仮説 3	くぐつ草やまめ蔵にいく人ほど、ブックスルーエやハウスシアターによくいくだろう	肯定された

つぎに、まめ蔵の店長にインタビューを実施した。三鷹在住の 24 歳男性で、まめ蔵に 5 年勤務しているそうだ。学生時代にこの店でアルバイトをしていて、そのまま社員になったという。

「どのようなお客さんが多いのでしょうか」。

「もともと喫茶店として始まったのですが、カレーの方が有名になってしまったため、そのごカレー屋になりました。お客さんは幅広いけど、30 代から 40 代が中心ですね。武蔵野市民の方が多いかははっきりとしませんが、仕事帰りの方や雑誌を見て来るお客さんもいます」。

店に飾ってある絵は、絵本作家であるオーナーが描いたものだそう。雰囲気づくりにもこだわっていることがわかる。

第 6 節 感想

この章では、吉祥寺の老舗喫茶店について、とくにくぐつ草とまめ蔵に着目して検討した。考察の結果、年配の人よりも若者によく利用されていた。また、これらの利用者は、ブックスルーエやハウスシアターなど吉祥寺らしいところをよく利用していた。

くぐつ草やまめ蔵は、落ち着いた雰囲気とこだわりの料理で 30 年間市民に親しまれてきた。吉祥寺という街が都心から近い場所に位置しているのに、居心地のよさを感じるのは、こういった昔からの喫茶店、本屋、映画館などの存在が大きいからだろう。これからも、吉祥寺の街のよさを支える存在でありつづけてほしいものである。

第4章 吉祥寺での買い物

——スイーツに着目して——

吉原千恵（班長）、福島理沙、三村衛之、本橋美友希

第1節 問題関心

この章では、人びとが吉祥寺でどのような買い物をしているのかを、とくにお菓子屋に着目して調べる。日本全体では、家庭で1か月4,479円、1年間で53,000円の菓子を購入している（総務庁統計局「家計調査」2007年）。食費全体の中の約6.3%を占め、戦後ほぼ一貫している。収入が低く食費への支出が多かった時代にも、高度経済成長を経た現在も、お菓子は私たちの食生活の中で一定の役割をもっていることがわかる。

吉祥寺には、和菓子屋が61店舗、洋菓子屋が77店舗ある（「吉祥寺データマップ」2008年）。家計調査によると、洋菓子の平均購入額は40代まで増加し続け、そのご減少しがちという。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：吉祥寺で買い物をする人は、スイーツを買う人が多いだろう。

仮説2：女性ほど、また若い人ほど、よく吉祥寺でスイーツを買うだろう。

仮説3：吉祥寺でスイーツを買う人ほど、美容のために、よくエステやスポーツジムに行くだろう。

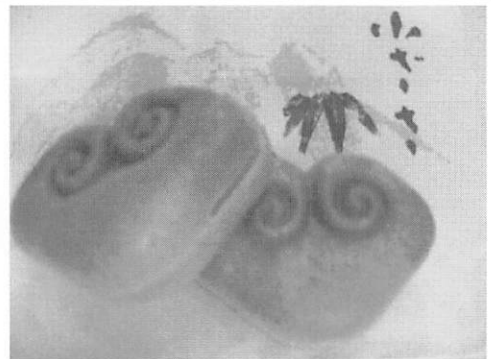
第2節 集計結果

吉祥寺での買い物について問6で、「あなたは吉祥寺で、ふだん何を買いますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「服、くつ、かばん」「化粧品、薬」「本、CD」「家電、パソ



メンバー

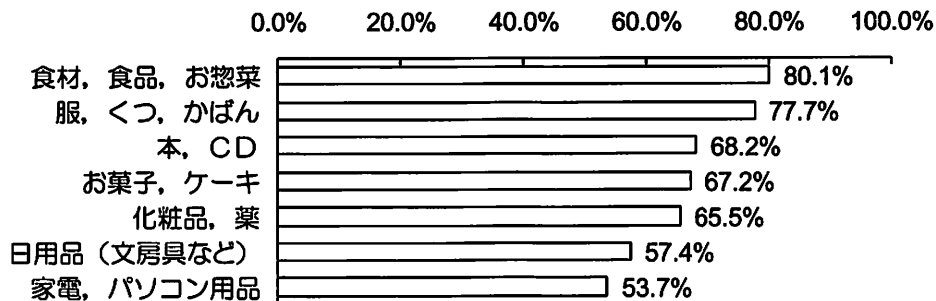
左から福島理沙、三村衛之、本橋、吉原



小ざさの最中

小ざさはハモニカ横丁にある老舗和菓子屋

問6 あなたは吉祥寺で、ふだん何を買いますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

コン用品」「日用品 (文房具など)」「お菓子, ケーキ」「食材, 食品, お惣菜」「その他 (具体的に)」「買い物をしてない」の9個であった。

棒グラフから、「食材, 食品, お惣菜」を買う人が一番多く、80.1%いた。つづいて「服, くつ, かばん」が77.7%であった。「お菓子, ケーキ」は4位で、67.2%の人が買っていた。いっぽう、買い物をしてない人は2.4%のみであった。

仮説1で、私たちはスイーツを買う人が多いだろうと予測した。調査の結果、武蔵野市民は吉祥寺で買い物をする人が多く、その中でも6割以上の人がお菓子やケーキを買っていた。したがって、仮説1は肯定された。

第3節 比較

平均の比較から、男女別だと、「服, くつ, かばん」は女性が多く、「家電, パソコン用品」は男性が多かった。年齢別でみると、「家電, パソコン用品」は40代以上が多く、「日用品 (文房具など)」は30代以下が多かった。市内在住年数別では、「家電, パソコン用品」にのみ大きな差があり、10年以上が多かった。

菓子とケーキについては、男性が58.1%であるのにたいして、女性は74.3%と高くなっていた。これは予想どおりであった。ただし、年齢や市内在住年数別ではあまり差がなかった。したがって、仮説2は部分的に肯定された。

第4節 関連

相関係数から、すべての選択肢のあいだで有意な関連があった。吉祥寺で買い物をする人は、ほとんどの買い物を吉祥寺で済ましてしまうからだろう。

仮説3を検証するため、お菓子とケーキについて、問17「あなたが成人してから、以下のことをしたことがありますか」の「スポーツジムに通う」と「エステに行く」との関連を調

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 食材、食品、お惣菜							
2 服、くつ、かばん	0.18**						
3 本、CD	0.28**	0.31**					
4 お菓子、ケーキ	0.37**	0.27**	0.44**				
5 化粧品、薬	0.30**	0.24**	0.36**	0.36**			
6 日用品（文房具など）	0.27**	0.33**	0.47**	0.32**	0.37**		
7 家電、パソコン用品	0.22**	0.30**	0.30**	0.19**	0.21**	0.39**	

べた。その結果、スポーツジムとは関連がなかったが、エステとは有意な関連があった（相関係数 0.16）。じっさい、スイーツを買う人のうち、52.8%の人がスポーツジムに通っているが、買わない人では 41.7%であった。また、買う人のうち 26.6%がエステにいているが、買わない人では 14.6%であった。美容のためには、スポーツジムよりエステのほうが効果的だからかもしれない。以上から、仮説 3 は部分的に肯定された。

第 5 節 インタビュー

まず、吉祥寺にある老舗和菓子屋「小ざさ（おざさ）」の代表取締役の方にインタビューした。前身の「ナルミ屋」が昭和 6 年創業して、それいらい変わらず武蔵野市と地域密着で経営してきた。ハモニカ横丁の一角にある。販売している和菓子は最中と羊羹のみとシンプルなラインナップながら、今や吉祥寺の有名店となっている。

「お客さんは、どのような方が多いのでしょうか」。

「女性の方や年配の方が多くて、6 割は地元の方ですね。でも、最近は若い女性のお客さんも増えてきましたし、インターネットを使って全国から発送の注文がくるようになっています。日本古来のお菓子を作るなら、日本の風土や気候を感じる必要があると思います。武蔵野市にはそれがあるんじゃないでしょうか」。

また、最近ではカロリーに関する問い合わせも増えたという。人びとの健康に対する意識の高まりが伺える。

つぎにもう一店、洋菓子の店として、成蹊大学斜め前にある洋菓子店 A.K Labo（エーケーラボ）の店主にインタビューした。A.K Labo はフランス菓子とパンのお店である。アットホームな雰囲気店内 2 階にはイートインスペースがあり、成蹊大生にも親しまれている。

「どのような方がよく来店するのでしょうか」。

「ほとんどは地元の人で、近所に住む主婦や親子連れなどが目立ちます。でも最近では、男性一人で訪れる人も増えて、客層は広がってきている感じがします。オープンから 2～3 年経った頃からは、お菓子屋さん巡りや吉祥寺巡りで遠方から訪れる人も増えてきました」。

第 6 節 感想

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	吉祥寺で買い物をする人は、スイーツを買う人が多いだろう	肯定された
仮説 2	女性ほど、また若い人ほど、よく吉祥寺でスイーツを買うだろう	部分的に肯定された（年齢別では差がなかった）
仮説 3	吉祥寺でスイーツを買う人ほど、よくエステやスポーツジムにいくだろう	部分的に肯定された（スポーツジムとは関連がなかった）

この章では、吉祥寺での買い物の仕方について検討した。考察の結果、武蔵野市民は吉祥寺で買い物をする人が多く、食品や服、お菓子などから家電までさまざまなものを買っていることがわかった。吉祥寺にはお店が多く、なんでも揃うからだろう。また、お菓子やケーキを買うのは女性が多いものの、インタビューによると、男性客も増えてきていることがわかった。

吉祥寺の和菓子屋や洋菓子屋は、昔ながらのお店も新しいお店も、地域密着のアットホームな経営となっているようだ。そのため、地元の人たちに愛されているのだろうと感じた。その結果、メディアで取り上げられたり、クチコミで人気が広まり、全国的にも有名になることがあるのだろう。

第5章 吉祥寺での芸術鑑賞

——映画，劇，コンサート——

尾崎杏里（班長），宇山千明，小川夏樹，早田由布子

第1節 問題関心

この章では、人びとが吉祥寺という街にどのような目的をもってくるのかを、とくに映画や劇やコンサートといった芸術鑑賞に着目して調べる。吉祥寺は街全体に活気があり、そのため人びとはさまざまな目的をもって吉祥寺を訪れると予想できるからである。

全国では近年、余暇活動として映画をみる人が増加傾向にある。1995年には、映画への参加率は31.2%、2000年31.8%であったが、2005年には37.2%となった（財団法人社会経済生産性本部「レジャー白書」）。そうした中、吉祥寺の街に映画・劇・コンサートといった芸術鑑賞を目的として訪れる人も多くいそうである。

吉祥寺は大型スーパーやデパートだけでなく、サンロードやハモニカ横丁といったショッピングアーケードがあり、しばしば住みたい街ランキング上位に登場する。ただし、都心部とは違い、吉祥寺に訪れる人の多くは近隣住民であろう。じっさい吉祥寺には、ミニシアター、劇場、ジャズ喫茶、ライブハウスなどの芸術関連の施設が充実している。そのなかには、地域の人びとのニーズに対応しているものも多い。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：吉祥寺の街には、映画・劇・コンサートを目的として訪れる人が多いだろう。

仮説2：女性ほど、また年配の人ほど、時間に余裕があるので、それらによくいくだろう。

仮説3：吉祥寺で映画・劇・コンサートにいく人ほど、吉祥寺でよく食事をするだろうし、よくお酒を飲むだろう。



メンバー

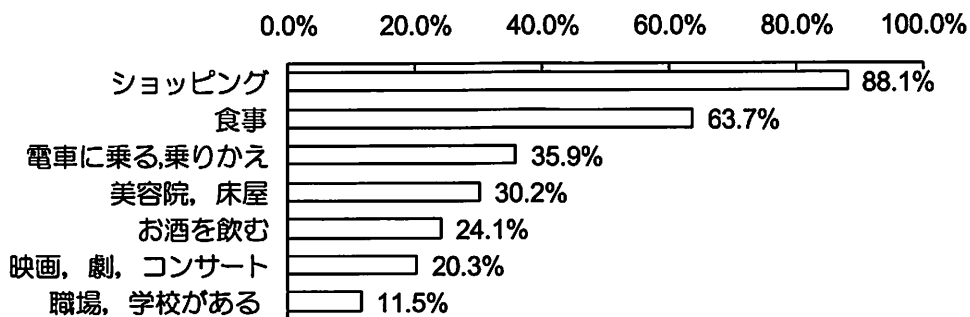
左から宇山，小川，尾崎，早田



吉祥寺バウスシアター入り口

3つの映画館がある

問4 あなたは、ふだん吉祥寺でなにをしますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

第2節 集計結果

吉祥寺の利用目的について問4で「あなたは、ふだん吉祥寺でなにをしますか(〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「職場、学校がある」「電車に乗る、乗りかえる」「ショッピング」「食事」「お酒を飲む」「映画・劇・コンサート」「美容院、床屋」「その他(具体的に)」「吉祥寺に行かない」の9個であった。

棒グラフから、ショッピングと答えた人が圧倒的に多く、88.1%いた。つづいて食事63.7%電車に乗る、乗りかえる35.9%と続いた。映画・劇・コンサートは、20.3%で6位であった。いっぽう、職場や学校がある人は少なかった。以上から、仮説1はおおむね肯定された。

その他で「病院」「図書館」「コミュニティセンター」「会合」「習い事、レッスン」「井の頭公園」「スポーツジム」という回答は、集計後に「公共施設利用、趣味のため」とまとめた(6.1%いた)。それ以外では、「家がある」「散歩」「ネットカフェで勉強」といった回答があった。

第3節 比較

平均の比較から、男女別だと、ショッピングや美容院・床屋といった、自己投資をすることを目的として吉祥寺を訪れる人は女性に多く、お酒を飲みに吉祥寺を訪れる人は男性に多かった。市内在住年数別では、食事で大きな差が見られた。食事については、9年以内在住では72.5%が挙げたのにたいし、10年以上在住では56.4%と低くなっていた。

仮説2について、映画・劇・コンサートでは男女に大きな差はなかったが、年齢別で大きな差が見られた。30代以下で15.1%が挙げたのにたいして、40代以上では24.0%とやや高くなっていた。したがって、仮説2は部分的に肯定された。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 ショッピング							
2 食事	0.22**						
3 電車に乗る	0.17**	0.18**					
4 美容院、床屋	0.15**	0.16**	0.20**				
5 お酒を飲む	0.13*	0.29**	0.09	0.13*			
6 映画、劇、コンサート	0.06	0.22**	0.18**	0.20**	0.21**		
7 職場、学校がある	-0.20**	-0.01	-0.07	-0.03	0.05	0.00	

第4節 関連

相関係数から、吉祥寺に職場や学校がある人ほど、有意に吉祥寺でショッピングをしなかった（相関係数-0.20）。また、公共施設を利用している人ほど、有意に映画・劇・コンサートにいった（相関係数 0.12）。

仮説 3 については、吉祥寺に映画などに訪れる人は、有意に吉祥寺で食事をしていたし、お酒を飲んでた（相関係数 0.22, 0.21）。じっさい、映画などてくる人のうち、85.0%の人が食事にもいくが、そうでない人では 58.3%であった。また、映画などが目的の人のうち、41.7%の人が吉祥寺でお酒を飲むが、そうでない人では 19.6%だった。以上から、仮説 3 は肯定された。

第5節 インタビュー

人びとがどのように吉祥寺で芸術に触れているのかを知るために、吉祥寺バウスシアター（映画館）と吉祥寺シアター（劇場）とでインタビューを実施した。

まず、吉祥寺バウスシアターではスタッフに話を聞いた。

「どういう人がよくくるのでしょうか」。

「うーん、だいたいお客の 6 割ほどが男性かな。平日は一人で映画を見にくるお客さんも多いですね。昼間は年配の方、夜は若者が多く訪れる感じがします」。

バウスシアターは、かつてライブハウスだったことをうまく利用し、爆音シリーズというライブ用のスピーカーを使った映画を上映している。また、都内で上映が終わった作品を上映し、見逃した人やもう一度見たい人のための二番館としてお客を引き付けるなど、独自の映画スタイルをもっている。リピーターは吉祥寺に住む人が多いそうだ。

つぎに、吉祥寺シアターでは支配人にインタビューした。

「観客は、どういう方が中心でしょうか」。

「年間で約 6 万 5 千人くらいですね。もっとも賑わうのは平日の夕方と、休日の昼間です。お客の男女比は、作品によってかなり異なりますね」。

また、吉祥寺シアターに内設しているシアターカフェでも、インタビューできた。利用者

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	吉祥寺の街には、映画・劇・コンサートを目的として訪れる人が多いだろう	おおむね肯定された
仮説 2	女性ほど、また年配の人ほど、それらによくいくだろう	部分的に肯定された (男女差はなかった)
仮説 3	吉祥寺で映画・劇・コンサートに行く人ほど、吉祥寺でよく食事をするだろうし、よくお酒を飲むだろう	肯定された

のほとんどが女性であり、年齢層は 20～30 代が主であるそうだ。劇団関係者がいでは、サンロード周辺のガヤガヤとした喧騒を避けたい地元の方が、よく来るという。

第 6 節 感想

この章では、吉祥寺にどのような人が芸術鑑賞にくるのかを検討した。考察の結果、吉祥寺に職場や学校がなくても、人びとが吉祥寺に映画目的で活発に訪れていることがわかった。また、インタビューによれば、映画や劇には、吉祥寺近隣の人びとが多く利用しているようであった。

吉祥寺は芸術施設や商店や自然が充実していて、さまざまな目的で人びとは訪れる。そこに吉祥寺独自のスタイルが備わっているため、幅広い年代の人びとに受け入れられているのだろう。近年では、吉祥寺を舞台とした映画やドラマが多く見られたり、冬には駅前のクリスマスイルミネーションを見にたくさんの人が訪れる。このように、吉祥寺は芸術の街としても定着しつつあるのだろう。

第6章 吉祥寺の禁煙エリア

——共生をめざして——

飯塚菜月（班長），岩重卓磨，網嶋秋奈，平田祐美子

第1節 問題関心

この章では、人びとが吉祥寺駅周辺の禁煙エリアについてどのような意見をもっているのかを、とくに飲食店に着目して調べる。近年、吉祥寺に限らず、禁煙の流れは日本全体的に広まっている。喫煙者の割合は、1966年の成人男性 83.7%、成人女性 18.0%をピークに下降し続けた。2008年では成人男性 39.5%、成人女性 12.9%となっている（JT 全国喫煙者調査）。日本ではまだ、アメリカなどのように公共の場がほぼ全面禁煙というほど、厳しく喫煙を取り締まられてはいない。しかしながら、東京都千代田区では、2002年から路上が全面禁煙とする条例が制定され、全国の他の自治体でも類似の条例を制定する動きが広がっている。

吉祥寺駅周辺では、駅前広場は一部の喫煙スペースを残し、いくつかの喫煙場所が撤去され禁煙エリアとなった。また吉祥寺に数多くある飲食店では、ほとんどが分煙か禁煙を実施している。JR 吉祥寺駅は2009年4月から全面禁煙となった。京王井の頭線吉祥寺駅は、2003年から全面禁煙となっている。

では、喫煙者と非喫煙者は、どうすれば共生できるのだろうか。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：多くの人が、吉祥寺の飲食店の禁煙を希望しているだろう。

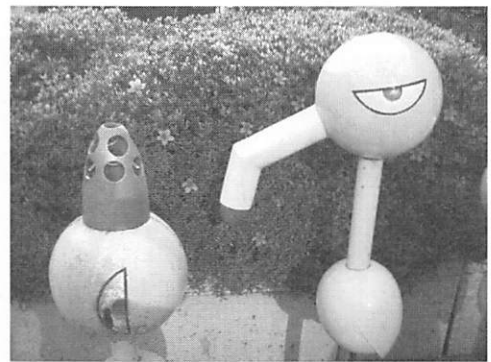
仮説2：女性ほど、また若い人ほど、飲食店の禁煙を希望するだろう。

仮説3：飲食店の禁煙希望者ほど、駅前広場や居酒屋の禁煙を希望するだろう。



メンバー

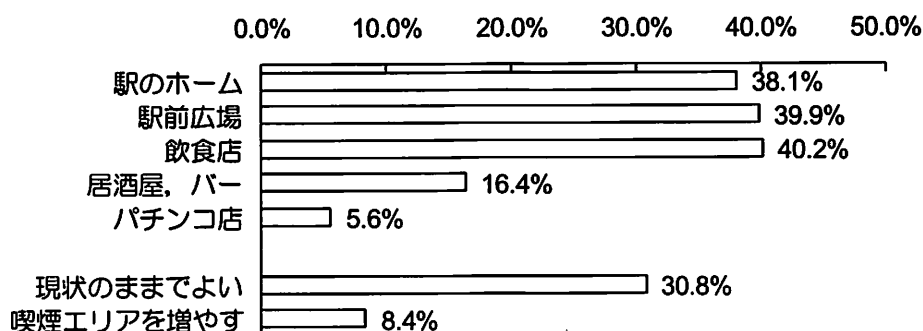
左から飯塚，岩重卓磨，網嶋秋奈，平田



吉祥寺駅前喫煙コーナーの灰皿

左のクチバシ部分が灰皿になっている

問 9 吉祥寺周辺で、どこを禁煙にしてほしい、または禁煙エリアを増やしてほしいですか。
(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

第 2 節 集計結果

禁煙にしてほしいエリアについて問 9 で、「吉祥寺駅周辺で、どこを禁煙にしてほしい、または禁煙エリアを増やしてほしいですか (〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「駅のホーム」「駅前広場」「飲食店」「居酒屋、バー」「パチンコ店」「その他 (具体的に)」「現状のままでよい」「喫煙できるエリアを増やしてほしい」の 8 個であった。

棒グラフから、飲食店と答えた人がもっとも多く、40.2%いた。つづいて駅前広場が 39.9%であった。いっぽう、パチンコ店は利用者に喫煙者が多いためか、5.6%と少なかった。以上から、仮説 1 は肯定された。

なお、武蔵野市民の喫煙率は、問 10 キの喫煙日数からわかった。喫煙者は全体で 17.5%で、男性 29.8%、女性 8.5%だった。全国平均の男性 39.5%、女性 12.9%とくらべると、武蔵野市民の喫煙率がひじょうに低いことがうかがえる。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、飲食店で男性 30.8%、女性 47.3%が禁煙を希望した。これいがいでも、ほとんどの項目で女性が男性の禁煙希望率を上回った。

年齢別では、飲食店で 30 代以下が 42.7%、40 代以上が 38.7%と大差なかった。若い人のほうが明確に禁煙を希望するかと思っていたので、これは意外な結果だった。以上から、仮説 2 は部分的に肯定された。

その他の自由回答には、「駅周辺、井の頭公園全体」「歩道」「路上は全面禁煙」といった意見があった。

相関係数（*は有意確率 5%未満, **は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 駅のホーム							
2 駅前広場	0.60**						
3 飲食店	0.44**	0.38**					
4 居酒屋、バー	0.31**	0.24**	0.52**				
5 パチンコ店	0.12*	0.17**	0.11	0.18**			
6 現状のままでよい	-0.52**	-0.54**	-0.55**	-0.30**	-0.16**		
7 喫煙エリア増	-0.19**	-0.19**	-0.22**	-0.10	-0.02	-0.20**	

第4節 関連

相関係数から、飲食店の禁煙希望者ほど、有意に駅前広場や居酒屋の禁煙を希望した（相関係数 0.44, 0.24）。禁煙してほしいと考える人は、どこでも実現することを願っているのだろう。したがって、仮説 3 は肯定された。また、飲食店の禁煙を希望する人は、他にパチンコ店の禁煙も有意に希望していた（相関係数 0.17）。

なお、問 4 の「ふだん吉祥寺でお酒を飲む」人ほど、有意に居酒屋やバーの禁煙を希望していた（相関係数 0.12）。しかし、吉祥寺でふだん飲食するからといって、飲食店の禁煙を希望するわけではなかった。喫煙者も含まれているためだろう。

第5節 インタビュー

吉祥寺の駅近辺にある 2 店の飲食店に、インタビューを実施した。1 つは、Koki's House は、平日ランチタイムに分煙、土日祝日はランチタイム全面禁煙としている。アメリカンな雰囲気の中で、リーズナブルに食事が楽しめる店である。

もう 1 つは GONO で、毎日ランチタイムは全面禁煙としていた。今年（2008 年）の 10 月にオープンし、炭火焼ハンバーガーをメインにしたお店である。

どちらにも共通して、ランチタイムは主婦をはじめとする女性の客が多く利用するため、禁煙や分煙を実施したという。始めてみたら、とくに年配の女性や子供連れの女性に喜ばれ、全般的にお客を効率よく呼び込むことに成功した。

以前は禁煙とわかると、帰ってしまう客も多少みられた。しかし、現在はそういう人はほとんどいなくなったという。GONO の方によれば、

「近年は禁煙が広がっているから、飲食店では喫煙できなくても当然だという考えが、お客さんにも浸透してきたんじゃないかな」

とのことだった。

第6節 感想

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	多くの人が、吉祥寺の飲食店の禁煙を希望しているだろう	肯定された
仮説 2	女性ほど、また若い人ほど、飲食店の禁煙を希望するだろう	部分的に肯定された（年齢とは無関連だった）
仮説 3	飲食店の禁煙希望者ほど、駅前広場や居酒屋の禁煙を希望するだろう	肯定された

この章では、人びとが吉祥寺駅周辺における禁煙エリアについて、どのような考えをもっているのかを検討した。考察の結果、駅前広場のような野外の区域は、タバコのポイ捨てなどが懸念されるためか禁煙を希望する人が多かった。しかし、今回の調査で印象的だったのは、飲食店の禁煙希望が駅前広場を上回っていたことだ。

飲食店では、以前は当たり前のように喫煙が可能であったが、禁煙の流れは着実に浸透しているようだ。また、店側の方針と客側の意向が一致しているということもわかった。今回のインタビューで、「現在吉祥寺ではランチの時間帯は、ほとんどの店が禁煙か分煙を実施していますよ」といわれた。

武蔵野市は全国の中でも禁煙について先進地域といえそうである。おそらくこの禁煙の流れは今後ますます進んでいくだろう。しかし、この先も喫煙者がいなくなることは現実的に考えにくい。したがって、喫煙者と非喫煙者が共生するには、すべての人びとが喫煙という問題に、柔軟に向き合う必要があるのだろう。

第7章 武蔵野市のホームページ

——市民のパソコン利用をとおして——

金澤光洋（班長）、岩佐春佳、海老原莉奈、渡辺千晶

第1節 問題関心

この章では、市民が武蔵野市のホームページをどれくらい閲覧しているのかを調べる。あわせて、人びとがインターネットに関するサービスをどのように利用しているのかも検討する。

日本でのインターネット利用者は増加しつづけて、現在は人口普及率 69%となっている（総務省「通信利用動向調査」2007 年）。その結果、多くの人びとがインターネット利用を通じてさまざまな情報を得ている。インターネットにはさまざまな利用目的がある。1 つは、情報を能動的に取得することであり、たとえばレジャー、観光、商品、娯楽などの情報を検索することである。もう 1 つは、ホームページやブログを開設して、個人間で気楽な内容の情報交換をするために利用されている（総務省『情報通信白書』）。

さて、武蔵野市のホームページは、インターネット利用者数が増加し始めた 1997 年に開設された。現在では、トップメニューに「健康・福祉」「子ども」「届出・税・保険・年金」「ごみと環境」「くらし」「市民活動」「安全なまちづくり」「行政」の 8 項目をおいている。市民が、市役所での手続きをスムーズできるよう配慮されているし、生活情報をえるための拠点にもなりつつある。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説 1：武蔵野市のホームページは、携帯電話よりパソコンで閲覧する人が多いだろう

仮説 2：若い人ほど、また市内在住が短い人ほど、市の情報を必要としているため、市のホームページを閲覧するだろう。



メンバー

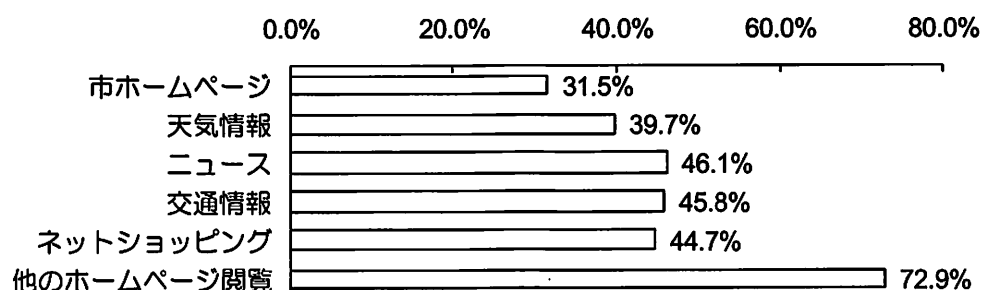
左から海老原、渡辺、金澤、岩佐



武蔵野市のホームページ

月 6 万ほどのアクセスがある

問 14 インターネットに関する以下のサービスを、携帯電話やパソコンで利用しますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (パソコン利用の割合)

仮説 3：市のホームページをパソコンで閲覧する人ほど、天気情報や交通情報もパソコンで利用するだろう。

第 2 節 集計結果

インターネットサービスの利用について問 14 で、「インターネットに関する以下のサービスを、携帯電話やパソコンで利用しますか (〇はいくつでも)」と質問した。項目は、武蔵野市のホームページ閲覧、天気情報、ニュース、交通情報・乗りかえ案内、ネットショッピング、その他のホームページ閲覧についてそれぞれ、「携帯電話で利用」「パソコンで利用」「利用しない」の 3 通りに解答してもらった。

棒グラフから、パソコンでのホームページ閲覧が多く、72.9%いた。つづいてパソコンでニュースをみる人が 46.1%いた。

市のホームページについては、パソコンで閲覧する人が 31.5%いた、市民のほぼ 1/3 が、パソコンを用いて市ホームページを利用しているようである。これはおおむね予想どおりだった。ところが、携帯電話で閲覧する人はいなかった。若い人などは携帯電話から利用するだろうと予想していたので、これは意外な結果だった。以上から、仮説 1 は肯定された。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、パソコンでのインターネット利用は、おおむね男性が女性より多かった。ただし、インターネットでのショッピングについては、女性のほうが 0.3% だけ多かった。年齢別では、おしなべて若い世代のほうが、パソコンでも携帯電話でもインターネットをよく利用していた。ただ、パソコンでの交通情報取得のみ、40 代以上が 10.2% 多かった。若い世代は携帯電話で取得することが多いためだろう。

さて、武蔵野市のホームページ閲覧については、40 代以上で 26.9%だったのにたいして、

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6
1 市ホームページ（パソコン）						
2 天気情報（パソコン）	0.37**					
3 ニュース（パソコン）	0.38**	0.64**				
4 交通情報（パソコン）	0.37**	0.62**	0.56**			
5 ネットショッピング（パソコン）	0.34**	0.32**	0.38**	0.34**		
6 他のホームページ閲覧（パソコン）	0.38**	0.43**	0.52**	0.45**	0.52**	

30 代以下では 38.7%と高くなっていた。市内在住年数別では、市内在住年数 9 年以下の人の閲覧が 38.2%で、10 年以上の人 26.4%を上回っていた。以上から、仮説 2 は肯定された。

第 4 節 関連

相関係数から、全般的にパソコンを使って天気情報収集などなにか活動をする人は、交通情報収集やショッピングなど他のパソコン活動も、活発に行っていた。ところが、携帯電話でネットショッピングを利用する人は、とくに他の利用状況と関連してはいなかった。ネットショッピングに没頭する人は、それだけに集中してしまうためかもしれない。

仮説 3 について、市のホームページをパソコンで閲覧している人は、やはり他のパソコン活動も行っていた。たとえば、66.7%の人がパソコンで天気情報も利用していたが、閲覧しない人のうちでは 27.2%であった。したがって、仮説 3 は肯定された。

第 5 節 インタビュー

武蔵野市のホームページを作っている武蔵野市役所広報課に、インタビューを実施した。広報課は、市報やコミュニティ FM、ケーブルテレビ、ホームページなどを活用して、市民に市の施策や事業、行事などの市政情報を提供している。また、報道機関にたいして市政情報の提供も行っている。

「現在、市のホームページはどれくらい利用されているのでしょうか」。

「アクセス数は、月平均でだいたい 6 万くらいです。とくに、市長選挙や市議会議員選挙があったり、職員採用の時期には、やはりアクセス数が増える傾向があるみたいです」。

「では、よく利用される項目はなにでしょうか」。

「そうですね、施設案内、ごみの分別、ムーブス、コミュニティセンター一覧などのページが、人気がありますね」。

ホームページでは、更新することができるので、紙媒体よりも頻繁に新しい情報を発信できる。また、市役所の開庁時間いがいでも市民が情報を得ることができる。市のホームページを開設したことで、市役所と市民の距離がますます短くなっているようである。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市のホームページは、携帯電話よりパソコンで閲覧する人が多いだろう	肯定された
仮説 2	若い人ほど、また市内在住が短い人ほど、市のホームページを閲覧するだろう	肯定された
仮説 3	市のホームページをパソコンで閲覧する人ほど、天気情報や交通情報もパソコンで利用するだろう	肯定された

第 6 節 感想

この章では、武蔵野市のホームページの閲覧状況について検討した。考察の結果、携帯電話よりパソコンで利用する人が多かったし、若い世代や新参者がよく利用していることがわかった。また、全体にインターネットを利用する人は、若い世代であった。

武蔵野市のホームページは、見やすく使いやすいように工夫されている。じっさい、武蔵野市民の多くが利用していることが調査でわかった。そこで、さらに利用しやすくするためには、なにが可能だろうか。

まず、井の頭公園の情報を掲載してはどうか。たしかに、井の頭公園の大部分は三鷹市にある。しかし、多くの武蔵野市民も利用しているはずである。三鷹市とも協力しながら、井の頭公園の利用案内、イベント情報、動物園の紹介などがあれば、多くの市民が活用できそうである。

また、武蔵野市のホームページをみる人は、他のホームページで天気情報も収集していることが明らかになった。そこで、市のホームページにも、武蔵野市の天気情報を掲載してはどうだろう。可能であれば、駅ごとや、コミュニティセンターを単位とした地域ごとに天気情報があれば、多くの市民にとって役立ちそうである。私たち成蹊大生のように武蔵野市に通学している人にとっても、やはり助かることだろう。

第8章 小学生時代

——うさぎ追いしかの山，小ぶな釣りしかの川——

野沢絵里子（班長），岡田郁恵，高橋沙織，和田誠

第1節 問題関心

この章では，人びとが小学生時代にどのような体験をしていたのかを，とくに屋外での遊びに着目して調べる．武蔵野市には外遊びをできる環境が多く残るので，自然とのふれあいが多かっただろうと予想できるからである．

かつての日本には「うさぎ追いしかの山，小ぶな釣りしかの川」と歌われたように，豊かな自然があり，子どもたちは自然と身近にふれあっていた．ところが近年，都心などでは緑が少なくなったためか，子どもが外で遊ぶ機会が少なくなっているという．では，武蔵野市ではどうだろうか．武蔵野市には，井の頭公園や中央公園など，身近に外遊びをできる環境が多く残っている．

成蹊大学が吉祥寺に移転してきた1924年当時は，まだ建物も少なく，「寄り道」をして遊ぶことができたようだ．ところが，近年はそうした環境が変わってきた．そのため，自然に触れるには気軽な寄り道よりも，あるていど遠出をする「お出かけ」が増えているかもしれない．じっさい，武蔵野市では子ども達の自然体験の機会を作るために，青梅市や鳥取県などへ送りだすという事業を行っている．そこで，以下の仮説を立てた．

仮説1：お出かけをして遊んだ人よりも，寄り道をして遊んだ人が多いだろう．

仮説2：年配の人ほど，寄り道をして遊んだ人が多いだろう．

仮説3：寄り道をして遊んだ人ほど，お出かけをして遊んだだろう．



メンバー

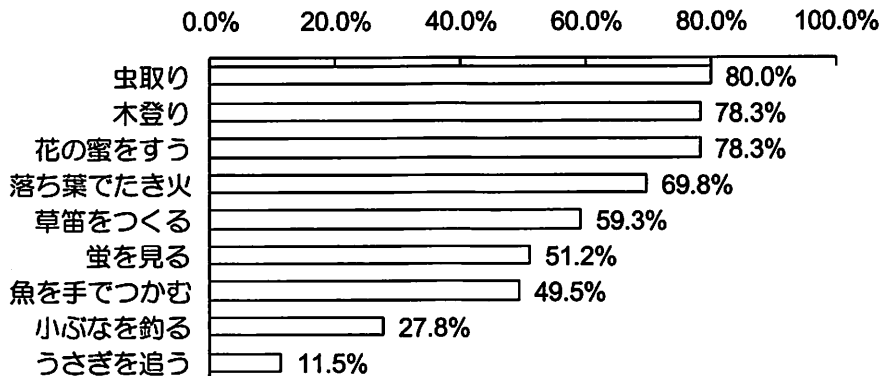
左から岡田，高橋，野沢，和田



井の頭公園の池

多様な魚や野鳥が暮らす

問 15 あなたが小学生の頃、以下のどれをしたことがありますか。（〇はいくつでも）



棒グラフ（割合）

第 2 節 集計結果

小学生時代の自然体験について問 15 で、「あなたが小学生の頃、以下のどれをしたことがありますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「木登り」「落ち葉でたき火」「草笛をつくる」「蛍を見る」「花の蜜をすう」「魚を手でつかむ」「虫取り」「ウサギを追う」「小ブナを釣る」「どれもしなかった」の 10 個であった。このうち、「木登り」「花の蜜をすう」の 2 つを寄り道、「蛍を見る」「小ブナを釣る」の 2 つをお出かけとして、グループ分けした。

棒グラフから、寄り道グループの木登りと花の蜜をすった人が、78.3%で同数いた。いっぽう、お出かけグループの蛍鑑賞をした人は 51.2%、小ぶなを釣った人は 27.8%いた。したがって、お出かけよりは寄り道をして遊んだ人のほうが多く、仮説 1 は肯定された。

なお、小学生時代の習い事について問 16 で、「あなたが小学生の頃、どのような習い事をしていましたか（〇はいくつでも）」と質問した。全体では、習字をしていた人が 46.6%でもっとも多かった。ピアノ、そろばん、学習塾は 4 割ていどの人がしていた。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、木登り、魚を手でつかむ、小ぶなを釣る、虫取りの 4 つは男性の方が女性よりも多かった。いっぽう、花の蜜をすったのは、やはり女性のほうが多く 82.1%で、男性は 72.6%だった。

年齢別では、草笛をつくったり、花の蜜をすったのは、40 代以上よりも 30 代以下で多かった。市内在住年数別にみると、在住年数が長い人は、年齢が高い人とほぼ同じ傾向だった。

仮説 2 の検証のために、寄り道グループをみると、木登りは 40 代以上で 80.6%にたいして、30 代以下では 74.8%の人が経験していた。これは予想どおりだった。ただし、花の蜜を

相関係数（*は有意確率 5%未満、**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 虫取り									
2 木登り	0.44**								
3 花の蜜をすう	0.21**	0.14*							
4 落ち葉でたき火	0.15**	0.26**	0.26**						
5 草笛をつくる	0.24**	0.18**	0.43**	0.31**					
6 蛍を見る	0.12**	0.14*	0.13*	0.29**	0.24**				
7 魚を手でつかむ	0.38**	0.27**	0.24**	0.37**	0.32**	0.32**			
8 小ぶなを釣る	0.23**	0.16**	0.03	0.19**	0.17**	0.20**	0.43**		
9 うさぎを追う	0.15**	0.06	0.11	0.14*	0.17**	0.10	0.19**	0.11	

すったのは、40 代以上 70.9%にたいして、30 代以下は 89.1%と逆転していた。したがって、仮説 2 は部分的に肯定された。

第 4 節 関連

相関係数から、寄り道グループのうち木登りの経験者は、有意にお出かけグループの蛍鑑賞と小ぶな釣りをしていた（相関係数 0.14, 0.16）。アクティブに寄り道をする子供は、お出かけもアクティブにしていたのだろう。

ところが、寄り道グループのうち花の蜜をすった人は、有意に蛍をみていたが、小ぶな釣りはしていなかった（相関係数 0.13, 0.03）。花の蜜をすうのは女性に多かったことから、小ぶな釣りという男児中心の遊びはしていなかったようである。

したがって、寄り道をした人は、例外はあったが、だいたいお出かけもしていた。そのため、仮説 3 はおおむね肯定されたといえるだろう。

第 5 節 インタビュー

成蹊小学校の先生にインタビューを実施した。先生は成蹊小学校に10数年務めている方だった。先生によれば、成蹊小学校までの通学路には、学園内にケヤキ並木やつつじがたくさんあることから、寄り道をする場所にはこと欠かないという。休日や長期休みに、家族旅行などでお出かけする児童も多いそうだ。

「成蹊小学校の子供たちは、寄り道をどんなふうに行っているのでしょうか」。

「小学校の前の木に実がなっているので、それをとるために木登りをする児童がいますね。あと、帰り道につつじの蜜を吸う児童もいます。ただ、昔と比べると、そうした遊びは少し減ったように感じます」。

「お出かけについてはどうでしょうか」。

「釣りが好きな児童も何人かいます。そうした子供たちは、休日に家族で玉川上水などに釣り

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	お出かけをして遊んだ人よりも、寄り道をして遊んだ人が多いだろう。	肯定された
仮説 2	年配の人ほど、寄り道をして遊んだ人が多いだろう	部分的に肯定された（花の蜜は逆だった）
仮説 3	寄り道をして遊んだ人ほど、お出かけをして遊んだだろう	おおむね肯定された

にいているみたいです」。

なお、休み時間に人気のある遊びは、一輪車やなわとび、サッカーだそう。プライベートでは、カードゲームやテレビゲームが流行っているということだった。

習い事に関しては、水泳やサッカーなどスポーツ系を習っている児童が多く、同じくらいの比率で学習塾へ通う児童もいる。ピアノなどの芸術系の習い事を習っている児童は、意外と少ないそう。

第 6 節 感想

この章では、小学生時代の自然体験について検討した。考察の結果、ほとんどの人が、小学生のときになにかの自然体験をしていたことがわかった。寄り道とお出かけに分けて検討したところ、寄り道して遊ぶ人が、お出かけした人よりやや多かった。お出かけした人も半分以上いて、恵まれた環境にあったといえる。

さいきんは、ゲームやインターネットに依存する子どもが増加しているという。それらから学べることも多いだろう。しかし、子どもたちが自然と触れあうことでしかえられないことも、多々あるはずである。もはや山でうさぎを追ったり、川で小ぶなを釣ることは簡単なことではなくなった。それでも、寄り道やお出かけをして自然を経験することは、これからも残ってほしいと思う。

第9章 仕事

——どれくらい満足しているのか——

前田さおり（班長）、佐々木耕平、須藤千尋、村上絵里子

第1節 問題関心

この章では、人びとが仕事にたいしてどれくらい満足しているかを調べる。仕事に満足しているかは、日々の暮らしにおおきく影響を与えるだろうからである。

日本人の勤務時間は、1975年で172.0時間であったのが、2006年には153.5時間へと減少している（厚生労働省「毎月勤労統計」、常用労働者1人あたりについて）。これは、1992年から国家公務員の完全週休2日制が実施されるなど、1980年代頃から週休2日制が広く採用されるようになったからだと考えられる。

さて、吉祥寺は繁華街であるとうじに、都心で働く人にとってはベッドタウンでもある。また、武蔵野市には学生や若い社会人など、一人暮らしの人も多く住んでいる。したがって、人びとが多様な形で仕事と関わっていると考えられる。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：武蔵野市の人びとは、都心へのアクセスがよいため、通勤時間や勤務時間に満足している人が多いだろう。

仮説2：市内在住年数が長い人ほど、武蔵野市周辺に職場がある人が多いだろうから、通勤時間や勤務時間に満足しているだろう。

仮説3：通勤時間や勤務時間に満足している人ほど、仕事内容にも満足しているだろう。

第2節 集計結果



メンバー

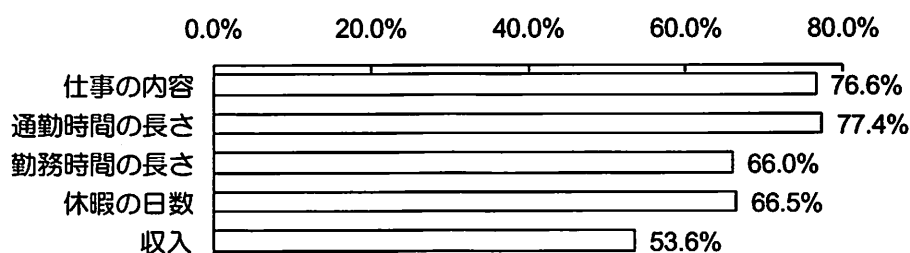
左から佐々木、須藤、前田、村上



いせや公園店（井の頭公園入口）

仕事がえりのサラリーマンに人気

問 29 あなたは、現在のお仕事について、どれくらい満足していますか。(○はそれぞれ 1 つ)



棒グラフ（満足している人の割合）

仕事についての満足度は問 29 で、「あなたは、現在のお仕事について、どれくらい満足していますか (○はそれぞれ 1 つ)」として、「仕事の内容」「通勤時間の長さ」「勤務時間の長さ」「休暇の日数」「収入」の 5 つについて質問した。選択肢は、「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」「不満」「とても不満」の 6 つと、「働いていない」を加えた 7 個であった。以下の考察では、「とても満足」から「どちらかといえば満足」までを満足、「とても不満」から「どちらかといえば不満」までを不満としてまとめた。

棒グラフから、すべての項目について、過半数の人が満足していた。とくに収入いがいの 4 項目では 65%を超えた。こうしたことから、仕事にたいして前向きな姿勢の人が多いことがわかる。

仮説 1 で私たちは、通勤時間や勤務時間に満足している人が多いと予想した。調査結果から、通勤時間については 77.4%の人が、勤務時間については 66.0%の人が満足していた。したがって、仮説 1 は肯定された。

なお、転職回数について問 28 で、「あなたは、これまでいくつの企業（または組織）に勤めたことがありますか（転勤、学生時代のアルバイトは除きます）」と質問した。選択肢は「就職したことがない」「1 社」「2 社」「3 社」「4 社」「5 社」「6 社」「7 社」「8 社以上」の 9 個であった。

勤務先が 1 社だけだった人が、38.6%でもっとも多かった。つづいて 2 社が 25.4%であった。いっぽう、就職したことがない人や 7 社、8 社以上といった人は少なく、それぞれ 1.7%、1.0%、1.7%だった。平均転職数は約 2 社だった。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、通勤時間の長さ、勤務時間の長さ、休暇の日数で、女性が男性より満足していた。仕事の内容と収入では、あまり大きな差は見られなかった。年齢別では、通勤時間の長さ、勤務時間の長さ、休暇日数で 40 代以上の人の方が 30 代以下の人より満足していた。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5
1 仕事内容に満足					
2 通勤時間の長さに満足	0.23**				
3 勤務時間の長さに満足	0.45**	0.42**			
4 休暇の日数に満足	0.33**	0.23**	0.74**		
5 収入に満足	0.49**	0.19**	0.31**	0.30**	

仮説 2 では、市内在住年数が長い人ほど、通勤時間や勤務時間に満足すると考えた。調査結果から、通勤時間は在住年数 9 年以下の人だと 69.8%が満足しているのにたいして、10 年以上は 85.3%だった。勤務時間についても、9 年以下は 59.4%の人が満足していたのにたいして、10 年以上の人は 72.8%の人が満足していた。以上から、仮説 2 は肯定された。

第 4 節 関連

相関係数から、仕事へのさまざまな満足度は、たがいに有意に関連していた。仕事に満足している人と、そうでない人で分かれているようだ。

仮説 3 で私たちは、通勤時間や勤務時間に満足している人ほど、仕事の内容に満足しているだろうと予想した。調査結果から、たしかに有意な関連があった（相関係数 0.23, 0.45）。たとえば、通勤時間に満足している人のうち 82%の人が仕事内容にも満足していたが、そうでない人のうちでは 57.4%だった。同じように、勤務時間に満足している人だと 87.7%が仕事内容にも満足だったが、そうでないと 54.9%だった。したがって、仮説 3 は肯定された。

第 5 節 インタビュー

多くのサラリーマンが集まると考えられる、吉祥寺駅近くの立ち飲み屋で、店主にインタビューを実施した。店主は三鷹市の自宅から自転車で店まで通っており、店を始めてから 5 年が経つそう。店内は立ち飲みスペースと、奥に座れる席も用意されている。焼き鳥や煮物などのおつまみが人気だという。

「どのようなお客さんが多いのでしょうか」。

「そうですね、サラリーマン、自営業者、若者、女性など幅広いと思いますよ。最近は、雑誌をみて来店する人も増えているみたいです。あと、立ち飲みなので一人客も多く、そうした人たちが会話をすることもよくあります」。

吉祥寺は、サラリーマンの多い新橋などとは違って、客層はさまざまなようだ。来店客はみな、元気であまり疲れた印象はなく、仕事には満足しているように思われるという。

第 6 節 感想

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市の人びとは、通勤時間や勤務時間に満足している人が多いだろう	肯定された
仮説 2	市内在住年数が長い人ほど、通勤時間や勤務時間に満足しているだろう	肯定された
仮説 3	通勤時間や勤務時間に満足している人ほど、仕事内容にも満足しているだろう	肯定された

この章では、仕事への満足について検討した。考察の結果、武蔵野市の人びとは、通勤時間や勤務時間を含めて、仕事にかんして全体的に満足している人が多いということがわかった。また、年配の人や、市内在住年数が長い人のほうが、通勤時間や勤務時間に満足していた。

吉祥寺は、しばしば首都圏の住んでみたい街のトップに挙げられる。じっさい、都心へのアクセスも良く、駅前には商店街が発達しているので、働きながら生活するのに適しているのだろう。武蔵野市内であれば、どこでもおおむね似た状況のようである。その結果、通勤時間や勤務時間を疎むことなく、仕事にたいしてポジティブに取りくむことができるのだろう。

第 10 章 夫婦の記念日

——バレンタインデーとホワイトデーの意味——

桑原彩（班長），加藤恵理子，水上健二郎，綿貫仁美

第 1 節 問題関心

この章では，夫婦や恋人同士がどのような記念日を 2 人で祝っているのかを，とくにバレンタインデーとホワイトデーに着目して調べる．恋人たちが交際している期間中，気持ちを盛り上げていくのに不可欠なのが，さまざまな記念日だろう．多くのカップルは，誕生日や付き合い始めた日などの記念日にお互いの気持ちを確かめあう．クリスマスやバレンタインデー，ホワイトデーなどのイベントも，恋人たちに役立っているだろう．では，これらの記念日やイベントは，結婚後も夫婦間のコミュニケーションの 1 つとして扱われ続けているのだろうか．

なお，日本ではバレンタインデーは 1958 年に，ホワイトデーは 1980 年に，いずれも日本の製菓会社の戦略として始まった．バレンタインデーは，2 月 14 日に女性がチョコレートとともに，男性に自分の気持ちを伝える日とされている．ホワイトデーとは，そのお返しに 3 月 14 日に，男性がクッキーやキャンディー，マシュマロといったお菓子とともに，女性のその気持ちにこたえる日とされている．そこで，以下の仮説を立てた．

仮説 1：ホワイトデーよりバレンタインデーを祝っている人のほうが，多いだろう．

仮説 2：女性ほど，記念日を大切にするので，バレンタインデーやホワイトデーを祝っているだろう．

仮説 3：バレンタインデーやホワイトデーを祝っている人ほど，結婚記念日も祝っているだろう．



メンバー

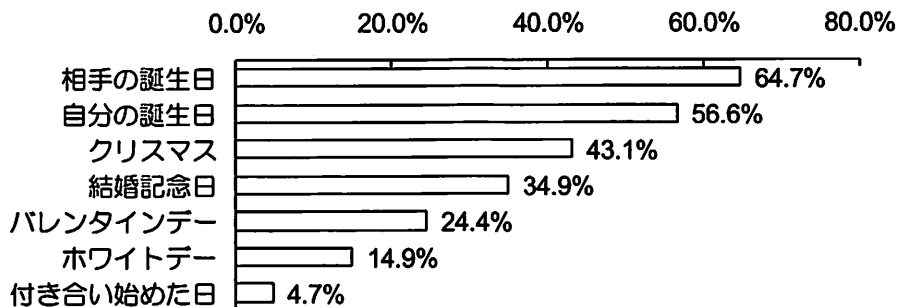
左から桑原，加藤，綿貫，水上



ゴディバのチョコレート

バレンタインデーに人気がある

問 21 あなたは現在、夫婦（未婚なら恋人同士）でなにを祝っていますか。（〇はいくつでも）



棒グラフ（割合）

第2節 集計結果

記念日について問 21 で、「あなたは現在、夫婦（未婚なら恋人同士）で、なにを祝っていますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「バレンタインデー（2月）」「ホワイトデー（3月）」「クリスマス（12月）」「相手の誕生日」「自分の誕生日」「付き合い始めた日」「結婚記念日」「その他（具体的に）」「とくに祝わない、今は相手がいない」の9個であった。

棒グラフから、相手の誕生日と答えた人がもっとも多く、64.7%いた。つづいて自分の誕生日が56.6%であった。いっぽう、付き合い始めた日を祝う人は、もっとも少なく4.7%だった。既婚者であれば、結婚記念日を祝うためかもしれない。

仮説1で、バレンタインデーを祝っている人のほうが、ホワイトデーより多いと予想した。調査結果によれば、バレンタインデーは5位で24.4%、ホワイトデーは6位で14.9%の人が祝っていた。したがって、仮説1は肯定された。

その他の自由回答には、「お互いに頑張った日」「父の日母の日」「出会った日」といった記述などがあつた。

なお、何歳で結婚したかについて問 20 で、「結婚したのは、あなたが何歳のときでしたか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は「10代」から「60代」、「結婚していない」の7つであった。複数回答としたが、それはなかった。

71.5%が既婚者、28.5%が未婚者だった。既婚者のうち、20代で結婚した人が71.1%でもっとも多かった。つぎに30代が26.1%であった。その他の年代で結婚した人はいなかった。私たちは、結婚年齢が多様化していると予想していたので、これは意外な結果だった。

第3節 比較

相関係数（*は有意確率 5%未満、**は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 相手の誕生日							
2 自分の誕生日	0.80**						
3 クリスマス	0.51**	0.46**					
4 結婚記念日	0.42**	0.37**	0.30**				
5 バレンタインデー	0.39**	0.32**	0.49**	0.30**			
6 ホワイトデー	0.29**	0.27**	0.42**	0.23**	0.74**		
7 付き合い始めた日	0.16**	0.20**	0.13*	-0.06	0.28**	0.22**	

平均の比較から、男女別だと、ホワイトデーいがいについては、大きな違いはなかった。年齢別では、バレンタインデー、クリスマス、自分の誕生日、付き合い始めた日の 4 つで、30 代以下のほうが 40 代以上より祝っていた。

私たちは仮説 2 で、女性ほどバレンタインデーやホワイトデーを祝うと考えた。調査結果によれば、バレンタインデーを祝うのは、男性 25.0%にたいして、女性 24.1%とやや男性が多かった。ホワイトデーについては、男性 19.4%にたいして、女性 11.8%と、男性のほうが多かった。以上から、仮説 2 は否定された。これは、私たちには意外な結果だった。なお、既婚者と未婚者と比較したら、バレンタインデー、ホワイトデーともに大きな違いはなかった。

第 4 節 関連

相関係数をみると、ほとんどすべての記念日やイベントの間で、有意な関連があった。つまり、1 つでも祝う人は、他のことも祝っているようである。ただし、付き合い始めた日を祝う人と結婚記念日を祝う人の間だけ、関連がなかった（相関係数 -0.06）。したがって、付き合い始めた日を祝っている人も祝っていない人も、同じくらい結婚記念日を祝っていた。どの夫婦にとっても、結婚記念日は大切な日であるためだろう。

さて、仮説 3 で私たちは、バレンタインデーやホワイトデーを祝っている人ほど結婚記念日も祝うだろうと予想した。調査結果から、そのとおりであった。バレンタインデーを祝っている人のうち、59.7%の人が結婚記念日を祝っていたが、そうでない人のうちでは 26.9%であった。ホワイトデーを祝っている人のうち、61.4 %の人が結婚記念日を祝っていたが、そうでない人のうちでは 30.3%であった。以上から、仮説 3 は肯定された。

第 5 節 インタビュー

チョコレート専門店ゴディバの店員に、インタビューを実施した。吉祥寺パルコ 1 階に店舗がある。

「どのような人たちが、お客さんの中心でしょうか」。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	ホワイトデーよりバレンタインデーを祝っている人のほうが、多いだろう	肯定された
仮説 2	女性ほど、バレンタインデーやホワイトデーを祝っているだろう	否定された（男性ほど祝っていた）
仮説 3	バレンタインデーやホワイトデーを祝っている人ほど、結婚記念日も祝っているだろう	肯定された

「ゴディバは若者をターゲットとしていますが、この吉祥寺店は他店にくらべて年配の方も多く訪れてくれます。もっとも混むのは、やはりバレンタインデーですね。つぎはホワイトデーです。その他だと、お歳暮やお年賀、クリスマス、誕生日などの贈り物として購入する人も多いですね」。

「では、バレンタインデーやホワイトデーでは、どのような人がとくに多いのでしょうか。」「いわゆる本命チョコの場合、旦那さんにあげるよりも恋人にあげることのほうが、この店では多いみたいです。バレンタインデーやホワイトデーの時期は、20代から50代といつても幅広い年齢層のお客さんが訪れてくれます。年間を通してだと、4対6くらいで女性が多いのですが、ホワイトデーの時期だけは男性客の方が多くなります。とはいえ、バレンタインデーの時期の女性客とくらべれば、半分くらいの人数ですけど」。

第6節 感想

この章では、夫婦や恋人の記念日について検討した。考察の結果、お互いの誕生日や結婚記念日といった2人の記念日と、クリスマスやバレンタインデー、ホワイトデーといった世間一般で祝われる記念日のどちらも、祝っていることがわかった。

武蔵野市では、年配の方もゴディバを利用するように、年配の方が記念日を祝うことも多いのかもしれない。また、今回の調査の結果、バレンタインデーやホワイトデーを祝っている人ほど、他の記念日を祝っていることがわかった。このように、1つ1つの記念日を大切に、毎年2人で祝うことによって、夫婦や恋人の仲はますます深まるようだ。このように、記念日は年齢に関係なく、大切な人とのコミュニケーションの一つとして役立っているのだろう。

第 11 章 家族

——電話と電子メールの役割——

桜田景子（班長），市川恵美，神戸大輔，矢吹麻衣子

第 1 節 問題関心

この章では，武蔵野市民が家族とどのように過ごしているのかを調べる．国民生活選好度調査によれば，「家族との会話が週 5 日以上ある」という人は全体の 64.2% だった．家族の団らんについて見ても，同じく「週 5 日以上」と回答した人は全体の 57.8% だった（2006 年）．残る 4 割ほどの人は，家族との会話や団らんの機会を，十分には持てずに過ごしているようだ．

そのいっぽう，同じ調査によれば「家族との時間が取れている」という人が，全体の 8 割ほどいるという．このギャップには，IT 化が少なからず関連しているかもしれない．インターネットや携帯電話を使って，気軽に通話や電子メール（以下メール）を交換できるようになったからだ（内閣府「国民生活白書：家族の暮らしと構造改革」2002 年）．そこで，以下の仮説を立てた．

仮説 1：家族と一緒に夕食を食べたり，また電話やメールをしたりする人が多いだろう．

仮説 2：家族と同居している人ほど，連絡事項が多いので，家族と電話やメールをするだろう．

仮説 3：家族と電話やメールをする人ほど，家族の仲が深まるので，家族とゆっくり話をしたり，お酒を飲んだり，家族会議をするだろう．



メンバー

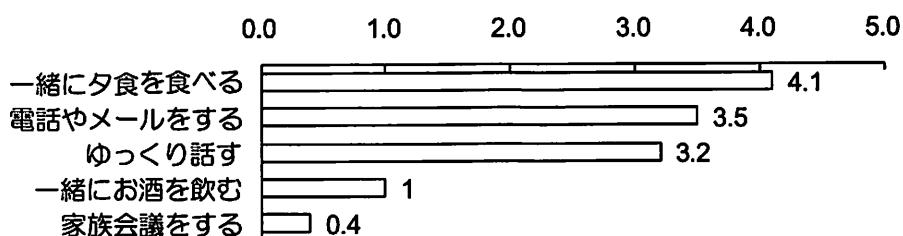
左から矢吹，桜田，市川，神戸



携帯電話

世帯普及率は 9 割をこえた

問 19 あなたは以下のことを、ご家族のどれかと 1 週間にどれくらいしますか。(〇はそれぞれひとつ)



棒グラフ (平均～日)

第 2 節 集計結果

家族との関わりについて、問 19 で「あなたは以下のことを、ご家族のどれかと 1 週間にどれくらいしますか」として、「家族と電話やメールをする」「一緒に夕食を食べる」「一緒にお酒を飲む」「家族とゆっくり話す」「家族会議をする」の 5 つについて質問した。選択肢は、「しない」「1 日」から「毎日」までの 8 個であった。

棒グラフから、一緒に夕食を食べることがもっとも多く、平均 4.1 日だった。一週間のうちに一度でも一緒に夕食を食べる人は、79.2%いた。もっとも多かったのは毎日 39.9%で、4 割ほどの人が毎日家族と食卓を囲んでいる。また、電話やメールに関しても、同じく一週間のうちに一度でもする人が 77.3%いった。こちらも、もっとも多かったのは毎日の 28.4%だった。これらのことから、仮説 1 は肯定されたといえる。

なお、同居している家族について、問 18 で「あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか(義理も含めてあてはまる方すべて)」と質問した。選択肢は「夫または妻」「子供」「父または母」「兄弟姉妹」「祖父母」「孫」「一人暮らし」「その他」の 8 個であった。

全体では、夫または妻と住んでいる人がもっとも多く 64.4%で、つづいて子供が 43.4%だった。父母だと 14.9%へ減り、祖父母あるいは孫だとそれぞれ 1.0%と 0.3%となった。このことから、武蔵野市においても核家族化が進行しているようである。また、吉祥寺が若者の街であることから、一人暮らしをしている人は 19.0%と、予想よりたくさんいた。

第 3 節 比較

私たちは仮説 2 で、家族と同居している人ほど家族と電話やメールをすることを考えた。調査結果によれば、同居している人は電話やメールを週 4.0 日しているが、そうでない人は 1.3 日と大きな差があった。家族と同居している人の方が、家族どうしの連絡事項が多いからだろう。このことから、仮説 2 は肯定された。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5
1 一緒に夕食を食べる					
2 家族と電話やメールをする	0.33**				
3 家族とゆっくり話す	0.69**	0.39**			
4 一緒にお酒を飲む	0.33**	0.13*	0.28**		
5 家族会議をする	0.22**	0.14*	0.29**	0.17**	

第4節 関連

相関係数をみると、家族とゆっくり話す人ほど家族会議をするなど、すべての活動が関連していた。このことから、家族とよくコミュニケーションをとっている人と、そうでない人に二極化しているようである。

さて、仮説 3 で私たちは、電話やメールがいわば家族の間の潤滑油となって、ゆっくり話をしたり、お酒を飲んだり、家族会議をするだろうと予想した。調査結果によれば、そのとおりであった。とくに、電話やメールをする人は、ひんぱんに家族と話しをしていた（相関係数 0.69）。これらは排他的というよりは、相互補完的なのだろう。このことから、仮説 3 は肯定された。

なお、家族と夕食を食べることも、電話やメールと似た役割をもっているようだ。一緒に夕食を食べる人は、週に 1.2 日家族とお酒を飲むが、そうでない人が 0.1 日とほとんどしなかった。一緒に夕食を食べる人が、家族会議を週 0.5 日しているが、食べない人はまったく開催していなかった。

第5節 インタビュー

吉祥寺北コミュニティセンターにて、家族と同居している武蔵野市民の方 3 人にインタビューを実施した。いずれも 60 代以上の女性で、サークル活動のあとでご協力いただいた。

「みなさん、どういうときにご家族とゆっくりお話しをするでしょうか」。

「ええと、夕食のときにお喋りをするのがいちばん多いでしょうか。話題は、孫さんの部活動や友達のこと、政治や飼い猫のこととか、いろいろ」。

「では、電話やメールはどのように利用していますか」。

「多いのは、夕食を家で食べるのかどうかなんかの、連絡のためです。メールはほとんど使わないわ」。

また、「これまでに家族会議をしたことがありますか」と質問したところ、3 人中 2 人が「ある」とのことだった。その内容を伺ったところ、家族にとって将来のことを決める大事な話から、子供や孫への説教まで、多様な内容を家族会議で扱っていたことがわかった。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	家族と一緒に夕食を食べたり，また電話やメールをしたりする人が多いだろう	肯定された
仮説 2	家族と同居している人ほど，家族と電話やメールをするだろう	肯定された
仮説 3	家族と電話やメールをする人ほど，家族とゆっくり話をしたり，お酒を飲んだり，家族会議をするだろう	肯定された

第 6 節 感想

この章では，武蔵野市民の家族生活について検討した。考察の結果，電話やメールが意外とよく利用されていて，家族の絆を深める役割を果たしているようであった。これは，現代社会で情報化が進んでいることとも一致している。そのいっぽうで，夕食の時間も大切であることがわかった。

近年，家族がそれぞればらばらに食事を取ることで，コミュニケーションの機会を失っているともいわれる。しかし，武蔵野市にかんしては，電話やメールをとおして夕食や家族会議が促進されているようである。その結果，私たちは家族がまだまだつながっていると感じた。

第12章 自己投資

——英会話教室とパソコン教室——

馬場里沙（班長）、鈴木達也、福島翔子、丸子桃子

第1節 問題関心

この章では、武蔵野市に住む人びとが、どのような自己投資を行っているのかを、とくに英会話とパソコン教室に着目して調べる。ここで自己投資とは、時間やお金を自分に投資して、能力を高めることをさす。

自己投資のうち、とくに英会話教室やパソコン教室は、ビジネス目的にも教養目的にも役立つため、人気があるようだ。英会話など外国語教室の受講者は、2000年に58万人だったが、2006年には76万人へと増加した。また、2007年に一般家庭へのパソコン普及率が7割を超えて、ビジネスでも家庭でもますますパソコンの需要は高まっている。では、武蔵野市に住む人びとには、英会話教室やパソコン教室とどのように関わっているだろうか。以下の仮説を立てた。

仮説1：武蔵野市民は、自己投資に熱心だろうから、英会話教室やパソコン教室に通っている人が多いだろう。

仮説2：女性ほど、また年配の人ほど、自己投資に熱心なので、英会話教室やパソコン教室に通っているだろう。

仮説3：英会話教室やパソコン教室に通っている人ほど、自己投資を優先させるため、ボランティアには参加しないだろう。



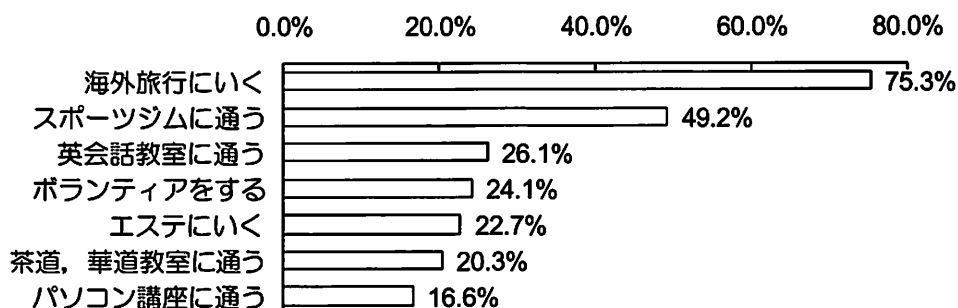
メンバー

左から鈴木、福島、馬場、丸子



武蔵境駅まへの教室案内
英会話やパソコンが人気

問 17 あなたが成人してから、以下のことをしたことがありますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ (割合)

第 2 節 集計結果

成人してからしたことのある習い事について問 17 で、「あなたが成人してから、以下のことをしたことがありますか (〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は「海外旅行に行く」「スポーツジムに通う」「ボランティアをする」「英会話教室に通う」「パソコン講座に通う」「エステに行く」「茶道、華道教室に通う」「その他の教室 (具体的に)」「どれもしたことがない」の 9 個であった。

棒グラフから、海外旅行に行くと答えた人が圧倒的に多く、75.3%いた。私たちのテーマである英会話教室に通った人は 26.1%、パソコン教室は 16.6%だった。ボランティアが 24.1%だったことと比較すると、どちらもますますいたといえるだろう。以上から、仮説 1 はおおむね肯定された。

その他の自由回答には、「テニス」「ゴルフ」「ヨガ」「ダンス」「書道」「絵画」「着付け」「ピアノ」「料理教室」といった意見があった。

なお、一週間にどれくらいの頻度で習い事に通うかについて問 10 イで、「あなたは、以下のことを 1 週間にどれくらいしますか (〇はそれぞれ 1 つ)」として、「習い事に行く」かについて質問した。選択肢は「しない」から「毎日」までの 8 つであった。しないと答えた人が 72.9%と、圧倒的に多かった。つづいて、一日と答えた人が 14.1%いた。3 日以上になるといずれも 10%を下回る結果となった。全体の平均日数は 0.5 日であった。

第 3 節 比較

平均の比較から、市内在住年数別では、英会話教室、パソコン教室ともに大きな違いはみられなかった。

仮説 2 で私たちは、英会話教室もパソコン教室も、女性や年配の人の利用が多いだろうという仮説を立てた。調査結果によれば、男女別では英会話教室は男性の 22.6%が利用したの

相関係数（*は有意確率 5%未満, **は 1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 海外旅行に行く							
2 スポーツジムに通う	0.31**						
3 英会話教室に通う	0.34**	0.34**					
4 ボランティアをする	0.01	0.10	0.15**				
5 エステに行く	0.14*	0.24**	0.18**	0.00			
6 茶道、華道教室に通う	0.06	0.01	0.08	0.21**	0.13*		
7 パソコン講座に通う	0.11	0.13*	0.25**	0.11	0.11	0.14*	

にたいして、女性 28.2%のほうが少し男性を上回った。さらに、パソコン教室については男性 11.3%を女性 20.6%が大きく上回った。

年齢別では、英会話教室については 30 代以下 23.5%にたいして、40 代以上が 27.4%とやや多かった。パソコン教室については 30 代以下 8.4%にたいし、40 代以上が 22.3%とかなり多かった。以上から、仮説 2 は肯定された。

第 4 節 関連

相関係数から、一口に自己投資といっても、人によって力をいれる分野が異なるようである。たとえば、海外旅行に行く人は、有意にスポーツジムやエステに行くが、ボランティアや茶道教室には参加しないようである（相関係数 0.31, 0.14, 0.01, 0.06）。

では、英会話教室に通う人は、どうだろうか。調査結果から、有意にパソコン教室やエステに積極的に参加するとどうじに、ボランティアにも参加していた（相関係数 0.25, 0.18, 0.15）。パソコン教室に通っている人のうち、34.7%の人がボランティアに参加していたが、通っていない人のうちでは 22.0%であった。

ただし、パソコン教室に通う人は、とくにボランティアをしているわけではなかった（相関係数 0.11）。以上から、仮説 3 は部分的に肯定された。

第 5 節 インタビュー

武蔵野市にある英会話教室と、パソコン教室にインタビューを実施した。

まず、英会話教室で協力をしてくれたのは、吉祥寺駅 5 分の大手チェーン教室の職員の方だった。

「どのような方が、利用しているのでしょうか」。

「おもに大学生や社会人で、それぞれ将来の就職やキャリアアップのために来校しているケースがほとんどです。男女比だと、4 対 6 くらいでやや女性が多いかな。あと、吉祥寺校の特徴としては、都心にある教室と比較して学習意欲が高いことが挙げられると思います。受講生は 250 人くらいで、他の都市のグループ校とくらべると集客率はよい方でしょう」。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市民は、英会話教室やパソコン教室に通っている人が多いだろう	おおむね肯定された
仮説 2	女性ほど、また年配の人ほど、英会話教室やパソコン教室に通っているだろう	肯定された
仮説 3	英会話教室やパソコン教室に通っている人ほど、ボランティアには参加しないだろう	部分的に肯定された（英会話教室では逆の関連）

つぎに、パソコン教室の校舎長の方から話を伺った。教室は吉祥寺駅前のビルにあり、経営母体である大手予備校の本社も吉祥寺にある。

「どういった方が、どのような目的で利用しているのでしょうか」。

「30 歳前後が全体の 7 割を占めます。そのうちだいたい 8 割の方が女性で、転職やキャリアアップといったビジネス目的で通っているみたいです。あとは、武蔵野市在住で子育てが落ち着いた主婦の方がたが、再就職のために通うケースが多いですね。全体的に、吉祥寺校はほかの都市と比較しても、集客率は高い方です」。

第 6 節 感想

この章では、人びと自己投資について、とくに英会話教室とパソコン教室に着目して検討した。考察の結果、全体を通して、女性のほうが男性よりも自己投資をおこなっていることがわかった。また、自己投資をしながら、ボランティア活動にも取りくむ人がいることがわかった。

今後、豊かな人生を送ろうとして意欲的に自己投資をする人が増えるならば、社会全体にも活気を与えることとなるだろう。一人一人の充実した生活が、ひいては日本社会を豊かにすることに繋がっていくかもしれないと感じた。

第13章 余暇

——趣味を楽しむ——

田川智恵（班長）、塩田賢子、立川友理、百々海仁

第1節 問題関心

この章では、武蔵野市民が余暇をどのように過ごしているのかを、とくに趣味に着目して調べる。吉祥寺には映画館、ショッピングアーケード、ホビーショップ（ユザワヤなど）が多くあり、趣味を楽しむ環境が整っていると考えたからである。

2007年の余暇市場は約75兆円であった（余暇総研「レジャー白書」2008年）。また、一人が1年間に経験する余暇活動の種目数は、97年の平均17.8種目から07年には14.5種目へと、この10年間で約20%縮小した。つまり、余暇活動の「絞り込み」傾向が見られた。この背景には、人びとが活動を取捨選択し、時間やお金を集中的に投資をするようになったとも考えられる。つまり、浅く広い活動から、深く狭い活動へとシフトチェンジしているかもしれない。

深く狭い活動の一つとして、趣味があげられる。武蔵野市には趣味を楽しめる場所が多く存在する。その中でも、ユザワヤ吉祥寺店は1階から8階までのフロアに、手芸用品、画材、模型、ビーズなど趣味に関する商品が揃っている。全国では16店舗あるという。また、ユザワヤ芸術学院という手作り専門のカルチャースクールがあり、手作り活動やホビー活動の普及に力を注いでいる。近年は、8階に手作り作品を展示・販売できるレンタルボックスも設置され、趣味作品を披露する場として人気を集めている。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説1：武蔵野市民は、気持ちに余裕があるので、余暇に趣味をする人が多いだろう。

仮説2：年配の人ほど、また市内に長く住んでいる人ほど、趣味の時間をとりやすいだろう。



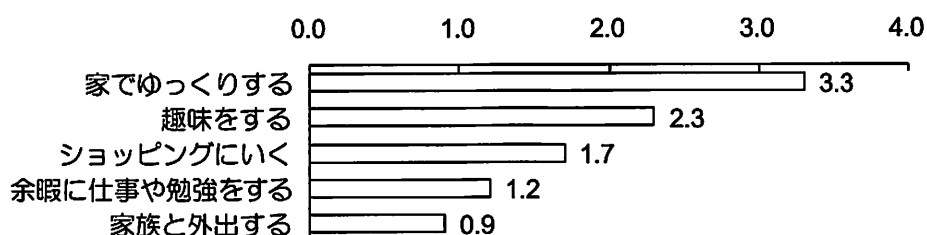
メンバー

左から塩田、田川、立川、百々海



ユザワヤ吉祥寺店入り口
ホビー用品の総合デパート

問 12 あなたは 1 週間のうち自由な時間に、以下のことをどれくらいしますか。(○はそれぞれ 1 つ)



棒グラフ (平均～日)

うから、余暇に趣味をするだろう。

仮説 3：趣味をする人ほど、家でゆっくりするが、ショッピングにはいかないだろう。

第 2 節 集計結果

余暇の過ごし方について問 12 で、「あなたは一週間のうち自由な時間に、以下のことをどれくらいしますか (○はそれぞれひとつ)」として、「家でゆっくりする」「ショッピングに行く」「家族と外出する」「余暇に仕事や勉強をする」「趣味をする」の 5 つについて質問した。選択肢は、「しない」「1 日」から「毎日」までの 8 個であった。

棒グラフから、家でゆっくりすると答えた人がもっとも多く、平均 3.3 日であった。つづいて趣味をするが 2.3 日であった。以上から、仮説 1 はおおむね肯定された。なお、家族と外出する人は、平均 0.9 日と少なかった。

第 3 節 比較

平均の比較から、男女別だと、余暇に仕事や勉強をする人は男性に多く、女性より 0.9 日多かった。年齢別では、ショッピングに 40 代以上の方がよくいくようで、30 代以下より 0.5 日多かった。ただ、市内在住年数別でみたところ、すべての選択肢において差がなかった。

趣味に着目すると、年齢別では 30 代以下で 2.0 日だったのにたいして、40 代以上では 2.6 日と高くなっていた。市内在住年数別では、10 年以上の人だと 2.5 日、9 年以下だと 2.1 日で、大きな差ではないが、長い人のほうが余暇を楽しんでいた。以上から、仮説 2 はおおむね肯定されたといえる。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5
1 家でゆっくりする					
2 趣味をする	0.31**				
3 ショッピングに行く	0.23**	0.17**			
4 余暇に仕事や勉強をする	0.09	0.14*	0.01		
5 家族と外出する	0.04	0.00	0.18**	-0.06	

第 4 節 関連

相関係数から、趣味を楽しむ人ほど、有意に家でゆっくりしていた（相関係数 0.31）。趣味をする人は平均 3.4 日家でゆっくりするが、そうでない人は 2.8 日だった。

ところが、趣味をする人ほど、有意にショッピングにもいっていた（相関係数 0.17）。意外とアクティブに活動しているようである。私たちにはもともと、趣味をする人は模型を作ったりヨガをしたりと、家の中で過ごしているイメージがあった。しかし、道具や材料を買いに出かけたり、友人といっしょに趣味を楽しむときに、ついでにショッピングに行くことがあるのかもしれない。以上から、仮説 3 は部分的に肯定された。

なお、趣味をする人は平均 0.6 日習い事にいき、そうでない人は 0.2 日であった。男女別に調べたら、女性ほどこの関連が強かった。

第 5 節 インタビュー

ユザワヤ吉祥寺店の店長に、インタビューを実施した。ユザワヤは、今年で創業 53 年だそうで、手芸用品、生地、ホビー材料の大型専門店である。趣味に関する品物の品揃えは世界最大級ともいわれる。また、手作り作品の作り方の無料講習会を店頭で実施したり、手作り専門のカルチャースクールであるユザワヤ芸術学院を開催している。

「どのような方がよく来店するのでしょうか」。

「ここ吉祥寺店に来店する客層は、女性が 7 割以上を占めていますね、とくに周辺地域在住の方がよく利用してくれているみたいです。ユザワヤ芸術学院でも、女性の方に多く利用されています。ただ、ユザワヤ創作大賞というものが 4 年に一度あり、その受賞者をみると、女性 5 割、男性 5 割と、意外にも男性が多んです」。

「それはどうしてでしょうか」。

「思うに男性は、ステンドグラスや陶芸などの材料費がかかるものでも、惜しみなく費用をかけているみたいです。この傾向は、教室だけでなく鉄道模型やガンダムなどのプラモデルといった、マニア向け商品にもみられる傾向です。いっぽう、レンタルボックスの利用者はというと、9 割以上が 30 代から 50 代の女性です。手作りの商品を見てもらいたい、という意向で出展しているようです」。

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市民は、余暇に趣味をする人が多いだろう	肯定された。
仮説 2	年配の人ほど、また市内に長く住んでいる人ほど、余暇に趣味をするだろう	おおむね肯定された
仮説 3	趣味をする人ほど、家でゆっくりするが、ショッピングにはいかないだろう	部分的に肯定された（ショッピングにもよくいった）

第 6 節 感想

この章では、人びとの余暇の過ごし方を検討した。考察の結果、家でゆっくり過ごす人が多く、ついで趣味をする人が多いことがわかった。そこで趣味活動に焦点を絞ったら、年配の人ほど趣味を楽しんでいた。また、そうした人ほど、家でのんびりするとどうじに、ショッピングにでかけるというアクティブな面ももっていた。

インタビューからは、時間に余裕のある主婦が、ユザワヤの中心的な利用者であることがわかった。ただし、男性ほどいったん趣味に凝りだすと、お金に糸目をつけないで存分に楽しむ人が多いということだった。

趣味を楽しむ人ほど、ショッピングにでかけるなどアクティブに活動しているようである。趣味をとおして、自分の世界を深めるとどうじに、友人関係も広がっているのかもしれない。

第 14 章 健康とストレス

——すこやかに生きるには——

大神文香（班長），青木めぐみ，鈴木千尋，山崎梨奈

第 1 節 問題関心

この章では、人びとの健康状態やストレスについて調べる。日本はストレス社会といわれている。じっさい、時事通信社の調査によれば、男女とも日常でストレスを感じる人が 60% 近くいたという（2007 年）。現代社会では、ストレスから逃れることは、難しいようである。では、私たちはストレスにどう向き合って、健康を維持していけばよいのだろうか。

厚生労働省の調査では、男女ともにストレスを感じたとき、相談する相手として家族と友人が圧倒的に多い（「保健福祉動向調査」2000 年）。武蔵野市は、学校施設や商店街が多く活気にあふれていて、福祉にも力を入れている。したがって、子供からお年寄りまで幅広い年代層にとって過ごしやすい街といえよう。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説 1：武蔵野市民は、生活環境に恵まれているので、健康でストレスのない人が多いだろう。

仮説 2：男性ほど、また年配の人ほど、ストレスがないだろう。

仮説 3：ストレスがある人ほど、解消させるために、運動をするだろう。

第 2 節 集計結果

食生活や体調について問 11 で、「食生活や体調について、あなたは以下のどれに当てはまりますか（○はいくつでも）」と質問した。選択肢は「朝食ではパンより、ご飯をよく食べる」



メンバー

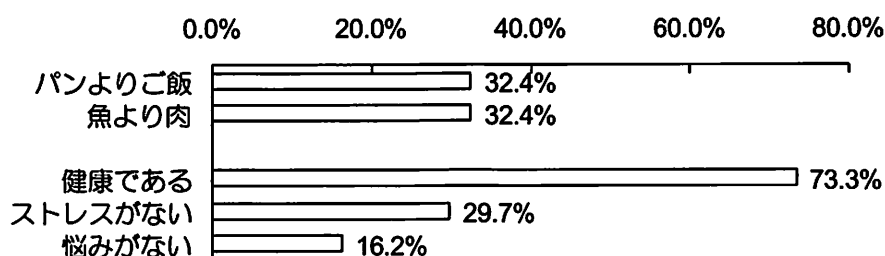
左から青木，大神，鈴木，山崎



市の武蔵野陸上競技場

サッカーやラグビーもできる

問 11 食生活や体調について、あなたには以下のどれが当てはまりますか。(〇はいくつでも)



棒グラフ（割合）

「魚より、肉をよく食べる」「どちらかといえば、健康である」「どちらかといえば、ストレスがない」「どちらかといえば、悩みがない」「どれも当てはまらない」の6個であった。

棒グラフから、食生活について「パンよりご飯を食べる」と「魚より肉を食べる」と答えた人が32.4%と、同じ割合であった。したがって、主食では米よりはパンを食べる人が多く、洋食派が多い。しかし、主菜では肉より魚が人気があり、和食派が多いようである。

いっぽう、体調については健康であると答えた人が圧倒的に多く、73.3%いた。しかし、ストレスがない人は29.7%で、7割の人がストレスを感じている。悩みがない人は16.2%だったので、多くの人が悩みをもっていた。したがって、身体面では健康でも、精神面でそうでもないという人が、多いようである。以上から、仮説1のうち、健康については肯定されたが、ストレスについては否定された。

なお、問10で、1週間に運動をどれくらいするかを質問した。選択肢は「しない」から「毎日」の8項目であった。全体では平均1.4日だったが、しないと答えた人が49.3%いた。つづいて1日が17.5%であった。2日は3位で、13.3%いた。つづいて毎日7.3%、3日6.6%であった。いっぽう、4日、5日、6日は、2%弱と少なかった。

第3節 比較

平均の比較から、男女別だと、ご飯を食べる人に女性が多かった。年齢別では、魚より肉を食べる人には40代以上が30代以下よりも20%以上上回っていた。健康な人は30代以下68.9%にたいして、40代以上76.1%と差がみられた。市内在住年数別では、大きな違いはなかった。

ストレスについては、女性よりも男性のほうがストレスがなかった。また、30代以下では22.7%がストレスフリーだったのにたいして、40代以上は34.1%とよりストレスフリーとなっていた。つまり、男性や年配の人ほどストレスが少なく、女性や若い人ほど多かった。以上から、仮説2は肯定された。

相関係数（*は有意確率 5%未満，**は 1%未満）

	1	2	3	4	5
1 朝食はパンよりご飯をよく食べる					
2 魚より肉をよく食べる	-0.13*				
3 どちらかといえば健康である	-0.04	0.03			
4 どちらかといえばストレスがない	-0.01	-0.07	0.21**		
5 どちらかといえば悩みがない	-0.03	0.07	0.20**	0.56**	

第4節 関連

相関係数から、悩みがない人ほど、有意にストレスがなかった（相関係数 0.56）。悩みを溜め込まないから、ストレスが溜まらないためだろう。また、ストレスがない人ほど、有意に運動をした（相関係数 0.13）。ストレスを運動によって発散させているためだろう。したがって、仮説 3 は肯定された。

ここで、問 19 の家族とのコミュニケーションに着目してみた。すると、家族と電話やメールをする人ほど、一緒に夕食を食べる人ほど、一緒にお酒を飲む人ほど、家族とゆっくり話す人ほど、有意にストレスが少なかった。家族とコミュニケーションをとることで、気分転換やリラックスができるので、ストレスがたまらないのだろう。

ただし、健康と運動することとは、関連していなかった。健康な人が運動することに加えて、健康でないがためにかえって運動に精をだす人もいるためだろう。

なお、ストレスがない人のうち、悩みがない人は 47.7%で、そうではない人だと 2.9%だった。また、ストレスがない人のうち、健康である人は 87.5%で、そうではない人のうちでは 67.3%だった。ストレスがない人は、平均して週 1.9 日運動し、ストレスがある人は 1.3 日とあまり差がなかった。

第5節 インタビュー

武蔵野市民の健康やストレスについて知るために、武蔵野市健康施設支援センターの健康課職員の方に、インタビューを実施した。ここではおもに高齢者の方を対象とした健康促進のプログラムを実施している。支援センターに来ている人は圧倒的に女性が多く（7～8 割）、中には夫婦で参加されている方もいるようだ。2007 年の年間利用者数は約 2300 人いて、市の施設でこれだけの人が利用していることに驚いた。

「どういう目的で利用しているのでしょうか」。

「参加者のみなさんは、早く歩きたいとか足腰を丈夫にしたいなど、しっかりとした目的をもっていますね。以前に比べて自分の健康に関心のある方が増えているみたいです。メタボリックシンドロームについてなど、マスコミで健康に関する報道が盛んに取り上げられているからかもしれません」。

また、職員の方自身の健康の秘訣について聞いてみたら、

仮説の検証結果

	仮説	検証結果
仮説 1	武蔵野市民は、健康でストレスのない人が多いだろう	部分的に肯定された（ストレスはあった）
仮説 2	男性ほど、また年配の人ほど、ストレスがないだろう	肯定された
仮説 3	ストレスがある人ほど、運動をするだろう	肯定された

「ただ運動するのではなく、しっかり目標をもって行うことがよいのだと思います」と答えていた。

もう一人、武蔵野市に 10 年住んでいる成蹊大学女子学生にインタビューをした。彼女はストレスをもっていて、週に 2 日運動することで解消しているという。また、家族と一緒に住んでいて、コミュニケーションもよくとっているそうだ。ふだんは気づきにくいだが、そのことがストレス発散に役立っていることは確かだろうとのことだった。

第 6 節 感想

この章では、武蔵野市民の健康とストレスについて検討した。考察の結果、多くの人が身体面では健康であっても、精神面で何らかのストレスを抱えているということがわかった。また、それは 20～30 代の若者、とくに女性に多いということも明らかになった。とはいえ、運動することや、家族とよくコミュニケーションをとることで、ストレスを解消している人も多かった。

最近メディアではメタボリックシンドロームなど健康を取り扱うことが多く、健康について意識する機会が増えた。現代はストレス社会といわれていて、誰もが悩みや不安などの精神的な問題を抱えて生きているだろう。しかし、家族や地域の人びとと支えあうことで、心も体も健康になり毎日を健やかに暮らせるかもしれない。

A 基礎集計表

以下に、基礎集計表を掲載する。また、本文で平均を男女別、年代別（30代以下と40代以上）、市内在住年数別（9年以下と10年以上）で比較した場合、その結果を記載した。

問1 あなたは、これまで成蹊大学に来たことがありますか。（〇は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
0 ない	140	47.3	47.5	47.5
1 ある	155	52.4	52.5	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均 (%)							
	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
成蹊大学に来たことがある	52.5	57.3	49.4	43.7	58.9	42.0	61.3

問2 成蹊大学には、どのようなイメージを持っていますか。（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 学内に緑が多い	201	67.9	68.6	
2 学習設備が整っている	59	19.9	20.1	
3 スポーツが強い	10	3.4	3.4	
4 学生のマナーがよい	9	3.0	3.1	
5 お金持ちが多い	138	46.6	47.1	
99 どれも当てはまらない	32	10.8	10.9	
有効回答計	293	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	296	100.0		

平均 (%)							
	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
1 学内に緑が多い	68.6	65.9	71.0	52.9	79.8	55.0	80.1
2 学習設備が整っている	20.1	13.8	24.9	14.3	24.3	12.2	26.7

3	スポーツが強い	3.4	1.6	4.7	3.4	3.5	3.1	3.7
4	学生のマナーがよい	3.1	4.1	2.4	0.8	4.6	1.5	4.3
5	お金持ちが多い	47.1	44.7	49.1	45.4	48.6	47.3	47.2

問3 あなたは、以下のことを1週間にどれくらいしますか。(○はそれぞれ1つ)

ア) 吉祥寺に行く

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	38	12.8	13.1	13.1
1 1日	83	28.0	28.6	41.7
2 2日	25	8.4	8.6	50.3
3 3日	28	9.5	9.7	60.0
4 4日	11	3.7	3.8	63.8
5 5日	23	7.8	7.9	71.7
6 6日	15	5.1	5.2	76.9
7 毎日	67	22.6	23.1	100.0
有効回答計	290	98.0	100.0	
999 無回答	6	2.0		
合計	296	100.0		

イ) 吉祥寺で買い物する

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	43	14.5	14.9	14.9
1 1日	95	32.1	32.9	47.8
2 2日	44	14.9	15.2	63.0
3 3日	28	9.5	9.7	72.7
4 4日	17	5.7	5.9	78.5
5 5日	20	6.8	6.9	85.5
6 6日	10	3.4	3.5	88.9
7 毎日	32	10.8	11.1	100.0
有効回答計	289	97.6	100.0	
999 無回答	7	2.4		
合計	296	100.0		

ウ) 吉祥寺の飲食店に行く

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	77	26.0	27.1	27.1
1 1日	134	45.3	47.2	74.3
2 2日	29	9.8	10.2	84.5
3 3日	19	6.4	6.7	91.2
4 4日	12	4.1	4.2	95.4
5 5日	6	2.0	2.1	97.5
6 6日	0	0.0	0.0	97.5
7 毎日	7	2.4	2.5	100.0
有効回答計	284	95.9	100.0	
999 無回答	12	4.1		
合計	296	100.0		

平均(日)

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
ア) 吉祥寺に行く	3.2	3.3	3.1	3.7	2.9	3.3	3.2
イ) 吉祥寺で買い物する	2.5	2.2	2.7	2.8	2.3	2.4	2.5
ウ) 吉祥寺の飲食店に行く	1.3	1.4	1.3	1.5	1.2	1.4	1.3

問4 あなたは、ふだん吉祥寺でなにをしますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 職場、学校がある	34	11.5	11.5	
2 電車に乗る、乗りかえる	106	35.8	35.9	
3 ショッピング	260	87.8	88.1	
4 食事	188	63.5	63.7	
5 お酒を飲む	71	24.0	24.1	
6 映画、劇、コンサート	60	20.3	20.3	
7 美容院、床屋	89	30.1	30.2	
8 その他	12	4.1	4.1	
8_1 その他(公共施設利用、趣味のため)	18	6.1	6.1	
99 吉祥寺に行かない	8	2.7	2.7	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均（％）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 職場、学校がある	11.5	12.1	11.2	15.1	9.1	11.5	11.7
2 電車に乗る、乗りかえる	35.9	33.1	38.2	41.2	32.6	40.5	32.5
3 ショッピング	88.1	83.1	91.8	87.4	88.6	88.5	87.7
4 食事	63.7	58.1	67.6	70.6	58.9	72.5	56.4
5 お酒を飲む	24.1	28.2	21.2	29.4	20.6	24.4	23.9
6 映画、劇、コンサート	20.3	17.7	22.4	15.1	24.0	21.4	19.6
7 美容院、床屋	30.2	24.2	34.7	31.1	29.7	28.2	31.9
8 その他	4.1	4.8	3.5	4.2	4.0	3.1	4.9
8_1 その他（公共施設利用、趣味）	6.1	3.2	8.2	5.0	6.9	6.1	6.1
99 吉祥寺に行かない	2.7	4.0	1.8	2.5	2.9	2.3	3.1

注意：「8_1」は集計後に新設した。

その他：「医者」「病院」「病院」「通院」「図書館」「図書館」「コミュニティセンター」「会合」「歌う会の会場がある」「子供の習い事」「習い事（子供）」「子どもの習い事」「習い事」「レッスン」「井の頭公園」「スポーツジム」「スポーツクラブ」「ジム」（以上 8_1 として集計）、「家がある」「住んでいる」「在住」「自宅がある」「住民」「生活」「住んでる」「居住している」「散歩」「ネットカフェで勉強」。

問 5 あなたはこれまで、吉祥寺で以下の店を利用したことがありますか。（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 ハモニカ横町の飲食店	150	50.7	50.7	
2 いせや（焼き鳥）	174	58.8	58.8	
3 肉のサトウ（メンチカツ）	180	60.8	60.8	
4 小ざさ（もなか）	172	58.1	58.1	
5 まめ蔵（カレー）	88	29.7	29.7	
6 くぐつ草（喫茶店）	58	19.6	19.6	
7 ブックスルーエ（本屋）	146	49.3	49.3	
8 パウスシアター（映画館）	126	42.6	42.6	
99 どれも利用したことがない	21	7.1	7.1	
有効回答計	296	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 ハモニカ横町の飲食店	50.7	54.0	48.5	59.7	44.9	53.4	48.8
2 いせや(焼き鳥)	58.8	61.3	57.3	63.0	56.3	58.0	59.8
3 肉のサトウ(メンチカツ)	60.8	51.6	67.3	65.5	57.4	59.5	61.6
4 小ざさ(もなか)	58.1	44.4	68.4	43.7	68.2	42.0	71.3
5 まめ蔵(カレー)	29.7	25.8	32.7	39.5	23.3	34.4	26.2
6 くぐつ草(喫茶店)	19.6	11.3	25.7	21.8	18.2	16.8	22.0
7 ブックスルーエ(本屋)	49.3	47.6	50.9	54.6	46.0	44.3	53.7
8 ハウスシアター(映画館)	42.6	40.3	44.4	43.7	42.0	41.2	43.9
99 どれも利用したことがない	7.1	11.3	4.1	5.0	8.5	6.1	7.9

問6 あなたは吉祥寺で、ふだん何を買いますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 服, くつ, かばん	230	77.7	77.7	
2 化粧品, 薬	194	65.5	65.5	
3 本, CD	202	68.2	68.2	
4 家電, パソコン用品	159	53.7	53.7	
5 日用品(文房具など)	170	57.4	57.4	
6 お菓子, ケーキ	199	67.2	67.2	
7 食材, 食品, お惣菜	237	80.1	80.1	
8 その他	2	0.7	0.7	
99 買い物をしてない	7	2.4	2.4	
有効回答計	296	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 服, くつ, かばん	77.7	67.7	84.8	79.8	76.1	76.3	78.7
2 化粧品, 薬	65.5	53.2	74.9	69.7	63.1	64.9	66.5
3 本, CD	68.2	68.5	68.4	71.4	66.5	68.7	68.3
4 家電, パソコン用品	53.7	56.5	52.0	45.4	59.7	47.3	59.1
5 日用品(文房具など)	57.4	46.8	65.5	65.5	52.3	58.0	57.3
6 お菓子, ケーキ	67.2	58.1	74.3	67.2	67.6	67.2	67.7
7 食材, 食品, お惣菜	80.1	75.0	83.6	73.9	84.1	75.6	83.5

8 その他	0.7	0.0	1.2	0.0	1.1	0.0	1.2
99 買い物をしない	2.4	4.0	1.2	1.7	2.8	1.5	3.0

問7 あなたは井の頭公園に、どれくらいいきますか。(〇は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
1 週に数回以上	11	3.7	3.7	3.7
2 週に1回くらい	20	6.8	6.8	10.5
3 月に1回くらい	58	19.6	19.6	30.1
4 年に数回くらい	128	43.2	43.2	73.3
5 年に1回くらい	56	18.9	18.9	92.2
99 行かない	23	7.8	7.8	100.0
有効回答計	296	100.0	100.0	
999 無回答	0	0		
合計	296	100.0		

問8 あなたはこれまで、井の頭公園でなにをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 動物園へいく	185	62.5	62.7	
2 植物園へいく	98	33.1	33.2	
3 シブリ美術館へいく	72	24.3	24.4	
4 ボートに乗る	113	38.2	38.3	
5 散歩する(ペットとも)	228	77.0	77.3	
6 子供を遊ばせる	83	28.0	28.1	
7 お花見をする	196	66.2	66.4	
8 パフォーマンスを見る	67	22.6	22.7	
9 フリーマーケットに行く	31	10.5	10.5	
10 その他	6	2.0	2.0	
99 どれも利用したことがない	11	3.7	3.7	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均(%)

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
1 動物園へいく	62.7	62.1	63.5	58.8	65.7	54.2	69.9

2	植物園へいく	33.2	38.7	29.4	21.8	41.1	19.1	44.8
3	ジブリ美術館へいく	24.4	20.2	27.6	26.9	22.9	21.4	27.0
4	ボートに乗る	38.3	40.3	37.1	34.5	41.1	29.8	45.4
5	散歩する（ペットとも）	77.3	79.8	75.3	79.8	75.4	78.6	76.1
6	子供を遊ばせる	28.1	29.0	27.6	21.8	32.6	22.1	33.1
7	お花見をする	66.4	62.1	70.0	61.3	70.3	61.1	71.2
8	パフォーマンスを見る	22.7	24.2	21.8	26.9	20.0	24.4	21.5
9	フリーマーケットに行く	10.5	9.7	11.2	11.8	9.7	13.0	8.6
10	その他	2.0	4.0	0.6	0.8	2.9	3.1	1.2
99	どれも利用したことがない	3.7	3.2	4.1	5.9	2.3	4.6	3.1

その他：「テニス」「テニス」「マラソン」「ラジオ体操」「考えごとをする時」「絵をかく」。

問 9 吉祥寺周辺で、どこを禁煙にしてほしい、または禁煙エリアを増やしてほしいですか。（〇はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 駅のホーム	109	36.8	38.1	
2 駅前広場	114	38.5	39.9	
3 飲食店	115	38.9	40.2	
4 居酒屋、バー	47	15.9	16.4	
5 パチンコ店	16	5.4	5.6	
6 その他	19	6.4	6.6	
98 現状のままでよい	88	29.7	30.8	
99 喫煙できるエリアを増やしてほしい	24	8.1	8.4	
有効回答計	286	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	296	100.0		

平均（％）							
	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 駅のホーム	38.1	35.0	40.6	36.8	39.3	41.4	35.7
2 駅前広場	39.9	38.3	41.2	40.2	39.9	44.5	36.3
3 飲食店	40.2	30.8	47.3	42.7	38.7	45.3	36.3
4 居酒屋、バー	16.4	12.5	19.4	23.1	11.9	23.4	10.8
5 パチンコ店	5.6	6.7	4.8	7.7	4.2	6.3	5.1
6 その他	6.6	6.7	6.7	6.8	6.5	6.3	7.0
98 現状のままでよい	30.8	30.0	30.9	27.4	32.7	25.8	34.4

99 喫煙エリアを増やしてほしい	8.4	15.8	3.0	8.5	8.3	8.6	8.3
------------------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----

その他：「駅の周辺、井の頭公園全体」「禁煙エリアを増やしてほしい」「禁煙にしてほしい」「子供のいるところ」「地域すべて特に道路」「歩きタバコを禁止」「飲食店全て路上全域歩きタバコ禁止」「歩行」「歩道」「路上」「路上全部」「路上は全面禁煙」「ほぼ全面禁煙にしてほしい、一部に喫煙所を設ければよい」「町全体」。

問 10 あなたは、以下のことを1週間にどれくらいしますか。（○はそれぞれ1つ）

ア) 仕事、パート、バイトに行く

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	81	27.4	27.6	27.6
1 1日	6	2.0	2.0	29.6
2 2日	4	1.4	1.4	31.0
3 3日	11	3.7	3.7	34.7
4 4日	4	1.4	1.4	36.1
5 5日	117	39.5	39.8	75.9
6 6日	46	15.5	15.6	91.5
7 毎日	25	8.4	8.5	100.0
有効回答計	294	99.3	100.0	
999 無回答	2	0.7		
合計	296	100.0		

イ) 習い事に行く

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	202	68.2	72.9	72.9
1 1日	39	13.2	14.1	87.0
2 2日	21	7.1	7.6	94.6
3 3日	6	2.0	2.2	96.8
4 4日	6	2.0	2.2	98.9
5 5日	0	0.0	0.0	98.9
6 6日	2	0.7	0.7	99.6
7 毎日	1	0.3	0.4	100.0
有効回答計	277	93.6	100.0	
999 無回答	19	6.4		
合計	296	100.0		

ウ) 運動する

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	141	47.6	49.3	49.3
1 1日	50	16.9	17.5	66.8
2 2日	38	12.8	13.3	80.1
3 3日	19	6.4	6.6	86.7
4 4日	8	2.7	2.8	89.5
5 5日	4	1.4	1.4	90.9
6 6日	5	1.7	1.7	92.7
7 毎日	21	7.1	7.3	100.0
有効回答計	286	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	296	100.0		

エ) 朝食を食べる

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	39	13.2	13.4	13.4
1 1日	0	0.0	0.0	13.4
2 2日	6	2.0	2.1	15.4
3 3日	15	5.1	5.1	20.5
4 4日	7	2.4	2.4	22.9
5 5日	18	6.1	6.2	29.1
6 6日	10	3.4	3.4	32.5
7 毎日	197	66.6	67.5	100.0
有効回答計	292	98.6	100.0	
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

オ) マンガやマンガ雑誌を読む

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	188	63.5	66.0	66.0
1 1日	35	11.8	12.3	78.2
2 2日	20	6.8	7.0	85.3
3 3日	11	3.7	3.9	89.1

4 4日	6	2.0	2.1	91.2
5 5日	5	1.7	1.8	93.0
6 6日	1	0.3	0.4	93.3
7 毎日	19	6.4	6.7	100.0
有効回答計	285	96.3	100.0	
999 無回答	11	3.7		
合計	296	100.0		

力) お酒を飲む

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	122	41.2	42.2	42.2
1 1日	42	14.2	14.5	56.7
2 2日	24	8.1	8.3	65.1
3 3日	19	6.4	6.6	71.6
4 4日	14	4.7	4.8	76.5
5 5日	12	4.1	4.2	80.6
6 6日	17	5.7	5.9	86.5
7 毎日	39	13.2	13.5	100.0
有効回答計	289	97.6	100.0	
999 無回答	7	2.4		
合計	296	100.0		

キ) タバコを吸う

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	236	79.7	82.5	82.5
1 1日	1	0.3	0.3	82.9
2 2日	2	0.7	0.7	83.6
3 3日	1	0.3	0.3	83.9
4 4日	0	0.0	0.0	83.9
5 5日	1	0.3	0.3	84.3
6 6日	1	0.3	0.3	84.6
7 毎日	44	14.9	15.4	100.0
有効回答計	286	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	296	100.0		

ク) ギャンブルをする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	262	88.5	91.6	91.6
1 1日	16	5.4	5.6	97.2
2 2日	5	1.7	1.7	99.0
3 3日	1	0.3	0.3	99.3
4 4日	0	0.0	0.0	99.7
5 5日	1	0.3	0.3	99.7
6 6日	0	0.0	0.0	99.7
7 毎日	1	0.3	0.3	100.0
有効回答計	286	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	296	100.0		

平均(日)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
ア) 仕事, パート, バイトに行く	3.7	4.8	3.0	4.3	3.3	4.3	3.3
イ) 習い事に行く	0.5	0.4	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
ウ) 運動する	1.4	1.6	1.3	1.0	1.7	1.1	1.7
エ) 朝食を食べる	5.5	5.3	5.7	5.0	5.9	5.4	5.6
オ) マンガやマンガ雑誌を読む	1.0	1.4	0.8	1.5	0.7	1.4	0.7
カ) お酒を飲む	2.2	2.9	1.7	1.8	2.5	1.9	2.5
キ) タバコを吸う	1.1	2.0	0.5	1.1	1.2	1.1	1.2
ク) ギャンブルをする	0.1	0.3	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1

問 11 食生活や体調について、あなたには以下のどれが当てはまりますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 朝食ではパンより、ご飯をよく食べる	96	32.4	32.4	
2 魚より、肉をよく食べる	96	32.4	32.4	
3 どちらかといえば、健康である	217	73.3	73.3	
4 どちらかといえば、ストレスがない	88	29.7	29.7	
5 どちらかといえば、悩みがない	48	16.2	16.2	
99 どれも当てはまらない	28	9.5	9.5	
有効回答計	296	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		

合計

296 100.0

平均(%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 パンよりご飯をよく食べる	32.4	28.2	35.7	32.8	32.4	35.9	29.9
2 魚より肉をよく食べる	32.4	32.3	32.7	47.1	22.7	43.5	23.8
3 健康である	73.3	75.8	71.3	68.9	76.1	71.0	75.0
4 ストレスがない	29.7	33.1	26.9	22.7	34.1	27.5	31.1
5 悩みがない	16.2	15.3	17.0	16.0	16.5	19.1	14.0
99 どれも当てはまらない	9.5	8.9	9.9	10.9	8.5	9.2	9.8

問 12 あなたは1週間のうち自由な時間に、以下のことをどれくらいしますか。(〇はそれぞれ1つ)

ア) 家でゆっくりする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	20	6.8	7.1	7.1
1 1日	86	29.1	30.7	37.9
2 2日	45	15.2	16.1	53.9
3 3日	20	6.8	7.1	61.1
4 4日	18	6.1	6.4	67.5
5 5日	12	4.1	4.3	71.8
6 6日	4	1.4	1.4	73.2
7 毎日	75	25.3	26.8	100.0
有効回答計	280	94.6	100.0	
999 無回答	16	5.4		
合計	296	100.0		

イ) ショッピングに行く

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	38	12.8	13.4	13.4
1 1日	131	44.3	46.3	59.7
2 2日	48	16.2	17.0	76.7
3 3日	40	13.5	14.1	90.8
4 4日	9	3.0	3.2	94.0
5 5日	5	1.7	1.8	95.8

6 6日	3	1.0	1.1	96.8
7 毎日	9	3.0	3.2	100.0
有効回答計	283	95.6	100.0	
999 無回答	13	4.4		
合計	296	100.0		

ウ) 家族と外出する

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	96	32.4	34.5	34.5
1 1日	128	43.2	46.0	80.6
2 2日	42	14.2	15.1	95.7
3 3日	8	2.7	2.9	98.6
4 4日	2	0.7	0.7	99.3
5 5日	1	0.3	0.4	99.6
6 6日	0	0.0	0.0	0.0
7 毎日	1	0.3	0.4	100.0
有効回答計	278	93.9	100.0	
999 無回答	18	6.1		
合計	296	100.0		

エ) 余暇に仕事や勉強をする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	147	49.7	53.6	53.6
1 1日	59	19.9	21.5	75.2
2 2日	25	8.4	9.1	84.3
3 3日	14	4.7	5.1	89.4
4 4日	3	1.0	1.1	90.5
5 5日	6	2.0	2.2	92.7
6 6日	3	1.0	1.1	93.8
7 毎日	17	5.7	6.2	100.0
有効回答計	274	92.6	100.0	
999 無回答	22	7.4		
合計	296	100.0		

オ) 趣味をする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	59	19.9	20.9	20.9
1 1日	71	24.0	25.2	46.1
2 2日	43	14.5	15.2	61.3
3 3日	42	14.2	14.9	76.2
4 4日	23	7.8	8.2	84.4
5 5日	10	3.4	3.5	87.9
6 6日	4	1.4	1.4	89.4
7 毎日	30	10.1	10.6	100.0
有効回答計	282	95.3	100.0	
999 無回答	14	4.7		
合計	296	100.0		

平均(日)

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
ア) 家でゆっくりする	3.3	3.0	3.5	3.3	3.2	3.5	3.1
イ) ショッピングに行く	1.7	1.4	2.0	1.4	1.9	1.5	1.9
ウ) 家族と外出する	0.9	0.9	0.9	0.8	1.0	0.9	0.9
エ) 余暇に仕事や勉強をする	1.2	1.7	0.8	1.1	1.3	1.2	1.2
オ) 趣味をする	2.3	2.4	2.3	2.0	2.6	2.1	2.5

問 13 あなたは仕事以外で、携帯電話やパソコンを、1日にどれくらい使っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

ア) 携帯電話

	人数	%	有効%	累積%
0 使わない	29	9.8	9.9	9.9
1 30分以内	196	66.2	66.7	76.5
2 1時間	46	15.5	15.6	92.2
3 1時間半	6	2.0	2.0	94.2
4 2時間	5	1.7	1.7	95.9
5 2時間半	2	0.7	0.7	96.6
6 3時間	2	0.7	0.7	97.3
7 3時間半	3	1.0	1.0	98.3
8 4時間以上	5	1.7	1.7	100.0

有効回答計	294	99.3	100.0
999 無回答	2	0.7	
合計	296	100.0	

	人数	%	有効%	累積%
0～1 30 分以下	225	76.0	76.5	76.5
2～8 1 時間以上	69	23.3	23.5	100.0
有効回答計	294	99.3	100.0	

イ) パソコン

	人数	%	有効%	累積%
0 使わない	70	23.6	24.0	24.0
1 30 分以内	83	28.0	28.4	52.4
2 1 時間	64	21.6	21.9	74.3
3 1 時間半	15	5.1	5.1	79.5
4 2 時間	31	10.5	10.6	90.1
5 2 時間半	4	1.4	1.4	91.4
6 3 時間	10	3.4	3.4	94.9
7 3 時間半	1	0.3	0.3	95.2
8 4 時間以上	14	4.7	4.8	100.0
有効回答計	292	98.6	100.0	
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
0～1 30 分以下	153	51.7	52.4	52.4
2～8 1 時間以上	139	47.0	47.6	100.0
有効回答計	292	98.6	100.0	

平均 (%)

	全体	男性	女性	30 代 以下	40 代 以上	市9年 以下	10 年 以上
ア) 携帯電話を 1 時間以上	23.5	23.4	23.7	35.3	15.5	29.0	19.1
イ) パソコンを 1 時間以上	47.6	59.7	38.9	53.8	43.6	51.1	45.0

問 14 インターネットに関する以下のサービスを、携帯電話やパソコンで利用しますか。(〇は
いくつでも)

ア) 武蔵野市のホームページ閲覧 (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	202	68.2	68.2	
1 パソコンで利用	93	31.4	31.5	
2 携帯で利用	0	0.0	0.0	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

イ) 天気情報 (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	111	37.5	37.5	
1 パソコンで利用	117	39.5	39.7	
2 携帯で利用	88	29.7	29.8	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

ウ) ニュース (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	118	39.9	39.9	
1 パソコンで利用	136	45.9	46.1	
2 携帯で利用	66	22.3	22.4	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

エ) 交通情報、乗換案内 (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	78	26.4	26.4	
1 パソコンで利用	135	45.6	45.8	
2 携帯で利用	121	40.9	41.0	

有効回答計	295	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	296	100.0	

オ) ネットショッピング (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	158	53.4	53.4	
1 パソコンで利用	132	44.6	44.7	
2 携帯で利用	9	3.0	3.1	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

カ) その他のホームページ閲覧 (〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
0 利用しない	73	24.7	24.7	
1 パソコンで利用	215	72.6	72.9	
2 携帯で利用	30	10.1	10.2	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
ア) 市ホームページ (パソコン)	31.5	32.3	31.2	38.7	26.9	38.2	26.4
ア) 市ホームページ (携帯)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ) 天気情報 (パソコン)	39.7	48.4	32.9	42.9	37.1	42.7	36.8
イ) 天気情報 (携帯)	29.8	30.6	29.4	47.9	17.7	38.2	23.3
ウ) ニュース (パソコン)	46.1	57.3	37.6	55.5	39.4	56.5	37.4
ウ) ニュース (携帯)	22.4	29.0	17.6	34.5	14.3	22.9	22.1
エ) 交通情報 (パソコン)	45.8	54.8	38.8	39.5	49.7	46.6	44.8
エ) 交通情報 (携帯)	41.0	39.5	42.4	72.3	20.0	55.7	29.4
オ) ショッピング (パソコン)	44.7	44.4	44.7	56.3	36.6	54.2	36.8
オ) ショッピング (携帯)	3.1	4.0	2.4	7.6	0.0	3.1	3.1
カ) ホームページ閲覧 (パソコン)	72.9	79.8	67.6	85.7	64.0	82.4	65.0

力) ホームページ閲覧(携帯)	10.2	14.5	7.1	21.0	2.9	14.5	6.7
-----------------	------	------	-----	------	-----	------	-----

問 15 あなたが小学生の頃、以下のどれをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 木登り	231	78.0	78.3	
2 落ち葉でたき火	206	69.6	69.8	
3 草笛をつくる	175	59.1	59.3	
4 蛍を見る	151	51.0	51.2	
5 花の蜜をすう	231	78.0	78.3	
6 魚を手でつかむ	146	49.3	49.5	
7 虫取り	236	79.7	80.0	
8 ウサギを追う	34	11.5	11.5	
9 小ブナを釣る	82	27.7	27.8	
99 どれもしなかった	4	1.4	1.4	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均(%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 木登り	78.3	87.9	71.2	74.8	80.6	73.3	82.2
2 落ち葉でたき火	69.8	75.8	65.3	65.5	72.6	66.4	72.4
3 草笛をつくる	59.3	59.7	58.8	63.9	56.0	64.9	54.6
4 蛍を見る	51.2	52.4	50.0	42.9	56.6	55.0	47.9
5 花の蜜をすう	78.3	72.6	82.4	89.1	70.9	84.7	73.0
6 魚を手でつかむ	49.5	64.5	38.2	47.1	50.9	53.4	46.0
7 虫取り	80.0	96.0	68.2	82.4	78.3	83.2	77.3
8 ウサギを追う	11.5	12.1	11.2	14.3	9.7	13.7	9.8
9 小ブナを釣る	27.8	50.0	11.2	18.5	33.7	20.6	33.1
99 どれもしなかった	1.4	0.8	1.8	1.7	1.1	2.3	0.6

問 16 あなたが小学生の頃、どのような習い事をしていましたか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 ピアノ	110	37.2	37.3	
2 絵	42	14.2	14.2	

3 野球, サッカー	50	16.9	16.9
4 水泳	86	29.1	29.2
5 習字	138	46.6	46.8
6 そろばん	107	36.1	36.3
7 その他の学習塾	113	38.2	38.3
99 どれもしなかった	39	13.2	13.2
有効回答計	295	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	296	100.0	

平均 (%)							
	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
1 ピアノ	37.3	16.1	52.9	50.4	28.6	43.5	32.5
2 絵	14.2	9.7	17.6	13.4	14.9	10.7	17.2
3 野球, サッカー	16.9	34.7	3.5	25.2	10.9	22.1	12.3
4 水泳	29.2	26.6	31.2	52.9	13.1	45.8	16.0
5 習字	46.8	33.9	56.5	45.4	48.0	51.1	43.6
6 そろばん	36.3	31.5	39.4	28.6	41.1	35.1	36.8
7 その他の学習塾	38.3	37.1	39.4	52.9	28.6	49.6	29.4
99 どれもしなかった	13.2	21.0	7.6	6.7	17.7	10.7	15.3

問 17 あなたが成人してから、以下のことをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 海外旅行に行く	222	75.0	75.3	
2 スポーツジムに通う	145	49.0	49.2	
3 ボランティアをする	71	24.0	24.1	
4 英会話教室に通う	77	26.0	26.1	
5 パソコン講座に通う	49	16.6	16.6	
6 エステに行く	67	22.6	22.7	
7 茶道, 華道教室に通う	60	20.3	20.3	
8 その他の教室	4	1.4	1.4	
8_1 その他(文化系の教室)	46	15.5	15.6	
8_2 その他(スポーツ系の教室)	23	7.8	7.8	
99 どれもしたことがない	29	9.8	9.8	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
1 海外旅行に行く	75.3	72.6	77.1	72.3	77.1	77.9	73.0
2 スポーツジムに通う	49.2	44.4	52.4	55.5	44.6	56.5	42.9
3 ボランティアをする	24.1	16.9	28.8	14.3	30.3	18.3	28.2
4 英会話教室に通う	26.1	22.6	28.2	23.5	27.4	28.2	23.9
5 パソコン講座に通う	16.6	11.3	20.6	8.4	22.3	16.8	16.6
6 エステに行く	22.7	3.2	37.1	33.6	15.4	34.4	13.5
7 茶道、華道教室に通う	20.3	1.6	34.1	7.6	29.1	15.3	24.5
8 その他の教室	1.4	0.0	2.4	0.8	1.7	1.5	1.2
8_1 その他（文化系の教室）	15.6	5.6	22.9	8.4	20.6	10.7	19.6
8_2 その他（スポーツ系の教室）	7.8	4.0	10.0	9.2	6.3	6.9	8.0
99 どれもしたことがない	9.8	17.7	4.1	12.6	8.0	10.7	9.2

注意：「8_1」と「8_2」は集計後に新設した。

その他：「キルト、トールペイント、フラワーアレンジ、クッキング」「刺しゅう教室」「洋裁」「編み物」「和裁、英文タイプ」「英文タイプ」「料理」「料理」「料理教室」「料理教室」「料理教室に通う」「パン教室」「パン」「パン作り」「うどんそば手打ち」「料理、カウンセリング、陶芸、コース、カラーコーディネーター」「カラーコーディネーター」「料理、着付け」「着物着付」「着付け教室」「着付け、スペイン語講座」「着付け」「着付け」「着付け、アートフラワー」「きつけ」「書道」「習字」「書道」「絵、書」「書道、デッサン」「絵画教室」「和紙アート」「書、音楽」「ギター」「ピアノ」「ピアノ」「ヴァイオリン」「三味線」「詩吟」「菊作り」「フラワーアレンジ」「陶芸」「インテリア」「デュパーシュ（壁飾り）」「宅建取得のために」（以上は 8_1 として集計した）、「空手」「極真空手」「剣道」「ママさんバレー」「ゴルフ」「ゴルフ」「テニススクール」「テニススクール・ゴルフスクール」「ボーリング教室」「バレエ」「バレエ、ジャズダンス、フラメンコ」「ベリーダンス」「フラダンス」「踊り」「ヨガ」「ヨガ」「ヨット」「スキューバダイビング教室」（以上は 8_2 として集計した）。

問 18 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。（義理も含めてあてはまる方すべて）

	人数	%	有効%	累積%
1 夫または妻	190	64.2	64.4	
2 子供	128	43.2	43.4	
3 父または母	44	14.9	14.9	
4 兄弟姉妹	14	4.7	4.7	
5 祖父母	3	1.0	1.0	

6 孫	1	0.3	0.3
7 一人暮らし	56	18.9	19.0
8 その他	7	2.4	2.4
8_1 その他（婚約者、同棲、恋人）	5	1.7	1.7
有効回答計	295	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	296	100.0	

平均（％）							
	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
1 夫または妻	64.4	67.7	61.8	45.4	77.1	54.2	72.4
2 子供	43.4	45.2	41.8	28.6	53.1	33.6	50.9
3 父または母	14.9	12.1	16.5	16.0	13.7	6.1	21.5
4 兄弟姉妹	4.7	1.6	6.5	9.2	1.1	4.6	4.3
5 祖父母	1.0	0.8	1.2	2.5	0.0	0.8	1.2
6 孫	0.3	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6
7 一人暮らし	19.0	25.0	14.7	31.9	10.3	29.8	10.4
8 その他	2.4	0.0	4.1	5.0	0.6	4.6	0.6
8_1 その他（婚約者、同棲、恋人）	1.7	1.6	1.8	4.2	0.0	3.8	0.0

注意：「8_1」は集計後に新設した。

その他：「恋人」「パートナー」「同棲」「同棲中」「婚約者」（以上は8_1として集計した）、「友人」「友人」「友達」「同性の友人」「おじ、おば、いとこ」。

問 19 あなたは以下のことを、ご家族のだれかと1週間にどれくらいしますか。（○はそれぞれひとつ）

ア) 家族と電話やメールをする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	66	22.3	22.7	22.7
1 1日	39	13.2	13.4	36.1
2 2日	19	6.4	6.5	42.6
3 3日	33	11.1	11.3	54.0
4 4日	16	5.4	5.5	59.5
5 5日	23	7.8	7.9	67.4
6 6日	11	3.7	3.8	71.1
7 毎日	84	28.4	28.9	100.0

有効回答計	291	98.3	100.0
999 無回答	5	1.7	
合計	296	100.0	

イ) 一緒に夕食を食べる

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	61	20.6	20.8	20.8
1 1日	20	6.8	6.8	27.6
2 2日	31	10.5	10.6	38.2
3 3日	16	5.4	5.5	43.7
4 4日	16	5.4	5.5	49.1
5 5日	14	4.7	4.8	53.9
6 6日	17	5.7	5.8	59.7
7 毎日	118	39.9	40.3	100.0
有効回答計	293	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	296	100.0		

ウ) 一緒にお酒を飲む

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	188	63.5	66.0	66.0
1 1日	35	11.8	12.3	78.2
2 2日	25	8.4	8.8	87.0
3 3日	10	3.4	3.5	90.5
4 4日	7	2.4	2.5	93.0
5 5日	4	1.4	1.4	94.4
6 6日	2	0.7	0.7	95.1
7 毎日	14	4.7	4.9	100.0
有効回答計	285	96.3	100.0	
999 無回答	11	3.7		
合計	296	100.0		

工) 家族とゆっくり話す

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	76	25.7	26.2	26.2
1 1日	34	11.5	11.7	37.9
2 2日	29	9.8	10.0	47.9
3 3日	34	11.5	11.7	59.7
4 4日	16	5.4	5.5	65.2
5 5日	11	3.7	3.8	69.0
6 6日	10	3.4	3.4	72.4
7 毎日	80	27.0	27.6	100.0
有効回答計	290	98.0	100.0	
999 無回答	6	2.0		
合計	296	100.0		

オ) 家族会議をする

	人数	%	有効%	累積%
0 しない	233	78.7	81.5	81.5
1 1日	32	10.8	11.2	92.7
2 2日	7	2.4	2.4	95.1
3 3日	7	2.4	2.4	97.6
4 4日	0	0.0	0.0	97.6
5 5日	2	0.7	0.7	98.3
6 6日	0	0.0	0.0	98.3
7 毎日	5	1.7	1.7	100.0
有効回答計	286	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	296	100.0		

平均（日）

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
ア) 家族と電話やメールをする	3.5	2.9	3.9	3.6	3.4	3.7	3.2
イ) 一緒に夕食を食べる	4.1	3.3	4.6	2.9	4.8	3.2	4.8
ウ) 一緒にお酒を飲む	1.0	0.9	1.0	0.5	1.3	0.7	1.2
エ) 家族とゆっくり話す	3.2	2.6	3.7	2.5	3.7	3.0	3.4
オ) 家族会議をする	0.4	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.4

問 20 結婚したのは、あなたが何歳の時でしたか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 10代	1	0.3	0.5	0.5
2 20代	150	50.7	71.1	71.6
3 30代	55	18.6	26.1	97.6
4 40代	4	1.4	1.9	99.5
5 50代	1	0.3	0.5	100.0
6 60代	0	0.0	0.0	100.0
有効回答計	211	71.3	100.0	
99 結婚していない	84	28.4		
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
1～6 結婚している	211	71.3	71.5	71.5
99 結婚していない	84	28.4	28.5	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	

注意： 1～6 を複数選択した場合は、若いほうを回答として、単数回答として集計した。

問 21 あなたは現在、夫婦（未婚なら恋人同士）でなにを祝っていますか。(〇はいくつでも)

	人数	%	有効%	累積%
1 バレンタインデー（2月）	72	24.3	24.4	
2 ホワイトデー（3月）	44	14.9	14.9	
3 クリスマス（12月）	127	42.9	43.1	
4 相手の誕生日	191	64.5	64.7	
5 自分の誕生日	167	56.4	56.6	
6 付き合い始めた日	14	4.7	4.7	
7 結婚記念日	103	34.8	34.9	
8 その他	15	5.1	5.1	
99 特に祝わない、今は相手がいない	87	29.4	29.5	
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 バレンタインデー (2月)	24.4	25.0	24.1	30.3	20.6	33.6	17.2
2 ホワイトデー (3月)	14.9	19.4	11.8	17.6	13.1	20.6	10.4
3 クリスマス (12月)	43.1	45.2	41.2	49.6	38.3	55.7	32.5
4 相手の誕生日	64.7	65.3	64.1	65.5	64.0	72.5	58.3
5 自分の誕生日	56.6	56.5	56.5	63.0	52.0	66.4	48.5
6 付き合い始めた日	4.7	3.2	5.9	8.4	2.3	7.6	2.5
7 結婚記念日	34.9	36.3	34.1	34.5	35.4	38.2	32.5
8 その他	5.1	2.4	7.1	6.7	4.0	4.6	5.5
99 特に祝わない、相手がいない	29.5	28.2	30.6	31.1	28.6	25.2	33.1

その他：「子供の祝い事」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日」「子供の誕生日など、正月」「お正月」「お互いに頑張った日」「父の日母の日」「出会った日」「孫四人・嫁の誕生日」。

問 22 中央線の中で、あなたの最寄り駅はどちらですか。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
1 西荻窪駅	22	7.4	7.5	7.5
2 吉祥寺駅	126	42.6	42.7	50.2
3 三鷹駅	75	25.3	25.4	75.6
4 武蔵境駅	72	24.3	24.4	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

平均 (%)

	全体	男性	女性	30代 以下	40代 以上	市9年 以下	10年 以上
1 西荻窪駅	7.5	11.3	4.7	5.9	8.6	5.3	9.2
2 吉祥寺駅	42.7	42.7	42.9	50.4	37.7	44.3	41.7
3 三鷹駅	25.4	18.5	30.6	21.8	28.0	21.4	28.8
4 武蔵境駅	24.4	27.4	21.8	21.8	25.7	29.0	20.2

問 23 あなたの性別を、お聞かせください。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
0 女	171	57.8	58.0	58.0
1 男	124	41.9	42.0	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

問 24 あなたの年齢を、お聞かせください。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
2 20代	35	11.8	11.9	11.9
3 30代	84	28.4	28.5	40.3
4 40代	56	18.9	19.0	59.3
5 50代	54	18.2	18.3	77.6
6 60代	66	22.3	22.4	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
2~3 30代以下	119	40.2	40.3	40.3
4~6 40代以上	176	59.5	59.7	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	

問 25 あなたは、武蔵野市に通算してどれくらい住んでいますか。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
0 9年以下	131	44.3	44.4	44.4
1 10年以上	45	15.2	15.3	59.7
2 20年以上	35	11.8	11.9	71.5
3 30年以上	45	15.2	15.3	86.8
4 40年以上	39	13.2	13.2	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
0 9年以下	131	44.3	44.4	44.4
1～4 10年以上	164	55.4	55.6	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	

問 26 あなたの現在の主なお仕事は、どれにあたりますか。（〇は 1 つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 自営業、自由業者、家族従業員	47	15.9	15.9	15.9
2 正社員、公務員	97	32.8	32.9	48.8
3 派遣社員、契約社員、嘱託社員	27	9.1	9.2	58.0
4 パート、アルバイト、内職、臨時雇用	41	13.9	13.9	71.9
5 専業主婦	58	19.6	19.7	91.5
6 学生	5	1.7	1.7	93.2
7 無職	19	6.4	6.4	99.7
8 その他	1	0.3	0.3	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

その他：記述なし。

問 27 現在仕事をしている方は、どのような仕事をしていますか。どこに分類できるか分からない場合は、8 に〇をつけて、具体的な仕事内容を書いてください。（〇は 1 つ）

	人数	%	有効%	累積%
1 農林水産業	1	0.3	0.5	0.5
2 現場職	13	4.4	6.3	6.7
3 サービス職	33	11.1	15.9	22.6
4 販売職	31	10.5	14.9	37.5
5 事務職	53	17.9	25.5	63.0
6 専門職	54	18.2	26.0	88.9
7 管理職	22	7.4	10.6	99.5
8 その他	1	0.3	0.5	100.0
有効回答計	208	70.3	100.0	
99 現在仕事をしていない	82	27.7		
999 無回答	6	2.0		
合計	296	100.0		

その他：記述なし。

問 28 あなたは、これまでいくつの企業（または組織）に勤めたことがありますか（転勤、学生時代のアルバイトは除きます）。（○は1つ）

	人数	%	有効%	累積%
0 就職したことがない	5	1.7	1.7	1.7
1 1社	114	38.5	38.6	40.3
2 2社	75	25.3	25.4	65.8
3 3社	51	17.2	17.3	83.1
4 4社	24	8.1	8.1	91.2
5 5社	13	4.4	4.4	95.6
6 6社	5	1.7	1.7	97.3
7 7社	3	1.0	1.0	98.3
8 8社以上	5	1.7	1.7	100.0
有効回答計	295	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	296	100.0		

問 29 あなたは、現在のお仕事について、どれくらい満足していますか。（○はそれぞれ1つ）
ア) 仕事の内容

	人数	%	有効%	累積%
1 とても不満	6	2.0	2.9	2.9
2 不満	10	3.4	4.8	7.7
3 どちらかといえば不満	33	11.1	15.8	23.4
4 どちらかといえば満足	75	25.3	35.9	59.3
5 満足	58	19.6	27.8	87.1
6 とても満足	27	9.1	12.9	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	
99 働いていない	83	28.0		
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
1～3 不満	49	16.6	23.4	23.4
4～6 満足	160	54.1	76.6	100.0

有効回答計	209	70.6	100.0
-------	-----	------	-------

イ) 通勤時間の長さ

	人数	%	有効%	累積%
1 とても不満	6	2.0	2.9	2.9
2 不満	16	5.4	7.7	10.6
3 どちらかといえば不満	25	8.4	12.0	22.6
4 どちらかといえば満足	49	16.6	23.6	46.2
5 満足	60	20.3	28.8	75.0
6 とても満足	52	17.6	25.0	100.0
有効回答計	208	70.3	100.0	
99 働いていない	83	28.0		
999 無回答	5	1.7		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
1～3 不満	47	15.9	22.6	22.6
4～6 満足	161	54.4	77.4	100.0
有効回答計	208	70.3	100.0	

ウ) 勤務時間の長さ

	人数	%	有効%	累積%
1 とても不満	8	2.7	3.8	3.8
2 不満	19	6.4	9.1	12.9
3 どちらかといえば不満	44	14.9	21.1	34.0
4 どちらかといえば満足	72	24.3	34.4	68.4
5 満足	40	13.5	19.1	87.6
6 とても満足	26	8.8	12.4	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	
99 働いていない	83	28.0		
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
1～3 不満	71	24.0	34.0	34.0
4～6 満足	138	46.6	66.0	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	

工) 休暇の日数

	人数	%	有効%	累積%
1 とても不満	11	3.7	5.3	5.3
2 不満	26	8.8	12.4	17.7
3 どちらかといえば不満	33	11.1	15.8	33.5
4 どちらかといえば満足	56	18.9	26.8	60.3
5 満足	59	19.9	28.2	88.5
6 とても満足	24	8.1	11.5	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	
99 働いていない	83	28.0		
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

	人数	%	有効%	累積%
1～3 不満	70	23.6	33.5	33.5
4～6 満足	139	47.0	66.5	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	

オ) 収入

	人数	%	有効%	累積%
1 とても不満	15	5.1	7.2	7.2
2 不満	21	7.1	10.0	17.2
3 どちらかといえば不満	61	20.6	29.2	46.4
4 どちらかといえば満足	66	22.3	31.6	78.0
5 満足	38	12.8	18.2	96.2
6 とても満足	8	2.7	3.8	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	
99 働いていない	83	28.0		
999 無回答	4	1.4		

合計	296	100.0		
	人数	%	有効%	累積%
1～3 不満	97	32.8	46.4	46.4
4～6 満足	112	37.8	53.6	100.0
有効回答計	209	70.6	100.0	

平均 (%)							
	全体	男性	女性	30代以下	40代以上	市9年以下	10年以上
ア) 仕事の内容に満足	76.6	75.2	78.0	74.2	78.6	74.5	78.6
イ) 通勤時間の長さに満足	77.4	73.1	82.0	72.2	82.0	69.8	85.3
ウ) 勤務時間の長さに満足	66.0	59.6	73.0	61.9	69.6	59.4	72.8
エ) 休暇の日数に満足	66.5	61.5	72.0	61.9	70.5	62.3	70.9
オ) 収入に満足	53.6	55.0	52.0	56.7	50.9	59.4	47.6

問 30 かりに現在の日本社会を5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入りますか。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
1 下	23	7.8	7.9	7.9
2 中の下	79	26.7	27.1	34.9
3 中の中	123	41.6	42.1	77.1
4 中の上	60	20.3	20.5	97.6
5 上	7	2.4	2.4	100.0
有効回答計	292	98.6	100.0	
999 無回答	4	1.4		
合計	296	100.0		

問 31 最後に通った学校は、以下のどれにあたりますか(中退・通学中含む)。(○は1つ)

	人数	%	有効%	累積%
1 中学校	7	2.4	2.4	2.4
2 高校	49	16.6	16.6	19.0
3 短大・高専	34	11.5	11.5	30.5
4 専門学校	46	15.5	15.6	46.1
5 大学・大学院	159	53.7	53.9	100.0
6 その他	0	0.0	0.0	100.0

有効回答計	295	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	296	100.0	

自由回答

	人数	%	有効%	累積%
記述なし	234	79.1	79.1	79.1
記述あり	62	20.9	20.9	100.0
有効回答計	296	100.0	100.0	
合計	296	100.0		

B 自由回答

自由回答の内容を、以下に掲載します。明らかな誤字以外は、原文のままとなっています。ただし、プライバシーに関わる部分は除いてあります。

1 武蔵野市について

- ・学生も子供も大人も活気あるよい環境なので、吉祥寺が誰からも愛されるよりよい町になるともっとうれしいです。(30代女性)
- ・まだ武蔵野市には緑が多いので、住みやすい環境です。現状維持を願いたいものです。(40代女性)
- ・突然の依頼に少し驚きましたが、成蹊には友達も通っていたし、妙な親近感がわいて(笑)、解答してみました。自分は、この吉祥寺という街が大好きです。ほかのどこにもない独特な良さがあると思います。それが何かははっきり判りませんが、この調査を実施されているみなさんが、その良さをより強く感じられる武蔵野市づくりに少しでも役立ててくれたら嬉しいです。図書カードありがたく使わせて頂きます。ありがとうございました。(20代男性)
- ・せっかくの調査をお送り頂きましたが一番お役に立てない人だったようでごめんなさい。武蔵境には26年お世話になっておりますが朝目覚める時には小鳥がさえずり夜は静かで何か勉強したい時は交通の便も良くその環境の中で地域の人達に応援して頂ける事に感謝して毎日を今日出来ることを厳しい時代ですが毎日を大切に継続できるよう頑張りたいと思います。今からの皆さんが自分を大切に自分らしい目的を持って頑張ってほしいと思います。(60代女性)
- ・大変興味深い調査をなさっていることを今回初めて知りました。吉祥寺に40数年住んでおりますが、ここ数年、新しい家が次々に建ち、見慣れた表札のお名前が変わっていることが多い様に感じます。どんな集計結果となるのか楽しみにしております。(40代女性)
- ・私の両親も武蔵野市に在住しております。二人とも75才と高齢です。貴校のこの調査目的とは少しちがうことなのですが、年を重ねた老人にとっても優しい町であってほしいと切に思う日々です。(例えば、交通機関や道の舗装の整備、治安など)どうか権威、発言力のある貴校からも、その点の発信を社会へして頂きたく願っております。(40代男性)
- ・少し遅くなりました。外国暮らしが長くその後吉祥寺に住むことになりました。だんだんと人のマナーが悪くなっているような気がします。(60代女性)

2 成蹊大学について

- ・長い間成蹊大学の近辺に住んでいるので、校内を訪れる事も多く、とても好い印象を持っています。(60代女性)
- ・上品な大学で庭が広いと聞いたので、セミナーとかあれば興味のあるものは行ってみたいです。(30代女性)

・私は吉祥寺で生まれ育ちました。成蹊大学は私の家の通学路でした昭和 32, 33 年の成蹊大学生は気品ある学生が 80%以上に見受けられました。けやき並木がとてもきれいでした。(60 代女性)

・一般の人が入ることができるバザーなどがありますか？(30 代女性)

・近隣に対する配慮が良くなされていると思います。春の桜祭り、秋の大学祭を毎年楽しませて頂いております。(50 代男性)

・成蹊大学の校舎一部きれいになりましたか。見学に行きたいです。一般開放を希望。(40 代女性)

・成蹊大学は地元ではよく知られているが、東京を離れるとほとんど知られていない。これからもっと全国的に知られる大学になってほしい。なにか特色（小では国際学級があるが、せっかく国際学級があるのにそれをそのあと生かしきれてないと思う。）を打ち出したほうが良いと思う。(60 代女性)

・成蹊大学さんは武蔵野市にあったんですね。名前は聞いたことがある？くらいの認識しかなかったの、HP で見てみますね。(20 代女性)

・公開図書館にして欲しいと思います。とにかく緑が素晴らしい。(40 代女性)

・社会人向けの教養講座を充実させてほしいです。(40 代男性)

・大学がもっと地域に開かれたものになって欲しい。(30 代女性)

・市民の為になる、幅広い講座を続けてほしい。特に近代史、戦後史等。(60 代男性)

・貴学においては、各種の講座を開設しているが、今後は資格等を取得できる実用重視の市民講座の開設を希望致します。(40 代女性)

・貴大学の近くに 30 年近く住んでいるが、私の感じでは、単にこの地に貴大学があるというだけ。もっと地域との交流、学生によるボランティア等を含め、その存在感を毎日の生活で感じる様な大学のあり方を追及出来ないものかと、時々思う事あり。(60 代男性)

・公開講座などやっていたら参加したいのですが、情報があまりないように思います。(30 代女性)

・バスの並び方が悪いです。(通学以外で行事等に参加した方々。)(30 代男性)

3 成蹊大学の学生について

・学生のマナーがよい。(60 代男性)

・成蹊の卒業生です。問 2 の学生のマナーの件ですが、今ではなく自分が在学していた頃は良かったと思うので 4 に○をつけました。(50 代女性)

・道路いっぱい広がって歩かないでほしい。子どもを連れた母親が大学生をかわして歩いているのをよく見かけます。あとは、まあ、礼儀正しいと思います。奇抜な子も居ないし、安心できます。大学の学食って、一般人も入って良いのでしょうか？(30 代女性)

・学生のマナー（特に通学）の向上を徹底させてほしいです。(30 代女性)

・朝・昼・夕と学生達の登下校時、正門から一番近くの信号付近がとても混み合い危険です。バス停、コンビニなどがありますので、混み合いすぎると、子供や老人にとって本当にあぶないです。横一列になったり音楽を聞きながらの学生さんも少なくない様なので、安全面の配慮を願

いします。(30代女性)

- ・成蹊大学の学生が吉祥寺駅に向かう時グループで帰路につく場合が多いせいか、ムーバスへの配慮、その他、自転車、車への気配りがなく迷惑したことがたびたびあります。入学式のときにも何かの形で伝えていただければ良いのですが。(50代女性)

- ・通学中の学生(小中高大)は、バスの中や道路での他の人に対する思いやりやマナーに欠ける気が致します。(60代女性)

- ・駅まで歩いて帰る学生さんが道いっぱいに広がっている。(30代男性)

- ・学生の交通マナーが悪すぎます。しっかり指導してください!!特に広がって歩きすぎです。(30代女性)

- ・近所に住んでいて、バス停でのマナーの悪さ、けやき並木の歩き方におどろいています。老人の方がいても自由で気づかひが見られない。でもこんなものなのかもしれませんね。親切な大学生をみかけるとホッとします。(50代女性)

- ・登下校の際、学生の方が道いっぱいに広がって歩かれ、通るときになかなか道をあけてくれない。(20代女性)

- ・学生の通学時のマナーがよろしくないです。横一列で道を歩くのはよろしくないです。(20代男性)

- ・成蹊大学は、主人の兄弟全員卒業しています。又私の実の妹も卒業して学校のことはよく理解していますが、子供達はもっと礼儀正しい子どもが多かったようですが、現在見ていると、だいぶ変化して、男女の間の話を聞いているとはずかしいです。(60代女性)

- ・あまり広くない道を横めいっばいに歩かないで欲しい。特に大正通り・五日市街道など。うしろがつまっている事に気付いても道をあけるまでにとても時間がかかるので急いでいる時はイライラします。(20代女性)

- ・人の家のゴミ箱にゴミを捨てていく学生がいる。(30代男性)

- ・道路を歩いている学生のマナーがすごく悪いです。食べ歩きゴミを平気で捨てたり、民家の塀に放置。自転車もスピードを出しすぎで、小さい子供を連れている親としては、危険に思う事があります。(40代女性)

- ・図書カード有難く頂きます。通学中の交通ルール遵守が全くされていない。一列横隊、左側通行等、目に余ります。飲料水等の缶、ビン、軽食の容器等、垣根や庭内に投げ込む、酷いときは火のついたタバコを投げ込まれたこともあります。貴大学の学生さんだけではないと思いますが、モラルの低下が大学の品位を大きく下げています。(60代男性)

- ・不愉快といえば貴大学→小学校まで学生達のマナーの悪さ。特に高、大学生の道路での横に広がり、平気で自転車の二人乗り、道いっぱいを大声で話している様子が周囲でもよく話題になります。吉祥寺の街の人々の印象は決して良くないこと、ご存じですか?地域と生活についてよく知りたいと思っていらっしゃるなら、こっそり自校の学生達の登下校の様子を見ることから始めるのが大切ではありませんか?(50代男性)

4 成蹊高校・中学校・小学校について

- ・小学生の行動に関しては、素晴らしく、指導が行き届いてる感じがします。(30代男性)

- ・中学の時三鷹市にいましたが、成蹊のバス部の方とよく試合しました。みなさんが優しくて素敵な生徒さんだったことを思い出しました[ニコちゃんマーク]。(30代女性)
- ・成蹊の学生（特に小学生）のバス利用時のマナーを向上させて欲しい。(30代女性)
- ・小学生がバスにのり立っているのが目立つ。(60代男性)
- ・中高生の飲食後のポイ捨てをやめてほしい。(60代女性)
- ・小学生のマナーがとても悪い、バス停に父母が立っているが、自分たちだけで話をしているが何も注意しない。(30代男性)

5 この調査について

- ・図書カード有意義につかいます！ホームページ等だけでなく回答者には、個別に郵送で報告書を送ってくれると良いかも。むしろ図書カードなしで報告書がほしい！(30代男性)
- ・質問がわかりやすかったので、スイスイ答えられました。(50代女性)
- ・図書カードありがとうございました。集計結果、楽しみにしています。毎日暑いですが頑張ってください！！(20代女性)
- ・図書カードありがとうございます。(20代女性)
- ・図書カードありがとうございました。(60代女性)
- ・図書カードありがとうございます。楽しんで回答させていただきました。(30代女性)
- ・とても丁寧な調査依頼ですね。図書カードはありがたく使わせていただきます。こういったアンケートが街の活せいかにつながるのでしょうか？結果をみるのを楽しみにしています。(40代女性)
- ・日本の現在の状況や、自分達の生活や暮らしについて考える事はとても良い事だと思います。せっかくこの日本という国に生まれて、現代を生きているので今よりもっと良く、よりすばらしい毎日がみんな送れば良いと思います。調査から+になる発見や多くの改善点が見つかる、私自身も嬉しいです。有難うございました！！考える一つの機会になったので私にとっても、とても良かったです。この調査、頑張ってください！！(20代女性)
- ・えー何で私が？10年前大学食堂で働いていたので学生さん調査に協力できてうれしく思います。(60代女性)
- ・おそくなりましたが、おハガキ頂いたのでお送りします。図書カード頂だいいたしました。ありがとうございます。(50代男性)
- ・とても興味のある質問内容で楽しくお答えさせて頂きました。特に、問15は、懐かしさを感じ、身近にその様な環境があり良い時代であった様に思います。(40代女性)
- ・この調査がどういうものに使われているか知りたいです。また何かあればできる範囲なら協力します。来年の夏たのしみにしています。図書カード同封はうれしかったです。(20代女性)
- ・より一層このような調査を深掘りする場合はより前面に成蹊大学の専門性を出して積極的な調査・分析提言～実施を行って欲しい。(50代男性)
- ・調査依頼が縁で、とても近くなので、イベントがあった時は足を運びたいと思いました。(50代男性)
- ・思ったより長かった～。(40代女性)

- ・家を留守にしていたため返信が遅れました。まだ役に立つといいのですが… (30 代女性)
- ・問 15 の選択肢 8, 9 はダミー変数みたいなものですか？がんばって下さい。 (30 代男性)
- ・改めて仕事について考えさせられました。 (20 代女性)
- ・図書カードが同封されているのはお金持ちの学校だと思いました。逆に図書カードが入っていたのでアンケートに答えました。 (40 代女性)
- ・何故、私のところに調査依頼が来たのか、住所と名前をどこで入手したのか、説明が欲しかった。 (20 代女性)
- ・調査目的は理解できるが、誓約書を提出すれば住民基本台帳が閲覧できることに驚いた。素人ではわからないがこの質問で武蔵野市の未来を考えられるのか不明。コストをかけるのであれば具体的に質問してもよいと思った (武蔵野市が将来どうなってほしいか、現状とのギャップとかなど)。 (40 代男性)
- ・この調査で何がわかるかよくつかめません。もっと「こういうことが調べたい」ということを説明した上であればもっともっと協力できたと思います。 (40 代女性)
- ・本調査の目的について具体的に明示して欲しい。 (40 代女性)
- ・単純に区分けした回答スタイルになっているため、かえって回答が難しく感じました。 (60 代男性)
- ・アンケートを出すのが面倒な人にとって図書カードを同封して送ってくることは負担です。 (30 代男性)

C 調査票と督促状

注意：実査では調査票は A4 判であった。

調査実施・お問い合わせ先：成蹊大学 社会調査士課程室
 担当：文学部専任講師 こばやし じゅん 小林 盾、文学部助手 あいざわ しんいち 相澤 真一

0422-37-3972 月曜、木曜10～17時

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

図書カードが同封されています

◆この調査について

- ・この調査は、武蔵野市民のみなさんが、地域や生活についてどのようにお考えかを調べています。みなさんからの回答を集計することで、武蔵野市のよりよい未来を考えます。
- ・2006年度に始まり、今回で3回目になります。
- ・武蔵野市役所の許可を得て、成蹊大学文学部で「社会調査実習」という授業の一環として行っています。強制ではありませんが、どうかご理解のうえご協力をお願い申し上げます。
- ・お礼として図書カードを同封しました。ご利用ください。

◆調査対象者の選び方について

- ・調査対象者のみなさんは、22歳から69歳までの武蔵野市民のうち400人となっています。
- ・まず市役所で調査目的の審査を受けて、「プライバシーに関わる個人情報は決して漏らさない」という誓約書を提出した上で、住民基本台帳の閲覧が許可されました。そのうえで、「何人おき」という形で抽出しました。

◆回答について

- ・回答は10分ほどで終わります。無記名（匿名）でお答えください。
- ・ほとんどの場合、あなたのお考えにもっとも近いものを選んで、「○」をつけていただきます。

例

①	ある
2	ない

ある	ない
1	②

◆返送について

- ・返信用封筒に入れてご投函ください。差出人住所・氏名は記入しないでください。
- ・調査票は、個人情報保護法にしたがって厳重に管理します。数字をパソコンに入力したら、シュレッダーで廃棄します。

恐れいりますが、8月4日（月）までにご返送ください

◆調査結果の公開について

- ・無記名でお答えいただきますので、「どなたが回答したのか」は一切わかりません。
- ・集計結果は、2009年夏ごろ報告書として公開します。市役所、市内図書館にも提出します。
- ・2006年度の第1回調査の報告書は、市役所、市内図書館、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページなどでご覧いただけます。

まず、成蹊大学についておたずねします。

問1 あなたは、これまで成蹊大学に来たことがありますか。(○は1つ)

1 ある 0 ない

問2 成蹊大学には、どのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

- 1 学内に緑が多い 3 スポーツが強い 5 お金持ちが多い
2 学習設備が整っている 4 学生のマナーがよい 99 どれも当てはまらない

つぎに、吉祥寺駅周辺について、おたずねします。

問3 あなたは、以下のことを1週間にどれくらいしますか。(○はそれぞれ1つ)

	毎日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	しない
ア) 吉祥寺にいく(電車通過は除く)	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) 吉祥寺で買い物をする	7	6	5	4	3	2	1	0
ウ) 吉祥寺の飲食店にいく	7	6	5	4	3	2	1	0

問4 あなたは、ふだん吉祥寺でなにをしますか。(○はいくつでも)

- 1 職場、学校がある 4 食事 7 美容院、床屋
2 電車に乗る、乗りかえる 5 お酒を飲む 8 その他(具体的に)
3 ショッピング 6 映画、劇、コンサート 99 吉祥寺にいかない

問5 あなたはこれまで、吉祥寺で以下の店を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 ハモニカ横丁の飲食店 4 小ざさ(もなか) 7 ブックスルーエ(本屋)
2 いせや(焼き鳥) 5 まめ蔵(カレー) 8 バウスシアター(映画館)
3 肉のサトウ(メンチカツ) 6 くぐつ草(喫茶店) 99 どれも利用したことがない

問6 あなたは吉祥寺で、ふだん何を買いますか。(○はいくつでも)

- 1 服、くつ、かばん 4 家電、パソコン用品 7 食材、食品、お惣菜
2 化粧品、薬 5 日用品(文房具など) 8 その他(具体的に)
3 本、CD 6 お菓子、ケーキ 99 買い物をしない

問7 あなたは井の頭公園に、どれくらいいきますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 週に数回以上 | 3 月に1回くらい | 5 年に1回くらい |
| 2 週に1回くらい | 4 年に数回くらい | 99 行かない |

問8 あなたはこれまで、井の頭公園でなにをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------|
| 1 動物園へいく | 5 散歩する(ペットとも) | 9 フリーマーケットに行く |
| 2 植物園へいく | 6 子供を遊ばせる | 10 その他(具体的に) |
| 3 ジブリ美術館へいく | 7 お花見をする | 99 どれも利用したことがない |
| 4 ボートに乗る | 8 パフォーマンスを見る | |

問9 吉祥寺駅周辺で、どこを禁煙にしてほしい、または禁煙エリアを増やしてほしいですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------|--------------|---------------------|
| 1 駅のホーム | 4 居酒屋、バー | 98 現状のままでよい |
| 2 駅前広場 | 5 パチンコ店 | 99 喫煙できるエリアを増やしてほしい |
| 3 飲食店 | 6 その他(具体的に) | |

あなたの普段の生活について、おたずねします。

問10 あなたは、以下のことを1週間にどれくらいしますか。(〇はそれぞれ1つ)

	毎日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	しない
ア) 仕事、パート、バイトに行く	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) 習い事に行く	7	6	5	4	3	2	1	0
ウ) 運動する	7	6	5	4	3	2	1	0
エ) 朝食を食べる	7	6	5	4	3	2	1	0
オ) マンガやマンガ雑誌を読む	7	6	5	4	3	2	1	0
カ) お酒を飲む	7	6	5	4	3	2	1	0
キ) タバコを吸う	7	6	5	4	3	2	1	0
ク) ギャンブルをする	7	6	5	4	3	2	1	0

問11 食生活や体調について、あなたには以下のどれが当てはまりますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 朝食ではパンより、ご飯をよく食べる | 4 どちらかといえば、ストレスがない |
| 2 魚より、肉をよく食べる | 5 どちらかといえば、悩みがない |
| 3 どちらかといえば、健康である | 99 どれも当てはまらない |

裏に続きます

問12 あなたは1週間のうち自由な時間に、以下のことをどれくらいしますか。(○はそれぞれ1つ)

	毎日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	しない
ア) 家でゆっくりする	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) ショッピングに行く	7	6	5	4	3	2	1	0
ウ) 家族と外出する	7	6	5	4	3	2	1	0
エ) 余暇に仕事や勉強をする	7	6	5	4	3	2	1	0
オ) 趣味をする	7	6	5	4	3	2	1	0

問13 あなたは仕事以外で、携帯電話やパソコンを、1日にどれくらい使っていますか。(○はそれぞれ1つ)

	4時間以上	3時間半	3時間	2時間半	2時間	1時間半	1時間	30分以内	使わない
ア) 携帯電話	8	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) パソコン	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問14 インターネットに関する以下のサービスを、携帯電話やパソコンで利用しますか。(○はいくつでも)

	携帯電話で利用	パソコンで利用	利用しない
ア) 武蔵野市のホームページ閲覧	2	1	0
イ) 天気情報	2	1	0
ウ) ニュース	2	1	0
エ) 交通情報、乗りかえ案内	2	1	0
オ) ネットショッピング	2	1	0
カ) その他のホームページ閲覧	2	1	0

あなたのこれまでの生活について、おたずねします。

問15 あなたが小学生の頃、以下のどれをしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 木登り | 5 花の蜜をすう | 9 小ブナを釣る |
| 2 落ち葉でたき火 | 6 魚を手でつかむ | 99 どれもしなかった |
| 3 草笛をつくる | 7 虫取り | |
| 4 蛭を見る | 8 ウサギを追う | |

問16 あなたが小学生の頃、どのような習い事をしていましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| 1 ピアノ | 4 水泳 | 7 その他の学習塾 |
| 2 絵 | 5 習字 | 99 どれもしなかった |
| 3 野球、サッカー | 6 そろばん | |

問17 あなたが成人してから、以下のことをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------------|
| 1 海外旅行に行く | 4 英会話教室に通う | 7 茶道、華道教室に通う |
| 2 スポーツジムに通う | 5 パソコン講座に通う | 8 その他の教室(具体的に) |
| 3 ボランティアをする | 6 エステに行く | 99 どれもしたことがない |

あなたのご家族について、おたずねします。

問18 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。(義理も含めてあてはまる方すべて)

- | | | | |
|---------|---------|-------|--------------|
| 1 夫または妻 | 3 父または母 | 5 祖父母 | 7 一人暮らし |
| 2 子供 | 4 兄弟姉妹 | 6 孫 | 8 その他(具体的に) |

問19 あなたは以下のことを、ご家族のだれかと1週間にどれくらいしますか。(〇はそれぞれ1つ)

	毎日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	しない
ア) 家族と電話やメールをする	7	6	5	4	3	2	1	0
イ) 一緒に夕食を食べる	7	6	5	4	3	2	1	0
ウ) 一緒にお酒を飲む	7	6	5	4	3	2	1	0
エ) 家族とゆっくり話す	7	6	5	4	3	2	1	0
オ) 家族会議をする	7	6	5	4	3	2	1	0

問20 結婚したのは、あなたが何歳のときでしたか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 99 |
| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 結婚していない |

問21 あなたは現在、夫婦(未婚なら恋人同士)で、なにを祝っていますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|--------------------|
| 1 バレンタインデー(2月) | 4 相手の誕生日 | 7 結婚記念日 |
| 2 ホワイトデー(3月) | 5 自分の誕生日 | 8 その他(具体的に) |
| 3 クリスマス(12月) | 6 付き合い始めた日 | 99 特に祝わない、今は相手がいない |

最後に、あなたご自身について、おたずねします。

問22 中央線の中で、あなたの最寄り駅はどちらですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1 西荻窪駅 | 2 吉祥寺駅 | 3 三鷹駅 | 4 武蔵境駅 |
|--------|--------|-------|--------|

裏に続きます

問23 あなたの性別を、お聞かせください。(○は1つ)

1 0
男 女

問24 あなたの年齢を、お聞かせください。(○は1つ)

2 3 4 5 6
20代 30代 40代 50代 60代

問25 あなたは、武蔵野市に通算してどれくらい住んでいますか。(○は1つ)

0 1 2 3 4
9年以下 10年以上 20年以上 30年以上 40年以上

問26 あなたの現在の主なお仕事は、どれにあたりますか。(○は1つ)

1 自営業主、自由業者、家族従業員	現在仕事を していない	5 専業主婦、主夫
2 正社員、公務員		6 学生
3 派遣社員、契約社員、嘱託社員		7 無職
4 パート、アルバイト、内職、臨時雇用		8 その他(具体的に)

問27 現在仕事をしている方は、どのような仕事をしていますか。どこに分類できるか分からない場合は、8に○をつけて、具体的な仕事内容を書いてください。(○は1つ)

99 現在仕事をしていない(主婦、学生、無職など)

- 1 農林水産業
- 2 現場職(建設作業員、工場作業員、タクシーやトラックの運転手、警備員、清掃員など)
- 3 サービス職(ウェ이터、ウェイトレス、料理人、美容師、客室乗務員など)
- 4 販売職(営業員、販売員、飲食店主、小売り店主、卸売り店主、保険外交員など)
- 5 事務職(総務、経理、人事、企画、受付、入力など)
- 6 専門職(医師、看護師、教師、編集者、税理士、コンサルタント、技術者など)
- 7 管理職(社長、企業や官公庁の課長以上の役職者、団体の役員、議員など)
- 8 その他(具体的に)

問28 あなたは、これまでいくつの企業(または組織)に勤めたことがありますか(転勤、学生時代のアルバイトは除きます)。(○は1つ)

0 1 2 3 4 5 6 7 8
就職したことがない 1社 2社 3社 4社 5社 6社 7社 8社以上

問29 あなたは、現在のお仕事について、どれくらい満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	とても満足	満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	不満	とても不満	働いていない
ア) 仕事の内容	6	5	4	3	2	1	99
イ) 通勤時間の長さ	6	5	4	3	2	1	
ウ) 勤務時間の長さ	6	5	4	3	2	1	
エ) 休暇の日数	6	5	4	3	2	1	
オ) 収入	6	5	4	3	2	1	

問30 かりに現在の日本社会を5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどれに入ると思いますか。(○は1つ)

- 5
上
- 4
中の上
- 3
中の中
- 2
中の下
- 1
下

問31 最後に通った学校は、以下のどれにあたりますか(中退・通学中含む)。(○は1つ)

- 1 中学校
- 3 短大・高専
- 5 大学・大学院
- 2 高校
- 4 専門学校
- 6 その他(具体的に)

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れてお送りください。

もしこの調査や成蹊大学についてご意見、ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

このページで終わりです

第1回督促状（7月31日送付）

武蔵野市民の皆さまへ 調査ご協力へのお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、私ども成蹊大学社会調査士課程室は、武蔵野市役所から許可をいただき、正規の授業の一環として「第3回 地域と生活についての武蔵野市民調査」を実施致しております。先日、調査票を郵送させていただきましたが、お手元に届いておりますでしょうか。どうか趣旨をご理解いただき、ご協力お願いできれば幸いです。ご多忙中まことに恐れ入りますが、8月4日（月）までにご返送くださいますよう改めてお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名での回収になりますので、調査対象の皆様全員に本状をお送りしています。すでにご回答いただいている方々にはお詫びいたしますとともに、調査へのご協力に心からお礼申し上げます。

末筆ながら、皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2008年8月

成蹊大学社会調査士課程室 小林盾・相澤真一

0422-37-3972 月曜・木曜 10～17 時

第2回督促状（8月7日送付）

武蔵野市民の皆さまへ 調査ご協力への再度のお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、私ども成蹊大学社会調査士課程室は、武蔵野市役所から許可をいただき、正規の授業の一環として「第3回 地域と生活についての武蔵野市民調査」を実施致しております。地域社会の実情と課題を明らかにするためには、一人でも多くの方々のご支援をたまわりたいと考えております。返送期日は8月4日（月）でしたが、多少でしたら期日を過ぎても結構ですので、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご返送くださいますよう改めてお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名での回収になりますので、調査対象の皆様全員に本状をお送りしています。すでにご回答いただいている方々にはお詫び致しますとともに、調査へのご協力に心からお礼申し上げます。

末筆ながら、皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2008年8月

成蹊大学社会調査士課程室 小林盾・相澤真一

成蹊大学社会調査実習 2008 年度報告書

——第 3 回 地域と生活についての武蔵野市民調査——

発行日 2009 年 7 月 31 日

監 修 成蹊大学社会調査士課程

編 集 小林盾，相澤真一

発 行 成蹊大学社会調査士課程

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

電話 0422-37-3972

印 刷 大和メディアクリエイティブ
